

岡山県の気象年報

平成18年
(2006年)



岡山地方気象台

目 次

解 説

資料の解説(地上気象観測月統計値・地域気象観測月報)
地域気象観測所一覧表(地域気象観測所配置図)
計測震度計観測所一覧表(震度観測点配置図)

気象分布図

年平均気温・年間降水量・年間日照時間

解説用階級区分値

年平均気温・年間降水量・年間日照時間

気象概況

気象変化図

岡山・津山・上長田・千屋・久世・新見・奈義・今岡・恩原・富・高梁・倉敷・笠岡・
吉備中央・福渡・和気・虫明・玉野・下皆部・天子山・佐屋・矢掛・周匝

観測値

地上気象観測年統計値表(岡山・津山)
地域気象観測資料
積雪観測資料(有線口ボット積雪深計)
地域気象観測積雪年表(上長田・千屋・今岡・津山)
気象官署の極値順位更新表(岡山・津山)
アメダス観測所の極値順位更新表

平年値

地上気象観測月・年・3か月平年値(岡山・津山)
地上気象観測旬別平年値(岡山・津山)

注意報・警報(火災気象通報)

発表及び通報の合った日一覧表
種類別発表回数/日数表・火災気象通報発表回数

季節現象

霜・結氷・雪の初終日(岡山・津山)・生物季節観測
中国地方の「梅雨入り」と「梅雨明け」と「梅雨期間総雨量」

地 震

岡山県内有感地震一覧表

潮 位

その他

平成 18 年の冬に発生した大雪の命名(平成 18 年豪雪)
平成 18 年 7 月 15 日から 24 日に発生した豪雨の命名(平成 18 年 7 月豪雨)

資料の解説

「岡山県の気象年報」は、岡山県内の観測結果と各種情報を取りまとめたものである。
 なお、気象官署の「地上気象観測月統計値表」の値と、地域気象観測所の「地域気象観測月報」の値については、統計方法等の違いにより相違のあることがある。

凡 例

岡山地方気象台と津山特別地域気象観測所の地上気象観測月統計値表			
要素	単位	値の求め方・その他の説明	
気圧	平均	0.1hPa	毎正時の観測値(24回)を平均して求める。 現地気圧は、気圧計の高さ(海面上の高さ)での値。 海面気圧は、現地気圧を海面上の値に更正した値。
気温	平均	0.1	毎正時の観測値(24回)を平均して求める。
	最高		日統計値の中から最高値を求める(任意の時刻の最高値)。
	最低		日統計値の中から最低値を求める(任意の時刻の最低値)。
蒸気圧	平均	0.1hPa	毎正時の観測値(24回)を平均して求める。
相対湿度	平均	1%	毎正時の観測値(24回)を平均して求める。
	最小		日統計値の中から最小値を求める(任意の時刻の最小値)。
風速	平均	0.1m/s	1日の風程(大気の流れた距離)を24時間(86400秒)で割って求める。1日の平均風速。
	最大・風向		1日の10分間平均風速の中から最大値を求める。起時の風向を16方位で求める。
	最大瞬間・風向		瞬間風速の中から最大値を求める。起時の風向を16方位で求める。
日照時間		0.1h	毎正時の観測地(24回)を合計して求める:太陽追尾式日照計。不照は「-」とする。
平均雲量(10分比)		0.1	雲量は全天に対し雲が占める割合。 岡山は3回(9、15、21時)。津山は観測しない。
降水量	日	0.5mm	毎正時の降水量(24回)を合計して求める。
	最大1時間		任意の1時間降水量の中から最大値を求める。
	最大10分間		任意の10分間降水量から最大値を求める。
降雪の深さ合計		1cm	降雪の深さは、ある時間内に雪板上に積もった雪の深さをいう。 (観測の都度、観測が終了した時点で雪板上の雪を払いのける。) 岡山(日界21時)は3回(9、15、21時)の観測値を合計して求める。津山は観測しない。
最深積雪		1cm	積雪の深さは、自然に積もって地表を覆っている雪の深さをいい、降雪の深さとは異なる。 岡山(日界21時)は観測時(9、15、21時の観測及び臨時観測)の積雪の深さの最大値。 (深さを1cmとするに足りない場合は「0」とする。) 津山(日界24時)は積雪計による毎正時の積雪の深さ(24回)の最大値。 (深さを1cmとするに足りない場合は「-」とする。)
月間日照率		1%	月間日照時間を月間可照時間で割り百分率で求める。
月最大24時間降水量		0.5mm	任意の24時間降水量を求め、この最大値を求める。日界で切られることがない利点がある。
天気概況		岡山は6時~18時及び18時~翌日6時の天気概況。津山は記入しない。	
平年値		1971~2000年(30年間)の平均値。	

平成18年12月31日現在

- 注(1) 日界は24時。(降雪、積雪は除く)
 (2) 「x」資料なし : 対象となる資料が参考値もしくは欠測により全くない場合。
 (3) 「J」資料不足値 : 対象となる資料が許容する範囲を超えて欠けている場合。
 (4) 「) 」準完全値 : 対象となる資料の一部が欠けているが、その数が許容する範囲内である場合。
 (5) 「*」最大値・最小値などの極値が2つ以上あることを示し、起日(日時)は新しい方を記入。
 (6) 津山測候所は、平成14年3月1日に津山特別地域気象観測所になる。積雪計を設置。

大気現象記号説明

記号	-	①	●	∩	・	=	≡	≡	∞	☒	△	▲	□	☐	✖	⊙	✖	☒	∩	P
現象名	現象無し	薄曇り	雨	しゅう雨	霧雨	もや	低い霧	霧	煙霧	黄砂	氷あられ	ひょう	霜	結氷	雪	みぞれ	雪あられ	積雪	しゅう雪	降水現象

注) 天気記号「P」は、降水現象は有るが雨、雪等の識別ができない。

雷の記号説明

記号	現象		強度		
			0	1	2
⚡	雷電		雷鳴が0で電光を伴う。	雷鳴が1で電光を伴う	雷鳴が2で電光を伴う
⚡	電光	昼	ようやく認められる程度	0と2の中間状態	周囲に明るさを感じる程度
		夜	楽に正視しうる程度の強さ	0と2の中間状態	光輝が激しく、全身に光を浴びる感じ
⚡	雷鳴		雷鳴があるのを知る程度 通常遠雷と認められる程度の強さ	0と2の中間状態	雷鳴が激しく、人を驚かす

地域気象観測(気温、風向・風速、日照、降水量、積雪)月報

要素		単位	値の求め方・その他の説明	
気温	平均 最高 最低	0.1	日平均気温は、毎正時の観測値(24回)を平均して求める。 日最高気温は、00時10分～24時00分までの毎10分の気温の中から最高値を求める。 日最低気温は、00時10分～24時00分までの毎10分の気温の中から最低値を求める。 各要素の旬平均は、日統計値の中から求める。 各要素の月平均は、日統計値の中から求める。	
	積算気温	1	日平均気温が10以上の日の日平均気温を積算し、求めた値の少数1位を四捨五入する。	
風向・風速	平均風速	0.1m/s	日平均風速は、毎正時の観測値(24回)を平均して求める。 旬平均風速は、日統計値を平均して求める。 月平均風速は、日統計値を平均して求める。	
	最大	1m/s	日最大風速は、00時10分～24時00分までの毎10分の風速の中から最大値を求める。 月最大風速は、日統計値の中から最大値を求める。	
	風向	16方位	日最大風速(月最大風速)の風向。	
	最多風向	16方位	日の最多風向は、1～24時までの毎正時の風向から風向別度数の最も多いものを求める。旬・月の最多風向は、期間の全時間値から風向別度数の最も多いものを求める。静穏が最多の場合は、次に多い風向とする。	
日照時間		0.1h	1日の合計は、4～20時までの毎正時の観測値を合計して求める。 旬・月の合計は、日統計値を合計して求める。 太陽電池式日照計(岡山・津山は太陽追尾式日照計)。不照(0.1時間未満)は空欄。	
日照時間0.1時間未満の日数		日	不照(日合計日照時間が0.1時間未満)日数。	
降水量	日降水量	1mm	毎正時の降水量(24回)を合計して求める。	
	最大日降水量		日統計値の中から最大値を求める。	
	最大1時間		10分ごとの任意の前1時間降水量の中から最大値を求める。	
積雪		1cm	上長田・千屋・今岡は有線ロボット積雪深計。津山は積雪計。 (深さを1cmとするに足りない場合は「0」とする。)	
平年値		1979～2000年(22年間)の平均値。		

平成18年12月31日現在

- 注(1) 日界は24時。
- (2) 岡山、津山の統計値は地域気象観測所としてのデータとして取り扱われるので、地上気象観測月統計値表とは異なることがある。
- (3) 「×」資料なし : 対象となる資料が参考値もしくは欠測により全くない場合。
- (4) 「】」資料不足値 : 対象とする資料の一部が欠けているが許容する資料数を満たさない場合。
- (5) 「)」準完全値 : 対象とする資料の一部が欠けているが許容できる資料数を満たす場合。
- (6) 最大値・最小値などの極値が2つ以上ある場合は、起日(日時)は新しい方を記入。
- (7) 地域雨量観測所(富、吉備中央)は、計画休止の期間がある。
- (8) 有線ロボット積雪深計(上長田、千屋、今岡)と積雪計(津山)は、計画休止の期間がある。
- (9) アメダスの極値は毎10分の観測値から算出する。

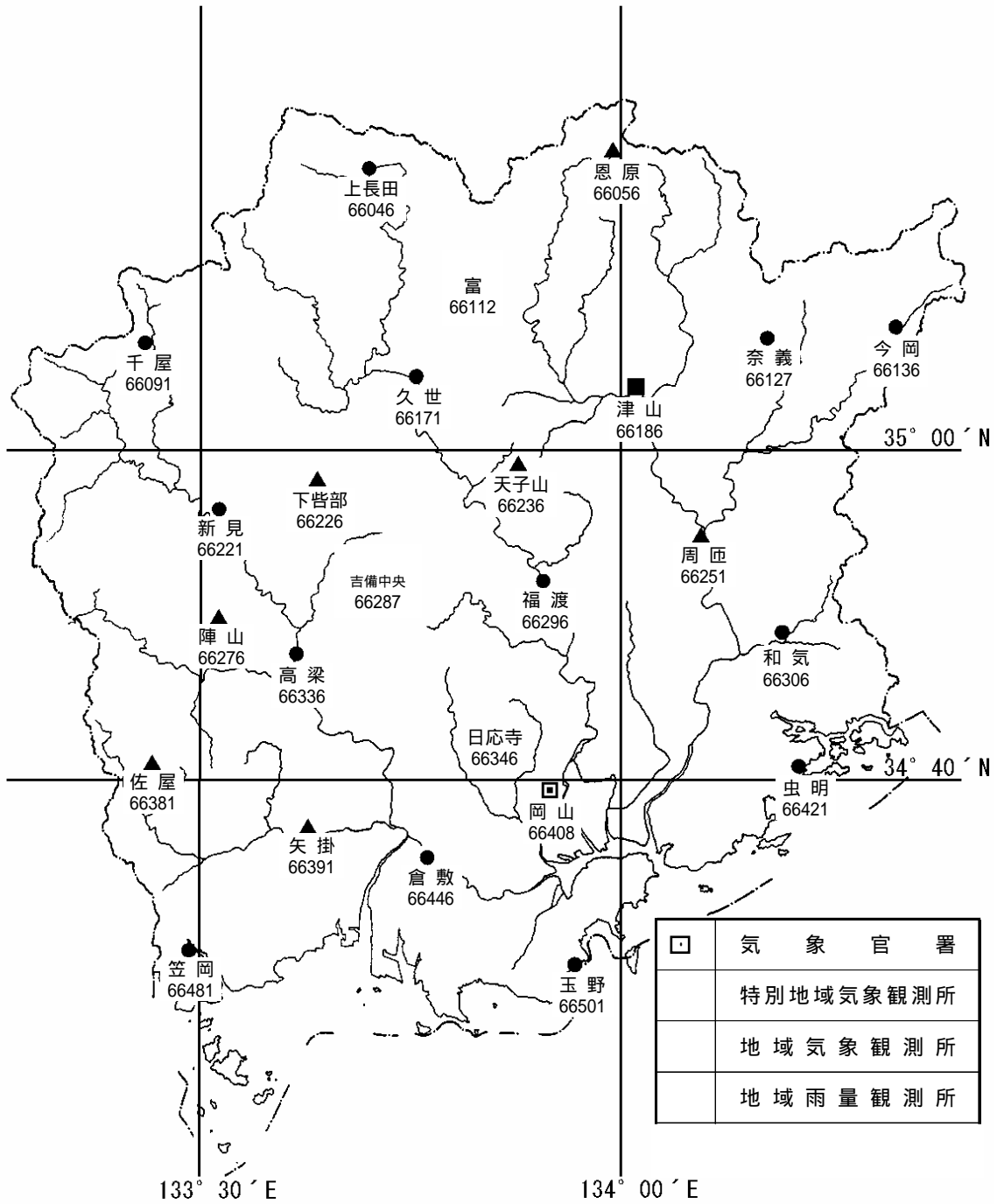
地域気象観測所一覽表

観測所 番号	観測所名		観測種目						所在地	緯度	経度	海面上 の高さ
			気温	風	日照	雨量	積雪	その他				
66046 *66900	上長田	カミナガタ							真庭市蒜山上長田	35° 17.8	133° 43.5	430m
66056	恩原	オンバラ							苫田郡鏡野町上斎原	35° 18.0	133° 59.2	734m
66091 *66910	千屋	チャ							新見市千屋	35° 06.2	133° 26.1	525m
66112	富	トミ							苫田郡鏡野町富西谷	35° 10.7	133° 48.3	480m
66127	奈義	ナギ							勝田郡奈義町荒内西字大池	35° 06.7	134° 10.2	212m
66136 *66915	今岡	イマオカ							美作市今岡	35° 05.9	134° 19.5	207m
66171	久世	クセ							真庭市久世	35° 04.5	133° 45.2	145m
66186 *66920	津山	ツヤマ							津山市林田	35° 03.8	134° 00.5	145m (11.8)
66221	新見	ニイミ							新見市足見堂の下	34° 56.5	133° 31.1	393m
66226	下皆部	シモアザエ							真庭市下皆部	34° 57.9	133° 37.7	180m
66236	天子山	アマゴヤマ							久米郡美咲町上口子天子山	34° 59.3	133° 52.6	646m
66251	周匝	スサイ							赤磐市周匝	34° 55.1	134° 05.0	56m
66276	陣山	ジンヤマ							高梁市松原町字松岡陣山	34° 49.7	133° 31.4	529m
66287	吉備中央	キビチュウオウ							加賀郡吉備中央町北	34° 49.0	133° 42.3	340m
66296	福渡	フクワタリ							御津郡建部町福渡	34° 52.0	133° 54.2	63m (7.9)
66306	和気	ワケ							和気郡和気町吉田	34° 48.9	134° 11.0	35m
66336	高梁	タカハシ							高梁市落合町近似	34° 47.5	133° 36.7	60m
66346	日応寺	ニチオウジ							岡山市日応寺	34° 45.4	133° 51.3	239m (7.2)
66381	佐屋	サヤ							井原市芳井町佐屋	34° 41.2	133° 26.6	390m
66391	矢掛	ヤカゲ							小田郡矢掛町東三成	34° 37.0	133° 37.1	18m
66408	岡山	オカヤマ							岡山市桑田町	34° 39.6	133° 55.0	3m (70.8)
66421	虫明	ムシアゲ							瀬戸内市邑久町虫明	34° 40.9	134° 12.4	10m
66446	倉敷	クラシキ							倉敷市中央	34° 35.4	133° 46.1	3m
66481	笠岡	カサオカ							笠岡市カブト東町	34° 30.1	133° 29.7	0m
66501	玉野	タミノ							玉野市宇野	34° 29.2	133° 57.0	2m

平成 18 年 12 月 31 日現在

- (注) 1 海面上の高さの欄で、()内は風速計地上の高さ。その他の風速計は地上 6.4m または 6.5m。
 2 緯度・経度を平成 15 年 4 月 1 日から、日本測地系から世界測地系に変更した。
 3 積雪の は、有線ロボット積雪深計(津山は積雪計)による観測。*は積雪の場合の観測所番号。
 4 岡山は平成 8 年 3 月 25 日、観測所の移転に伴い、風速計地上の高さを変更(43.0m から 70.9m)した。岡山の観測所番号は平成 8 年 3 月 24 日までは[66407]、平成 8 年 3 月 25 日より[66408] となる。
 5 岡山は平成 11 年 1 月 19 日に風速計地上の高さを変更(70.9mから 70.8m)した。観測所番号[66408]の変更ない。
 6 津山測候所は平成 14 年 3 月 1 日から、津山特別地域気象観測所となる。積雪計を新しく設置し、積雪の場合の観測所番号は[66920]となる。
 7 周匝は平成 13 年 12 月 4 日に観測場所を移設(北緯 34° 55.0 東経 134° 06.0 海拔 47m から北緯 34° 55.0 東経 134° 05.3 海拔 56m)した。観測所番号[66251]の変更はない。
 8 古町は平成 17 年 2 月 4 日に観測場所を移設(北緯 35° 07.1 東経 134° 19.6 海拔 240m から北緯 35° 05.9 東経 134° 19.5 海拔 207m)した。観測所番号[66136、66915]の変更はない。
 9 古町は平成 17 年 4 月 1 日から観測所名を「今岡」へ変更した。観測所番号[66136、66915]の変更はない。
 10 上長田は平成 17 年 12 月 7 日に観測場所を移設(北緯 35° 17.1 東経 133° 41.7 海拔 440m から北緯 35° 17.8 東経 133° 43.5 海拔 430m)した。観測所番号[66046、66900]の変更はない。
 11 大空山は平成 17 年 12 月 10 日に観測場所を移設(北緯 35° 11.8 東経 133° 49.2 海拔 1,040m から北緯 35° 10.7 東経 133° 48.3 海拔 480m)し、観測所名を「富」(観測所番号[66112])へ変更した。
 12 大平山は平成 17 年 12 月 14 日に観測場所を移設(北緯 34° 53.7 東経 133° 42.3 海拔 685m から北緯 34° 49.0 東経 133° 42.3 海拔 340m)し、観測所名を「吉備中央」(観測所番号[66287])へ変更した。

地域気象観測所配置図



平成18年12月31日現在

震度観測点一覧表

名称地域	震度発表名称	名称の読み	観測点所在地	区分	震度発表名称	名称の読み	観測点所在地	区分
岡山県北部	津山市林田	ツヤマシノミダ	津山市林田	気	久米南町下弓削	クミナミナミダ	久米南町下弓削	県
	津山市小中原	ツヤマシノナカハラ	津山市加茂町大字小中原	防	岡山美咲町原田	オカヤマミサキノハラ	美咲町原田	県
	津山市山北	ツヤマシノヤマキタ	津山市山北	県	岡山美咲町西川	オカヤマミサキノセウガハ	美咲町西川	県
	津山市加茂町	ツヤマシノカモ	津山市加茂町塔中	県	岡山美咲町久木	オカヤマミサキノキム	美咲町久木	県
	津山市阿波	ツヤマシノアハ	津山市阿波	県	真庭市西河内	マニツシノニシガハ	真庭市西河内	気
	津山市新野東	ツヤマシノニノノ	津山市新野東	県	真庭市下方	マニツシノシモ	真庭市下方	防
	津山市中北下	ツヤマシノナカキタ	津山市中北下	県	真庭市下峯部	マニツシノシノベ	真庭市下峯部	県
	新見市新見	ニミシノニミ	新見市新見	気	真庭市勝山	マニツシノカサマ	真庭市勝山	県
	新見市唐松	ニミシノカマツ	新見市唐松	防	真庭市落合垂水	マニツシノオチアイ	真庭市落合垂水	県
	新見市千屋	ニミシノチヤ	新見市千屋	県	真庭市豊栄	マニツシノトヨサカ	真庭市豊栄	県
	新見市大佐小阪部	ニミシノオササカ	新見市大佐小阪部	県	真庭市久世	マニツシノキウセ	真庭市久世	県
	新見市神郷下神代	ニミシノカミノカミ	新見市神郷下神代	県	真庭市美甘	マニツシノミカマ	真庭市美甘	県
	新見市哲多町	ニミシノテタ	新見市哲多町本郷	県	真庭市藤山上福田	マニツシノフジノカミ	真庭市藤山上福田	県
	新見市哲西町	ニミシノセ	新見市哲西町矢田	県	真庭市藤山上長田	マニツシノフジノカミ	真庭市藤山上長田	県
	新庄村役場	シンジノヨウサカ	新庄村	県	真庭市藤山下和	マニツシノフジノカミ	真庭市藤山下和	県
	鏡野町竹田	カミノミヤノタケ	鏡野町竹田	県	美作市尾谷	ミサカノオノ	美作市尾谷	気
	鏡野町富西谷	カミノミヤノトミ	鏡野町富西谷	県	美作市真加部	ミサカノマカ	美作市真加部	県
	鏡野町井坂	カミノミヤノイサカ	鏡野町井坂	県	美作市古町	ミサカノコ	美作市古町	県
	鏡野町上斎原	カミノミヤノカミイハラ	鏡野町上斎原	県	美作市太田	ミサカノオ	美作市太田	県
	勝央町勝間田	ショウオウノカサマ	勝央町勝間田	県	美作市栄町	美作市栄町	県	
奈義町豊沢	ナギノトヨサカ	奈義町豊沢	県	美作市江見	ミサカノエミ	美作市江見	県	
西粟倉村影石	ニシアワクラノカミ	西粟倉村影石	県	美作市福本	ミサカノフクホ	美作市福本	県	
岡山県南部	岡山市桑田町	オカヤマシノクサノ	岡山市桑田町	気	備前市伊部	ビゼンノイベ	備前市伊部	気
	岡山市新屋敷	オカヤマシノイナ	岡山市新屋敷	防	備前市東井上	ビゼンノヒノカミ	備前市東井上	県
	岡山市大供	オカヤマシノオホ	岡山市大供	県	備前市日生町	ビゼンノヒノ	備前市日生町日生	県
	岡山市御津金川	オカヤマシノミツ	岡山市御津金川	県	備前市吉永町	ビゼンノヨシノ	備前市吉永町吉永中	県
	岡山市瀬崎町	オカヤマシノセ	岡山市瀬崎町片岡	県	建部町福渡	タケベノフクワタ	建部町福渡	県
	倉敷市新田	クラシキノシ	倉敷市新田	気	岡山瀬戸町瀬戸	オカヤマセトノセト	瀬戸町瀬戸	県
	倉敷市沖	クラシキノシ	倉敷市沖	防	和気町矢田	ワケノヤ	和気町矢田	県
	倉敷市下津井	クラシキノシ	倉敷市下津井	防	和気町尺所	ワケノヤ	和気町尺所	県
	倉敷市白楽町	クラシキノシ	倉敷市白楽町	県	早島町前湯	ハヤシマノマエ	早島町前湯	県
	倉敷市船穂町	倉敷市船穂町船穂	県	里庄町里見	サトノサト	里庄町里見	県	
	倉敷市真備町	クラシキノシ	倉敷市真備町箭田	県	矢掛町矢掛	ヤカガノヤ	矢掛町矢掛	県
	玉野市宇野	タマノ	玉野市宇野	県	吉備中央町下加茂	キビノナカノカモ	吉備中央町下加茂	県
	笠岡市殿川	カサノ	笠岡市笠岡	防	吉備中央町豊野	キビノナカノトヨ	吉備中央町豊野	県
	笠岡市笠岡	カサノ	笠岡市中央町	県	瀬戸内市牛窓町	セトノウチノマド	瀬戸内市牛窓町牛窓	県
	井原市井原町	イハノ	井原市井原町	県	瀬戸内市邑久町	セトノウチノキウ	瀬戸内市邑久町尾張	県
	井原市美星町	イハノ	井原市美星町三山	県	瀬戸内市長船町	セトノウチノフネ	瀬戸内市長船町土師	県
	井原市芳井町	イハノ	井原市芳井町吉井	県	赤磐市上市	アカノ	赤磐市上市	気
	総社市中央	ソウシャノ	総社市中央	県	赤磐市町苅田	アカノ	赤磐市町苅田	県
	総社市地頭片山	ソウシャノ	総社市地頭片山	県	赤磐市松木	アカノ	赤磐市松木	県
	総社市清音軽部	ソウシャノ	総社市清音軽部	県	赤磐市周匝	アカノ	赤磐市周匝	県
高梁市原田南町	タカハシノ	高梁市原田南町	防	浅口市天草公園	アサノ	浅口市鴨方町鴨方	気	
高梁市松原通	タカハシノ	高梁市松原通	県	浅口市金光町	アサノ	浅口市金光町占見新田	県	
高梁市成羽町	タカハシノ	高梁市成羽町下原	県	浅口市鴨方町	アサノ	浅口市鴨方町六条院中	県	
高梁市川上町	タカハシノ	高梁市川上町地頭	県	浅口市寄島町	アサノ	浅口市寄島町	県	
高梁市備中町	タカハシノ	高梁市備中町布賀	県					
高梁市有漢町	タカハシノ	高梁市有漢町有漢	県					

平成18年12月31日現在

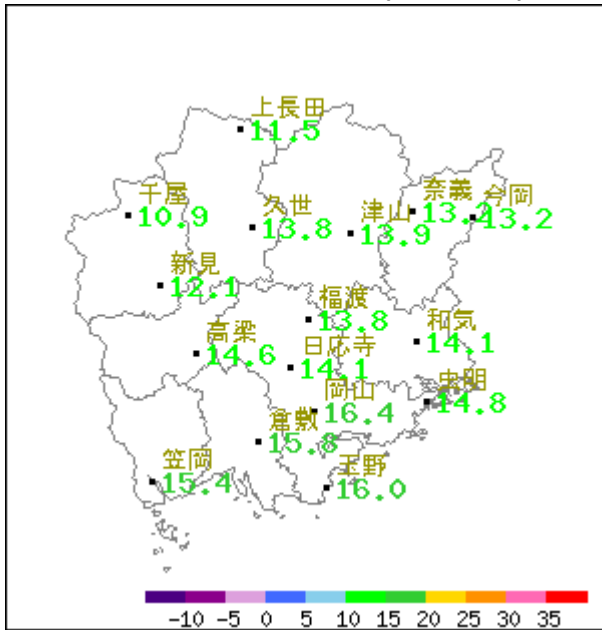
区分 県：岡山県 気：気象庁 防：独立行政法人防災科学技術研究所

岡山県 震度観測点 配置図

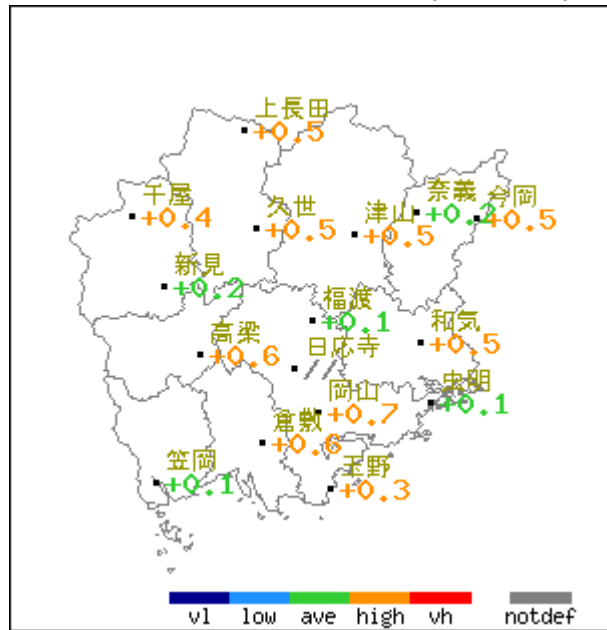


気象分布図 (色：階級)

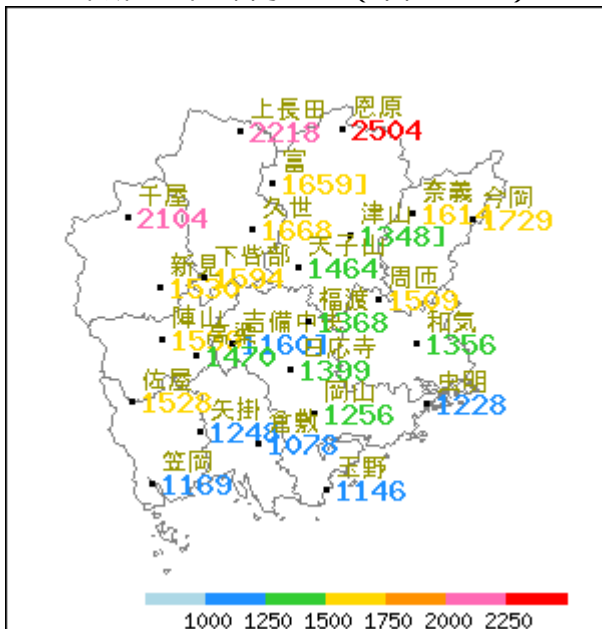
平成 18 年 平均気温 (単位：)



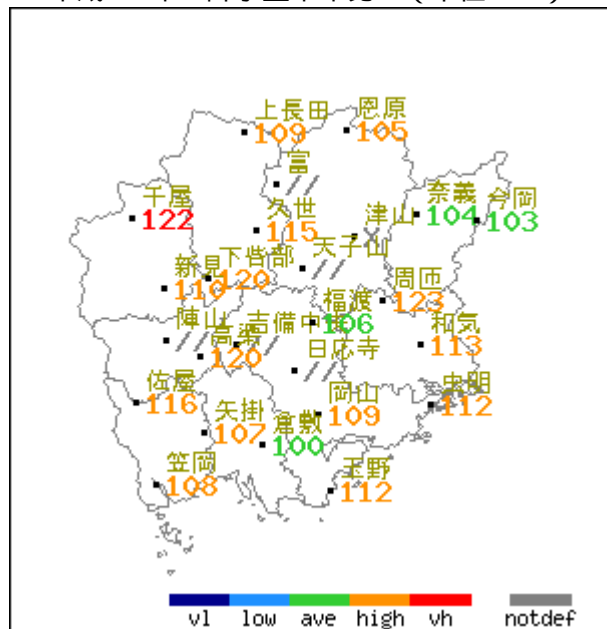
平成 18 年 平均気温平年差 (単位：)



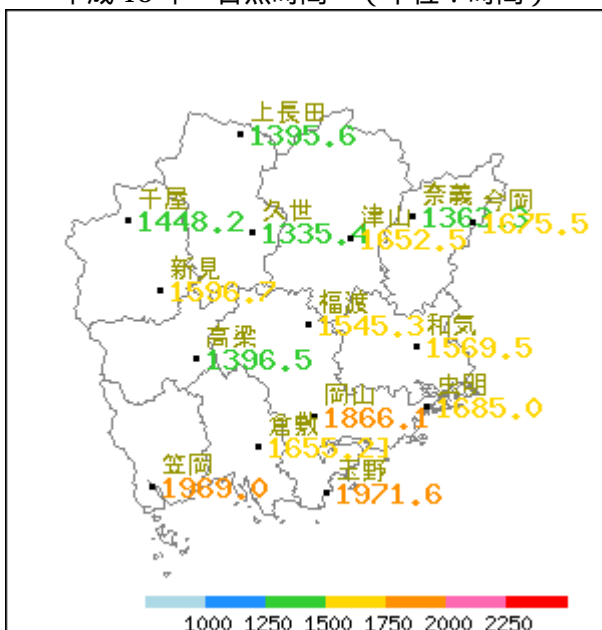
平成 18 年 降水量 (単位：mm)



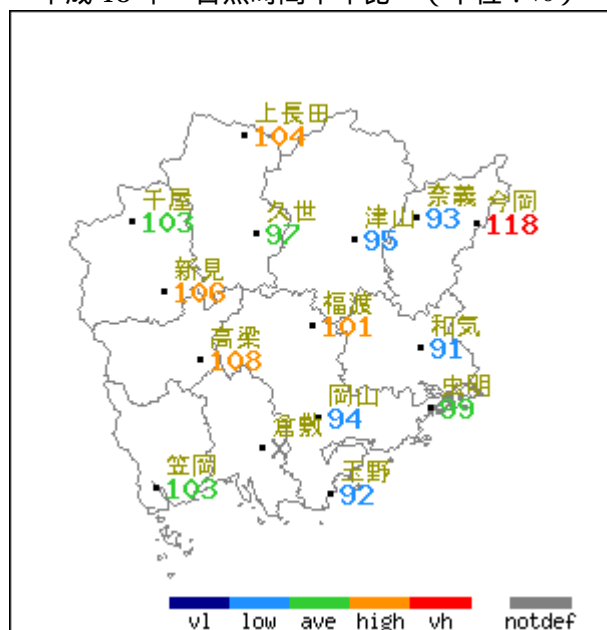
平成 18 年 降水量平年比 (単位：%)



平成 18 年 日照時間 (単位：時間)



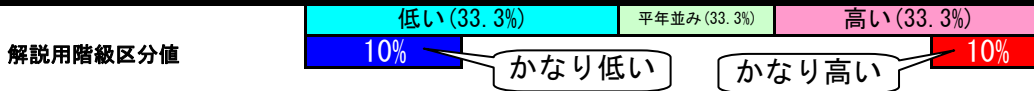
平成 18 年 日照時間平年比 (単位：%)



日照時間の観測は、岡山・津山が太陽追尾式日照計、上長田・今岡・千屋・和気・笠岡・玉野が回転式日照計、他は太陽電池式日照計を使用しており、単純に比較することはできない。岡山地方気象台

平成18年（2006年）
解説用階級区分値（平均気温：℃）

	観測値	平年値	かなり低い 上限値	低い 上限値	平年並み 上限値	高い 上限値	かなり高い
岡山	16.4	15.7	14.6	15.3	16.0	● 16.7	
津山	13.9	13.4	12.5	13.0	13.6	● 14.3	
上長田	11.5	11.0	10.1	10.6	11.2	● 11.7	
恩原							
千屋	10.9	10.5	9.8	10.2	10.7	● 11.1	
富							
奈義	13.2	13.0	12.3	12.6	● 13.2		14.1
今岡	13.2	12.7	11.9	12.4	12.9	● 13.8	
久世	13.8	13.3	12.3	12.9	13.4	● 14.2	
新見	12.1	11.9	11.2	11.5	● 12.1		12.8
下皆部							
天子山							
周匝							
陣山							
吉備中央							
福渡	13.8	13.7	13.0	13.3	● 13.8		14.6
和気	14.1	13.6	12.9	13.2	13.8	● 14.4	
高梁	14.6	14.0	13.2	13.6	14.1	● 14.9	
日応寺	14.1						
佐屋							
矢掛							
虫明	14.8	14.7	14.0	14.3	● 14.8		15.5
倉敷	15.8	15.2	14.3	14.8	15.4	● 16.0	
笠岡	15.4	15.3	14.6	14.9	● 15.6		16.3
玉野	16.0	15.7	15.0	15.4	15.9	● 16.4	



解説用階級区分値は「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3階級とし、それぞれの出現率は同じである。過去10年以上の資料年数がある場合に、その出現率から求めた。

また、低い（少ない）方または高い（多い）方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表し、補助的に用いる。

平成18年（2006年）
 解説用階級区分値（降水量：mm）

	観測値	平年値	かなり 少ない 上限値	少ない 上限値	平年並み 上限値	多い 上限値	かなり 多い
岡山	1256	1147.1	818.8	1056.1	1213.2	1475.9	
津山	1348]	1478.4	1099.8	1341.9	1557.3	1825.3	
上長田	2218	2040.7	1664.4	1913.1	2125.6	2412.0	
恩原	2504	2383.6	1904.8	2205.3	2468.7	2835.3	
千屋	2104	1719.5	1310.5	1580.8	1859.9	2095.0	●
富	1659]						
奈義	1614	1551.9	1209.8	1437.5	1645.5	1966.2	
今岡	1729	1681.9	1340.3	1536.8	1764.6	2017.8	
久世	1668	1455.3	1072.4	1376.2	1541.3	1807.9	
新見	1530	1393.7	1030.7	1279.8	1503.3	1731.2	
下皆部	1594	1332.0	978.0	1241.6	1457.4	1653.8	
天子山	1464						
周匝	1509	1229.4	878.0	1093.3	1325.7	1552.0	
陣山	1539						
吉備中央	1160]						
福渡	1368	1291.1	962.8	1218.2	1391.4	1609.9	
和気	1356	1197.3	930.6	1109.4	1206.6	1554.5	
高梁	1470	1223.9	910.7	1132.2	1329.1	1538.5	
日応寺	1399						
佐屋	1528	1322.2	1077.2	1220.5	1397.4	1642.2	
矢掛	1248	1162.6	827.1	1111.1	1205.6	1521.9	
虫明	1228	1093.6	863.5	1026.2	1120.1	1391.7	
倉敷	1078	1074.2	745.8	983.8	1141.9	1410.5	
笠岡	1169	1084.1	803.0	987.3	1063.1	1468.0	
玉野	1146	1021.6	715.6	945.6	1092.4	1345.7	
			低い(33.3%)		平年並み(33.3%)	高い(33.3%)	
解説用階級区分値			10% かなり少ない		かなり多い		10%

解説用階級区分値は「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3階級とし、それぞれの出現率は同じである。過去10年以上の資料年数がある場合に、その出現率から求めた。

また、低い（少ない）方または高い（多い）方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表し、補助的に用いる。

平成18年（2006年）
解説用階級区分値（日照時間：h）

	観測値	平年値	かなり 少ない 上限値	少ない 上限値	平年並み 上限値	多い 上限値	かなり 多い
岡山	1866.1	1994.7	1733.3	● 1966.9	2053.7	2149.5	
津山	1652.5	1731.0	1558.5	● 1692.3	1762.3	1859.6	
上長田	1395.6	1341.7	1143.6		1360.4	● 1489.4	
恩原							
千屋	1448.2	1408.4	1123.2		● 1516.2	1625.9	
富							
奈義	1363.3	1467.4	1206.1	● 1389.2	1532.3	1637.0	
今岡	1675.5	1415.8	1219.5		1450.8	1540.4	●
久世	1335.4	1379.9	1216.2		● 1414.8	1501.3	
新見	1596.7	1504.0	1327.4		1542.6	● 1677.8	
下皆部							
天子山							
周匝							
陣山							
吉備中央							
福渡	1545.3	1533.4	1352.5		1544.5	● 1730.6	
和気	1569.5	1731.1	1497.4	● 1680.6	1778.4	1919.8	
高梁	1396.5	1298.4	1147.7		1324.6	● 1426.6	
日応寺							
佐屋							
矢掛							
虫明	1685.0	1694.0	1492.6		● 1721.7	1847.5	
倉敷	1655.2	1762.2	1578.9		1788.4	1907.9	
笠岡	1969.0	1918.4	1716.2		● 1981.9	2058.1	
玉野	1971.6	2131.9	1879.6	● 2071.2	2157.7	2331.3	
			低い(33.3%)		平年並み(33.3%)	高い(33.3%)	
解説用階級区分値			10% かなり少ない			10% かなり多い	

解説用階級区分値は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの出現率は同じである。過去10年以上の資料年数がある場合に、その出現率から求めた。

また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表し、補助的に用いる。

地域気象観測において、日照時間の観測は太陽電池式日照計を用い、岡山と津山では太陽追尾式日照計を用いている。

上長田・千屋・玉野は平成17年12月に、今岡・和気・笠岡は平成18年11月に回転式日照計に変更し、新しい平年値を作成した。

平成 18 年の気象概況

< 平成 18 年の気候統計値 >

平成 18 年の年平均気温は「**平年並**」～「**平年より高い**」
年降水量は「**平年並**」～「**平年より多い**」、千屋は「**平年よりかなり多い**」
年間日照時間は県東部を中心に「**平年より少ない**」、県西部を中心に「**平年並**」～「**平年より多い**」

平成 17 年 12 月から 1 月上旬にかけて強い冬型の気圧配置が断続的にあられ、1 月中旬以降は気温の変動が大きくなったが、たびたび大雪となった。県北部 4 か所のアメダス観測所の降雪量は平年より多く、月最深積雪の歴代 1 位や年間の最深積雪の上位を更新する所があった。気象庁では、雪下ろし中の事故等甚大な人的被害や交通機関等への大きな影響があり、「平成 18 年豪雪」と命名した。県内の冬の平均気温は平年より低く、平成 8 年の冬以来 10 年ぶりの寒冬となった。冬の降水量は平年より多く、日照時間は平年より少ない時期があった。

春の気温は変動が大きく、4 月に動きの遅い低気圧や前線の影響で天気がぐずつき、5 月は前線が本州南岸に停滞し曇りや雨の日が多くなるなど、春は低気圧や前線の影響を受けやすく、県内の春の平均気温は平年より低い所があり、日照時間が平年より少なかった。特に、4 月は強い寒気の影響で 10 年ぶりの 4 月の低温となった。

中国地方の梅雨入り・梅雨明けはともに平年より遅かった。梅雨前線の活動は活発で、県内では 7 月 15 日から 19 日にかけて平年の 7 月の降水量に匹敵する大雨となった。九州、山陰、近畿および北陸地方などで豪雨となり、大きな災害が発生し、気象庁では「平成 18 年 7 月豪雨」と命名した。梅雨明け以降、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多く、県内の 8 月は高温となった。県内の夏の平均気温は平年より高く、降水量は平年より多かった。日照時間は 7 月を中心に平年より少なかった。

秋は寒気の南下が一時的で、移動性高気圧に覆われ晴れて暖かい日が多かった。県内の秋の平均気温は平年より高く、特に 10 月は平成 10 年 (1998 年) に次ぐ記録的な高温となった。県内の秋の降水量は平年より少ない所があり、日照時間は平年より多かった。

12 月に入り周期的に南岸を低気圧や前線が通ることが多く、曇りや雨の日が多かったことから、月平均気温が平年より高く、月降水量が県南部を中心に平年より多く、月間日照時間が県南部を中心に平年より少なかった。また、下旬には強い寒気が流れ込み、県北部では 12 月の最深積雪の上位を更新する大雪となり、県北部では真冬日となる所があった。

県内の年平均気温は平年より高く、県内各地のアメダス観測所では平年より 0.5 前後高い所が多かった。岡山では年平均気温の高い歴代 8 位 (16.4、平年は 15.8、これまでの最高は 1998 年の 17.3、統計開始 1891 年) を更新した。県内各地のアメダス観測所でも年平均気温の高い歴代記録の上位を更新する所 (上長田 7 位:11.5、千屋 9 位:10.9、奈義 10 位:13.2、今岡 7 位:13.2、久世 8 位:13.8、福渡 10 位:13.8、和気 8 位:14.1、高梁 6 位:14.6、倉敷 8 位:15.8、玉野 8 位:16.0) があつた。

県内の年降水量は平年より多く、県内各地のアメダス観測所では平年の 105% から 120% の所が多く、年降水量の多い歴代記録の上位を更新する所 (上長田 9 位:2218^{mm}、恩原 7 位:2504^{mm}、千屋 3 位:2104^{mm}、久世 6 位:1668^{mm}、新見 10 位:1530^{mm}、下皆部 6 位:1594^{mm}、天子山 3 位:1464^{mm}、周匝 5 位:1509^{mm}、陣山 2 位:1539^{mm}、福渡 10 位:1368^{mm}、和気 7 位:1356^{mm}、高梁 6 位:1470^{mm}、佐屋 7 位:1528^{mm}、虫明 8 位:1228^{mm}、笠岡 8 位:1169^{mm}、玉野 8 位:1146^{mm}) があつた。

県内の年間日照時間は県東部を中心に平年より少ない所があり、県内各地のアメダス観測所では少ない所で平年の 90% 程度の所があつた。津山では少ない歴代 6 位 (1652.5 時間、平年は 1791.7 時間、平年の 92%、これまでの最小は 1993 年の 1481.8 時間) を更新した。県東部のアメダス観測所でも年間日照時間の少ない歴代記録の上位を更新する所 (奈義 5 位:1363.3 時間、久世 6 位:1335.4 時間、和気 3 位:1569.5

時間、虫明 7 位：1685.0 時間)があった。一方で県西部を中心に年間日照時間の多い歴代記録の上位を更新する所(上長田 2 位：1395.6 時間、千屋 6 位：1448.2 時間、今岡 4 位：1675.5 時間、新見 8 位：1596.7 時間、福渡 7 位：1545.3 時間、高梁 5 位：1396.5 時間、笠岡 8 位：1969.0 時間)もあった。

日最高気温が 35 以上の年間日数は岡山 14 日(平成 6.4 日：多い歴代 8 位)津山 7 日(平成 4.5 日)、日最高気温が 30 以上の年間日数は岡山 67 日(平成 59.8 日)津山 55 日(平成 50.2 日)、日最高気温が 25 以上の年間日数は岡山 135 日(平成 126.5 日)津山 120 日(平成 119.3 日)、日最高気温が 0 未満の年間日数は岡山 0 日(平成 0.0 日)津山 0 日(平成 0.2 日)、日最低気温が 25 以上の年間日数は岡山 41 日(平成 17.7 日：多い歴代 3 位)津山 2 日(平成 0.7 日：多い歴代 6 位)、日最低気温が 0 未満の年間日数は岡山 24 日(平成 43.1 日)津山 67 日(平成 85.9 日)であった。

< 冬： 平成 18 年豪雪、寒冬、記録的な積雪 >

冬(平成 17 年 12 月～平成 18 年 2 月)の平均気温は「**平年より低い**」、
降水量は県北部を中心に「**平年より多い**」、県南部を中心に「**平年並**」～「**平年より多い**」、
日照時間は県北部を中心に「**平年並**」、県南部を中心に「**平年並**」～「**平年より多い**」

冬(平成 17 年 12 月～平成 18 年 2 月)は、前年 12 月から 1 月上旬にかけて強い寒気が日本付近に南下し、強い冬型の気圧配置が断続的に現れ、岡山県内では前年 12 月に記録的な「**低温と積雪**」、1 月上旬を中心に「**低温**」と「**記録的な積雪**」となった。前年 12 月の「**記録的な低温**」は、1985 年以来 20 年ぶりの低温となった。また、県北部で積雪を観測している 4 地点のうち、前年 12 月と 1 月に真庭市蒜山上長田と新見市千屋では月最深積雪の歴代 1 位を更新し、新見市千屋では 12 月に年間の月最深積雪の歴代 1 位を更新し、記録的な量の降雪となった。気象庁は、平成 18 年冬(平成 17 年 12 月～平成 18 年 2 月)に発生した大雪について、「**平成 18 年豪雪**」と命名した。

1 月中旬以降、暖かい時期と寒い時期を繰り返し、気温の変動が大きかった他、低気圧や前線の影響を受ける日が多く、低気圧の南海上の通過により県南部でも雪の降る日があった。2 月には低気圧が周期的に通過し、一時寒気の影響を受ける日もあったが、次第に気温の高い日が多くなった。

県内の冬の平均気温は、1 月上旬まで強い寒気が流れ込み、前年 12 月は記録的な低温、1 月上旬を中心に低温となった。県内の冬の平均気温は平年より低く、平年より 1 前後低い所が多く、平成 8 年の冬(平成 7 年 12 月～平成 8 年 2 月)以来 10 年ぶりの寒冬²⁾となった。

県内の冬の降水量は、前半 12 月は寒気の影響で県北部を中心に平年より多く、県南部を中心に平年より少なく、後半 2 月は低気圧や前線の影響を受けやすく県内平年より多かった。県内の冬の降水量は県北部を中心に平年より多く、平年の 120%～150%、県南部を中心に平年並から平年より多い所が多かった。

県内の冬の日照時間は、前半 12 月は寒気の影響で県北部を中心に平年よりかなり少なく、後半 2 月は低気圧や前線の影響を受け県内平年より少なかったが、県内の冬の日照時間は県内平年より少ないから平年並の所が多かった。

県内の冬の降雪量(積雪差合計)は、前年 12 月から 1 月上旬にかけて強い寒気が日本付近に南下し、強い冬型の気圧配置が断続的に現れ、県北部 4 か所のアメダス観測所の降雪量は平年より多く、平年の 120%～150%の所が多かった。

冬の岡山の冬日 35 日(平成 36.2 日)、真冬日 0 日(平成 0.0 日)、津山の冬日 67 日(平成 85.9 日)、真冬日 0 日(平成 0.2 日)であった。

冬の最深積雪³⁾

真庭市蒜山上長田

12 月 98 ㍉(24 日)

12 月の月最深積雪歴代記録 1 位、年間の月最深積雪歴代 6 位、これまでの 12 月の最深は 2003 年 12 月 27 日の 65 ㍉、統計開始 1990 年

1 月 116 ㍉(7 日)

1 月の月最深積雪歴代 1 位、年間の月最深積雪歴代 3 位、これまでの 1 月の最深は 2004 年 1 月 25 日の 91 ㍉、統計開始 1991 年

2月 88 ㍉ (9日)

2月の月最深積雪歴代 5 位、年間の月最深積雪歴代 10 位、これまでの2月の最深は1994年2月12日の125 ㍉、統計開始1991年

新見市千屋

12月 97 ㍉ (24日)

12月の月最深積雪歴代記録 1 位、年間の月最深積雪歴代 1 位、これまでの12月の最深は1995年12月27日の74 ㍉、統計開始1990年

1月 78 ㍉ (7日)

1月の月最深積雪歴代 1 位、年間の月最深積雪歴代 3 位、これまでの1月の最深は1996年1月10日の56 ㍉、統計開始1991年

2月 64 ㍉ (9日)

2月の月最深積雪歴代 3 位、年間の月最深積雪歴代 6 位、これまでの2月の最深は1994年2月12日の95 ㍉、統計開始1991年

美作市今岡

12月 20 ㍉ (22日)

12月の月最深積雪歴代記録 4 位、これまでの12月の最深は1995年12月27日の64 ㍉、統計開始1991年

1月 26 ㍉ (23日)

1月の月最深積雪歴代 2 位、年間の月最深積雪歴代 10 位、これまでの1月の最深は2000年1月21日の42 ㍉、統計開始1992年

2月 15 ㍉ (9日)

2月の月最深積雪歴代 7 位、これまでの2月の最深は1996年2月6日の37 ㍉、統計開始1992年

津山市林田

12月 24 ㍉ (22日)

12月の月最深積雪歴代記録 3 位、年間の月最深積雪歴代 9 位、これまでの12月の最深は2003年12月20日の40 ㍉、統計開始1943年

1月 10 ㍉ (23日)

これまでの1月の最深は1963年1月8日の32 ㍉、統計開始1943年

2月 8 ㍉ (6日)

これまでの2月の最深は1999年2月4日の29 ㍉、統計開始1943年

岡山市桑田町

12月 0 ㍉ (22日)

これまでの12月の最深は1927年12月24日の10 ㍉、統計開始1891年

1月 - ㍉

これまでの1月の最深は1984年1月31日の14 ㍉、統計開始1891年

2月 1 ㍉ (6日)

これまでの2月の最深は1945年2月25日の26 ㍉、統計開始1891年

1月は、上旬に強い寒気が流れ込み、12月に引き続き低温となり、県北部のアメダス観測所では積雪の深さの最大値(最深積雪)が110 ㍉を超え、1月の月最深積雪の歴代1位を記録する所があった。中旬には低気圧が日本の南岸を通過し、南から暖かい空気が流れ込み、この時期としてはまとまった雨となり、気温の高い時期があった。中旬後半から下旬前半にかけては再び冬型の気圧配置が強まり、県北部の平地で積雪を観測する日があった。下旬後半には気圧の谷や南からの温かく湿った空気の影響で雲が広がり、気温が平年を上回る日や雨の降る日があった。

2月は、上旬と中旬に強い寒気が流れ込み冬型の気圧配置となり、県北部を中心に降雪が強まる日があった。また、低気圧が四国付近を通過したことや、日本の南海上に前線が停滞しやすかったことから、南から暖かい空気が流れ込み気温が平年より高い日が多かった。このことから、寒気が流れ込んだ日には気温が平年を下回り、南から暖かい空気が流れ込んだ日には気温が平年を上回るなど、寒い日と暖かい日が繰り返され、気温の変動が大きかった。

2月中旬以降、日本の南海上に停滞した前線や低気圧の影響を受け、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温が平年より高い日が多く、3月から4月並みの暖かい日があった。

また、低気圧が四国付近を通過した6日と20日には県南部でも雪やみぞれが降り、6日には岡山地方気

象台でも積雪 1 ㍉を観測した。

強い寒気の流れ込みによる冬型の気圧配置や低気圧の四国付近の通過、前線の日本の南海上への停滞などから、月降水量が平年より多い所が多く、県北部の山地を除き平年の 120% ~ 150% の所が多かった。

< 春： 10 年ぶりの 4 月の低温、日照不足 >

春 (3 月 ~ 5 月) の平均気温は「平年より低い」 ~ 「平年並」

降水量は県北西部を中心に「平年並」 ~ 「平年より多い」、県南東部を中心に「平年並」

日照時間は「平年よりかなり少ない」 ~ 「平年より少ない」

春 (3 月 ~ 5 月) は、低気圧や前線の影響を受けやすく、天気がぐずつした。このため、春の日照時間は平年より少なく、岡山では春の日照時間の少ない歴代 6 位 (475.7 時間、平年の 86%、平年は 555.1 時間、これまでの最小は 1963 年 3 月 ~ 5 月の 431.5 時間)、津山では少ない歴代 2 位 (450.5 時間、平年の 84%、平年 534.2 時間、これまでの最小は 1963 年 3 月 ~ 5 月の 397.2 時間) を記録した。

3 月は、高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、低気圧や冬型の気圧配置の影響で、気温の変動が大きく、また県南部でも上・中・下旬に降雪があり、県北部の降雪量は平年より多かった。

4 月は、動きの遅い低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。強い寒気の影響で、10 年ぶりの 4 月の低温となり、曇りや雨の日が多く月降水量が多く、月間日照時間が少なかった。このため、県内のアメダス観測所では、4 月の平均気温の低い歴代記録の上位を更新する所、月降水量の多い歴代記録の上位を更新する所、そして月間日照時間の少ない歴代記録の上位を更新する所が、それぞれ多かった。

5 月は、太平洋高気圧が平年に比べ強かったことから、県内の 5 月の平均気温は平年より高い所が多かった。上旬後半から中旬にかけて前線が平年に比べ北上し、本州南岸付近に停滞することが多く、天気がぐずつき、中旬を中心に気温が平年より低い日が多く、また日照時間が平年より少ない日が多かった。このため、県内のアメダス観測所では、5 月の月間日照時間の少ない歴代記録の上位を更新する所が多かった。

県内では、4 月以降、5 月初めに晴れる日が続いたが、その後低気圧や前線の影響により、曇りや雨の日が多く、日照時間の少ない状態が続き、向こう 1 か月も、晴れる時期があるものの、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、日照時間は平年を下回る見込みであることから、岡山地方気象台は 5 月 22 日に「日照不足に関する岡山県気象情報 第 1 号」を発表し、農作物の管理等に注意を呼びかけた。

春の最深積雪³⁾

真庭市蒜山上長田

3 月 43 ㍉ (13 日)

3 月の月最深積雪歴代 7 位、これまでの 3 月の最深は 2000 年 3 月 1 日の 99 ㍉、統計開始 1991 年

4 月 8 ㍉ (1 日)

4 月の月最深積雪歴代 1 位、これまでの 4 月の最深は 1996 年 4 月 2 日の 6 ㍉、統計開始 1991 年

新見市千屋

3 月 19 ㍉ (30 日)

3 月の月最深積雪歴代 9 位、これまでの 3 月の最深は 1996 年 3 月 2 日の 41 ㍉、統計開始 1991 年

4 月 - ㍉

これまでの 4 月の最深は 1993 年 4 月 8 日の 2 ㍉、統計開始 1991 年

美作市今岡

3 月 7 ㍉ (30 日)

3 月の月最深積雪歴代 4 位、これまでの 3 月の最深は 2001 年 3 月 9 日の 14 ㍉、統計開始 1992 年

4 月 - ㍉

これまでの 4 月の最深は 1993 年 4 月 11 日の 2 ㍉、統計開始 1992 年

津山市林田

3 月 2 ㍉ (30 日)

これまでの 3 月の最深は 1986 年 3 月 1 日の 24 ㊦、統計開始 1943 年
4 月 - ㊦

これまでの 4 月の最深は 1972 年 4 月 1 日の 12 ㊦、統計開始 1943 年
岡山市桑田町
3 月 - ㊦

これまでの 3 月の最深は 1927 年 3 月 13 日の 10 ㊦、統計開始 1891 年
4 月 - ㊦

これまでの 4 月の最深は 1907 年 4 月 1 日の 0 ㊦、統計開始 1891 年

3 月は、南から暖かい空気が入ったり、真冬並みの寒気が流れ込んだり、気温の変動が大きく、上旬前半には 2 月上旬並みの寒さ、上旬後半には 3 月下旬から 4 月中旬並みの暖かさ、中旬には 2 月上旬並みの寒さ、そして下旬終わり頃には 2 月下旬並みの寒さとなった。3 月中旬から下旬にかけては気温が平年を下回る日が多かった。

また、下旬に日本海の低気圧からのびる寒冷前線が、中国地方を昼過ぎから夕方にかけて通過し、県内では寒冷前線通過前後には風が強まった。県内各地のアメダス観測所では、3 月の日最大風速の歴代 2 位や 3 位を記録する所があった。

3 月は真冬並みの寒気が流れ込む時期があり、県北部を中心に上旬・中旬・下旬と積雪を観測した。3 月の降雪量は平年より多く、平年の 200% ~ 350% の所があった。

4 月は、中旬の中頃から寒気の影響を受けやすく、気温が平年を下回る日が多かった。このため、4 月の平均気温は平年より 1 前後低く、最高気温は平年より 1 から 2 程度低い所が多かった。4 月の平均気温が平年より 1 前後低くなったのは、1996 年(平成 8 年)の 4 月以来、10 年ぶりの 4 月の低温となった。

4 月は短い周期で天気が変わり、低気圧や前線の影響を受けやすく、4 日には四国の南海上を通過した低気圧の影響で、10 日から 12 日にかけては日本海をゆっくり進んだ低気圧の影響で、15 日から 16 日にかけては四国沖を通過した低気圧の影響で、まとまった雨が降った。このため、県内の月降水量は平年を上回り、県内平年の 110% から 150% 前後の所が多く、月間日照時間は平年を下回る所が多く、平年の 60% から 80% の所が多かった。

また、8 日には寒冷前線が通過した影響で西よりの風が、10 日から 11 日には日本海をゆっくり進んだ低気圧の影響で東よりの風が、16 日には四国沖を通過した低気圧の影響で西よりの風が、20 日は寒冷前線が通過した影響で西よりの風が強まるなど、4 月の日最大風速や日最大瞬間風速の歴代上位を記録する強い風が吹いた日があった。

5 月は、上旬後半から中旬にかけて前線が平年に比べ北上し、本州南岸付近に停滞することが多かった。このため、5 月中旬を中心に、県内は天気がぐずつき曇りや雨の日が多く、日照時間が少なく経過し、県内のアメダス観測所では 5 月中旬の日照時間が平年の 50% から 70% の所が多かった。中でも、県内では 17 日から 19 日は日照時間がほとんどなく、13 日から 19 日の日照時間は平年の 20% から 30% の所が多かった。

このため、5 月の県内の日照時間は平年の 80% から 90% の所が多く、岡山では月間日照時間の少ない歴代 10 位、津山では少ない歴代 8 位を記録した。また、県内のアメダス観測所でも、5 月の月間日照時間の少ない歴代記録の上位を更新する所が多かった(上長田 7 位、千屋 9 位、奈義 3 位、今岡 10 位、久世 2 位、新見 6 位、福渡 7 位、和気 3 位、高梁 8 位、虫明 6 位、倉敷 5 位、笠岡 7 位、玉野 9 位)。

また、5 月中旬を中心に本州南岸付近に停滞した前線の影響で、曇りや雨の日が多く、寒気の影響を受けて、中旬の気温は平年を下回る日が多かった。このため、中旬の県内の平均気温は平年より 0.5 前後低い所が多く、最高気温が平年より 2 から 3 前後低い所が多かった。

< 夏 : 平成 18 年 7 月豪雨、高温、7 月を中心に日照不足 >

夏(6 月~8 月)の平均気温は「平年より高い」、久世・和気・倉敷は「平年よりかなり高い」

降水量は「平年より多い」、津山・上長田は「平年並」、下砦部・周匝は「平年よりかなり多い」

日照時間は「平年並」~「平年より多い」、津山・奈義・和気・倉敷は「平年より少ない」、今岡は「平年よりかなり多い」

夏(6月~8月)は、中国地方の梅雨入り(6月8日ごろ、平年6月6日ごろ)は平年より遅く、梅雨前線の活動は活発で、6月前半は南西諸島で、6月後半から7月にかけては東日本から西日本にかけて広い範囲で大雨となった。県内では7月15日から19日にかけて平年の7月の降水量に匹敵する大雨となった。

7月15日から24日にかけては、九州、山陰、近畿および北陸地方などで豪雨となり、大きな災害が発生し、気象庁では「平成18年7月豪雨」と命名した。中国地方の梅雨明け(7月26日ごろ、平年7月20日ごろ)は平年より遅かった。

梅雨期間に加えて、梅雨明け後も時々大気の状態が不安定となり、1時間に20mmを超える強い雨、40mmを超える激しい雨や60mmを超える非常に激しい雨の降る所があった。

県内の夏の降水量は平年より多く、県内各地のアメダス観測所では6月、7月と月降水量の多い歴代記録の上位を更新する所があり、県内各地のアメダス観測所では平年の110%から130%の所が多く、多い所では150%を超える所があった。しかし、8月は県南部沿岸地域を中心に8月下旬中頃まで降水量が平年よりかなり少なく、8月の月降水量の少ない歴代記録の上位を更新する所があった。

県内の夏の平均気温は平年より高く、県内各地のアメダス観測所では6月の月平均気温の高い歴代記録の上位を更新する所があったが、7月中旬中頃から下旬中頃には寒気の南下の影響で低温となった。8月には太平洋高気圧に覆われ、晴れて気温が平年を上回る日が多く、県内各地のアメダス観測所では8月の月平均気温の高い歴代記録の上位を更新する所があった。このため、県内各地のアメダス観測所では夏の平均気温が平年より0.5から1程度高い所が多かった。岡山では夏の平均気温の高い歴代5位(26.9、平年25.9、これまでの最高は1994年6月から8月の27.6、統計開始1891年)を更新した。

また、県内の夏の日照時間は、春以来日照時間の少ない状況が続いていたが、6月中旬頃に一時回復し、6月の月間日照時間の多い歴代記録の上位を更新した所があったが、7月に入り再び少ない状況となり、7月の月間日照時間の少ない歴代記録の上位を更新する所があった。7月下旬中頃から太平洋高気圧に覆われて、晴れる日が続く、日照時間は平年を上回るようになり、県内各地のアメダス観測所では8月の月間日照時間の多い歴代記録の上位を更新する所があった。しかし、梅雨明けの遅れ、6月上旬、7月と日照時間が少なかったことから、県内の夏の日照時間は平年を下回る所があり、県内各地のアメダス観測所では平年の80%から120%の所が多かった。

夏の岡山の夏日83日(平年83.3日)、真夏日61日(平年50.8日)、熱帯夜40日(平年16.4日)、日最高気温が35以上の日14日(平年6.2日)、津山の夏日76日(平年79.5日)、真夏日49日(平年43.6日)、熱帯夜2日(平年0.7日)、日最高気温が35以上の日7日(平年4.3日)であった。

6月は、月初めに高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、8日に梅雨前線上の低気圧が四国の南海上を通過し県内多い所で70mmを超える大雨となった。6月8日ごろ中国地方は梅雨入りした。梅雨前線の活動は活発で、月前半は南西諸島で、月半ばからは西日本を中心に大雨の降る所があった。

県内では梅雨入り後、周期的に梅雨前線の影響を受け、15日には県内多い所で60mmを超えるまとまった雨が、22日から23日には県内多い所で100mmを超える大雨が、26日には県南部を中心に1時間に40mmを超える激しい雨が降った。

このため、県内の降水量は梅雨入り後平年の120%から140%の所が多く、6月の降水量は平年の100%から120%の所が多かった。県内各地のアメダス観測所では、6月の降水量の多い歴代記録の上位を更新した所があった。

また、県内の日照時間は梅雨入り後平年の60%から130%の所が多く、6月の日照時間は平年の110%から140%の所が多かった。県内各地のアメダス観測所では、6月の日照時間の多い歴代記録の上位を更新した所もあった。

梅雨前線が四国の南海上に停滞し晴れ間が広がった日には、気温が平年より高く、6月の平均気温は0.3から1程度高い所が多かった。岡山では月平均気温の高い歴代4位を、津山では月平均気温の高い歴代9位を記録した。県内各地のアメダス観測所でも、6月の平均気温の高い歴代記録の上位を更新する所があった。

7月は、活動が活発な梅雨前線が本州付近に停滞したため、曇りや雨の日が多かった。特に中旬後半か

ら下旬前半にかけて、活動が非常に活発な梅雨前線がゆっくり南下したため、県内では 15 日から 19 日にかけて大雨となり、この大雨は 7 月の月降水量に匹敵する降水量となった。山陰から北陸、甲信地方にかけて九州では記録的な大雨となり、15 日から 24 日にかけての大雨について、気象庁は「平成 18 年 7 月豪雨」と命名した。

県内の月降水量は平年より多く、平年の 150% から 190% の所が多かった。県内各地のアメダス観測所では月降水量の多い歴代記録の上位を更新した。

また、停滞した梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったため、県内の日照時間は平年より少なく、平年の 40% から 70% の所が多かった。岡山では月間日照時間の少ない歴代記録 2 位を更新した。県内各地のアメダス観測所では月間日照時間の少ない歴代記録の上位を記録した。

県内では気温の変動が大きく、中旬前半の高温と中旬後半の低温が顕著であった。県内各地のアメダス観測所では中旬前半に真夏日や熱帯夜を観測する所があった。一方、中旬中頃から下旬中頃にかけて寒気の影響で気温が平年を下回る日が多かった。

8 月は、太平洋高気圧に覆われて、気温が平年より高く、日照時間が平年より多かった。降水量は県中部を中心に平年より多く、県南部沿岸地域を中心に下旬中頃まで平年より少なかった。このため、県内各地のアメダス観測所では 8 月の月平均気温の高い歴代記録の上位を更新する所や月間日照時間の多い歴代記録の上位を更新する所があった。

8 月中旬には、日本の南海上を北上した台風第 10 号が 18 日に宮崎県に上陸し、県中部を中心にまとまった雨が降り、県南部を中心に東よりから南よりの風が強まった。

また、太平洋高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、強い日射や湿った空気、上空の寒気の影響で雷雨の日があり、1 時間に 20 ミリを超える強い雨や 60 ミリ近い非常に激しい雨の降る所があった。

7 月下旬後半から太平洋高気圧に覆われ、気温が平年を上回る日が多く、県内では真夏日¹²⁾や熱帯夜¹³⁾を連日観測した。岡山では真夏日¹²⁾を 7 月 25 日から 8 月 30 日まで連続 37 日間、熱帯夜¹³⁾を 7 月 28 日から 8 月 11 日まで連続 15 日間、8 月 14 日から 23 日まで連続 10 日間および 25 日から 30 日まで連続 6 日間、日最高気温 35 以上の日を 8 月 4 日から 11 日まで連続 8 日間観測し、津山では真夏日¹²⁾を 8 月 1 日から 27 日まで連続 27 日間および 29 日から 30 日まで 2 日間、日最高気温 35 以上の日を 8 月 8 日から 11 日まで連続 4 日間および 15 日から 16 日まで 2 日間観測した。

また、県内各地のアメダス観測所でも 7 月 25 日から連日真夏日¹²⁾を観測する所があり、県南部を中心に熱帯夜³⁾を観測する日があった。

< 秋： 10 月を中心に高温・少雨・多照 >

秋 (9 月～11 月) の平均気温は「平年より高い」

降水量は「平年より少ない」～「平年並」、上長田は「平年より多い」

日照時間は「平年よりかなり多い」、岡山・和気・玉野は「平年より多い」

秋 (9 月～11 月) は、9 月は周期的に気温が変化したが、10 月から 11 月にかけて寒気の南下がほとんどなく、移動性高気圧に覆われ晴れて暖かい日が多かった。当地方での秋雨前線の活動は全般に弱く、低気圧の活動も弱かった。このため、10 月を中心に高温・少雨・多照となり、県内の秋の平均気温は岡山では高い歴代 5 位 (19.1、統計開始 1891 年、これまでの最高は 1999 年と 1998 年 9 月～11 月の 19.4)、津山では高い歴代 8 位 (16.4、統計開始 1943 年、これまでの最高は 1961 年 9 月～11 月の 17.1) を更新した。

県内の秋の降水量は平年並の所が多く、日照時間は平年より多く、県内各地のアメダス観測所の日照時間は平年の 110% 前後の所が多かった。

9 月は周期的に気温が変動したが、9 月中旬終わり頃から 11 月初めにかけて、高気圧に覆われて晴れる日が多くなり、10 月を中心に気温が平年を上回る日が多くなった。このため、県内では 10 月の月平均気温は平年よりかなり高く、平年より 2 前後高く、10 月としては平成 10 年 (1998 年) に次ぐ記録的な高温 (観測史上、岡山 2 位、津山 3 位、県内アメダス観測所の多くで 2 位) となった。

また、9月中旬中頃に台風第13号が九州に上陸し、県内では荒れた天気となったが、9月下旬から10月にかけて、県内は少雨・多照傾向が続き、10月の月降水量は県北部の山地を除き、平年の30%から60%の所が多く、10月の月間日照時間は平年の120%前後となった。

11月に入り短い周期で天気が変わり、寒気の南下は一時的で、中旬後半から下旬にかけて南から暖かい空気が入り、気温が高くなった他、低気圧が周期的に日本付近を通過し、県内まとまった雨の降る日があった。このため、県内の11月の月平均気温は平年より高く、平年より1から1.5高く、県南部を中心に月降水量が平年より多く、日照時間が平年より少ない所が多く、11月の県内は高温、県南部を中心に多雨・日照不足となった。

秋の岡山の夏日40日(平年29.4日)、真夏日5日(平年8.4日)、熱帯夜1日(平年1.3日)、日最高気温が35以上の日0日(平年0.2日)、冬日0日(平年0.8日)、津山の夏日33日(平年25.2日)、真夏日6日(平年6.1日)、熱帯夜0日(平年0.0日)、日最高気温が35以上の日0日(平年0.3日)、冬日0日(平年4.1日)であった。

9月は、上旬後半から中旬前半にかけて低気圧や前線の影響を受けて曇りや雨の日が多く、降水量が多く、日照時間が少なかった。また、台風第13号が南西諸島を通過し、17日に九州に上陸した影響で県内荒れた天気となった。9月中旬終わり頃からは高気圧に覆われて晴れる日が多く、下旬を中心に降水量が少なく、日照時間が多かった。

9月の気温は、短い周期で平年を上回る時期、下回る時期を繰り返し、県内の月平均気温は平年並みの所が多かったが、一部で平年より低い所があった。

10月は、上旬中頃に台風第16号の接近に伴い、低気圧が急速に発達しながら本州の太平洋沿岸を北上した影響で、県内強い風や県北部の山地を中心にまとまった雨の降る日があった他、10月は高気圧に覆われ晴れて暖かい日が多かった。

このため、県内の10月の平均気温は平年よりかなり高く、10月としては平成10年(1998年)に次ぐ記録的な高温となった。また、低気圧や前線の影響が小さく、県内の10月の降水量は県北部の山地を除き平年より少なく、日照時間は平年より多く、少雨・多照となった。

11月は、月平均気温は平年より高く、月降水量は県南部を中心に平年より多く、月間日照時間は県南部を中心に平年より少ない所があり、11月の県内は高温、県南部を中心に多雨・日照不足となった。

11月は短い周期で天気が変わり、寒気の南下は一時的で、中旬後半から下旬にかけて南海上の暖かい空気の影響で気温が平年より高かった。また、低気圧が周期的に日本付近を通過し、県内はまとまった雨の降る日があった他、上旬と中旬には強い寒気の南下のため、県内では西よりの風が強まった日があった。

このため、県内各地のアメダス観測所では月平均気温の高い記録の上位を更新する所、県南部を中心に月降水量の多い記録の上位を更新する所や月間日照時間の少ない記録の上位を更新する所があった。

11月は、短い周期で天気が変わり、寒気の南下は一時的で、中旬後半から下旬にかけて南海上の暖かい空気の影響を受けた。また、低気圧が周期的に日本付近を通過し、県内ではまとまった雨の降る日があった。このため、県内の11月は高温、県南部を中心に多雨・日照不足となった。

12月は、上旬前半と中旬後半に冬型の気圧配置となり寒気が南下し、一時的に気温が平年を下回り、中旬後半にはこの冬初めて県北部で積雪を観測した。下旬後半にも冬型の気圧配置となり、強い寒気が流れ込み、県内では28日から29日にかけて荒れた天気となり、県北部を中心に断続的に降雪が続き、12月の最深積雪の上位を更新する大雪となり、県北部では真冬日となる所があった。

12月は周期的に寒気が南下し冬型の気圧配置となったが、他の日は寒気の南下は小さく、暖かな日が続く、月平均気温は平年より高い所が多かった。また、南岸を低気圧や前線が通ることが多く、曇りや雨の日が多かったことから、月降水量が平年より多い所や月間日照時間が平年より少ない所が多かった。

1 月< 上旬を中心に「低温」と「1 月の歴代記録 1 位の積雪」、気温の変動大、中旬にまとまった雨、下旬には県北部の平地で記録的な大雪 >

平均気温は「平年より低い」～「平年並」

降水量は「平年並」～「平年より多い」

日照時間は県中央部を中心に「平年より多い」～「平年よりかなり多い」、その他の地域は「平年並」、岡山は「平年より少ない」

1 月は、上旬は冬型の気圧配置が続き、強い寒気の影響で低温（最高気温、最低気温ともに県南部を中心に平年より 2 前後低く、県北部では平年より 2 ～3 低かった）となり、県北部のアメダス観測所では積雪の深さの最大値（最深積雪）110 ㍉を超える降雪があった。1 月 7 日には真庭市蒜山上長田 116 ㍉（月最深積雪の年間 3 位、1 月の歴代記録 1 位、統計開始 1991 年）、新見市千屋 78 ㍉（月最深積雪の年間 3 位、1 月の歴代記録 1 位、統計開始 1991 年）の最深積雪を観測した。中旬には南から暖かい空気が流れ込み、3 月～4 月並みの気温の高い時期があるなど、1 月は気温の変動が大きかった。

13 日～14 日にかけて低気圧が日本の南岸を通過し、南から暖かい空気が流れ込み、13 日夕方から降り出した雨は 14 日にかけてまとまった雨となり、県南部では 1 月の平年の降水量に匹敵する雨量となった。

下旬前半に強い寒気が流れ込み、県北部の平地で断続的に雪が降り続いた。1 月 23 日には美作市今岡 26 ㍉（1 月の最深積雪歴代記録 2 位、統計開始 1992 年）、津山市林田 10 ㍉の最深積雪を観測した。

岡山の冬日⁹⁾13 日（平年 14.8 日）、真冬日¹⁰⁾0 日（平年 0.0 日）、津山の冬日⁹⁾23 日（平年 24.1 日）、真冬日¹⁰⁾0 日（平年 0.1 日）であり、岡山の雪日数 4 日（平年 6.3 日）、津山の雪日数 17 日であった。

1 月上旬は、4 日～5 日及び 6 日～7 日にかけて強い寒気が流れ込み、県北部の山地を中心に降雪が強まり、最深積雪が 110 ㍉を超える所があり、1 月の月最深積雪の歴代 1 位を更新する所があった。また、上旬の中頃を中心に冬型の気圧配置が続き、強い寒気が流れ込み気温が平年を下回る日が多く、降水量が県北部の山地を除き、平年より少なかった。

1 月中旬は、13 日～14 日にかけて低気圧が四国沖を通過し、この時期としてはまとまった雨となった。また、この低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込み、気温が上昇した。旬の後半は、気圧の谷の影響で雲が広がりやすく、県北部の山地を中心に雪や雨の降る日があったが、寒気の影響は小さく、気温が平年を上回る日が多かった。

1 月下旬は、21 日に西日本の南海上を進んだ低気圧や寒気の影響で雲が広がり雪や雨の降った所があり、23 日にかけて県北部を中心に断続的に雪が降り続いた。その後、下旬の中頃を中心に冬型の気圧配置となる日が多く、県北部では雪や雨の降る日が多かった。下旬の終わり頃は、気圧の谷や南からの暖かく湿った空気の影響で曇りや雨の降る日が多かった。

< 1 月上旬：低温 >

岡山県内では、12 月からの低温傾向が続く中、1 月上旬の最高気温、最低気温ともに平年より大きく下回り、県南部を中心に平年より 2 前後低く、県北部では平年より 2 ～3 低かった。

また、1 月 5 日～10 日にかけて県内アメダス観測所のほとんどで冬日⁹⁾を観測し、4 日～7 日にかけては県北部のアメダス観測所では真冬日¹⁰⁾を観測する所があり、9 日には県北部のアメダス観測所では最低気温が氷点下 10 を下回る所があった。

< 1 月上旬：断続的な強い寒気の流れ込みによる積雪 >

1 月 4 日夜から 5 日にかけて、上空約 5500 ㍎に氷点下 30 の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まった。このため、県北部の山地を中心に 5 日夕方にかけて降雪が強まった。

最深積雪は、4 日上長田 70 ㍉、千屋 61 ㍉、今岡 0 ㍉、津山 0 ㍉、5 日上長田 105 ㍉、千屋 67 ㍉、今岡 0 ㍉、津山 0 ㍉であった。

また、6 日夜から 7 日にかけて、上空約 5500 ㍎に氷点下 33 以下の非常に強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まった。このため、県北部の山地を中心に 7 日夕方にかけて降雪が強まった。

最深積雪³⁾は、6 日上長田 105 ㍉、千屋 68 ㍉、今岡 0 ㍉、津山 0 ㍉、7 日上長田 116 ㍉（月最深積雪の年間 3 位、1 月の歴代 1 位、統計開始 1991 年）、千屋 78 ㍉（月最深積雪の年間 3 位、1 月の歴代 1 位、統計開始 1991 年）、今岡 3 ㍉、津山 0 ㍉であった。

< 1月上旬と下旬：少雨（県北部の山地を除く）>

1月上旬の中頃を中心に冬型の気圧配置が続き、県北部の山地を中心に断続的に降雪が続き、降水量が平年を上回る所があったが、県南部を中心に降水量が平年より少なかった。県南部では降水量がなく、平年の0%、県北部の平地では平年の10%前後であった。

下旬中頃にかけて、西日本の南海上を低気圧が通過した後、冬型の気圧配置となる日が多く、県北部では雪や雨の日が多かった。下旬の終わり頃は気圧の谷や南からの湿った空気の影響で曇りや雨の降る日多かったが、県南部では影響が小さく、県南部を中心に降水量が少なく、県南部を中心に平年の10%~30%、県北部を中心に平年の30%~50%の所が多かった。

< 1月中旬中頃：気温の上昇とまとまった雨>

東シナ海に発生した低気圧が1月13日~14日にかけて日本の南岸を通過した。この低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込み、気温が上昇した。県内各地のアメダス観測所の最低気温は14日に4月上旬から中旬並みの暖かさとなり、最高気温は13日~14日にかけて県南部で3月上旬~中旬並み、県北部で3月中旬~下旬並みの暖かさとなった。その前後では、11日~13日、16日及び20日は県内アメダス観測所のほとんどで冬日⁹⁾を観測した。

その後、中旬後半にかけては寒気の影響が小さく、気温が平年を上回る日が多く、中旬の平均気温は平年より1.5前後高い所が多かった。

また、13日夕方から降り出した雨は14日にかけてまとまった雨となり、県南部を中心に30^{ミリ}~40^{ミリ}、県北部を中心に40^{ミリ}~60^{ミリ}の所が多かった。このまとまった雨のため、県内のアメダス観測所では14日に1月の日降水量の歴代記録1位を更新する所（奈義34^{ミリ}、久世37^{ミリ}、新見40^{ミリ}、下皆部35^{ミリ}、佐屋40^{ミリ}、虫明30^{ミリ}、笠岡27^{ミリ}、玉野31^{ミリ}）があった。このまとまった雨は、県南部では1月の平年の降水量に匹敵する雨量となった。

< 1月下旬：県北部の平地を中心に大雪と強風>

西日本の南海上を低気圧が進んだ後、1月22日~23日にかけて上空に強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まった。このため、岡山県北部では22日夜遅くから23日明け方にかけて、断続的に雪が降り続いた。最深積雪³⁾は、22日に上長田62^{センチ}、千屋42^{センチ}、今岡10^{センチ}、津山4^{センチ}、23日に上長田64^{センチ}、千屋43^{センチ}、今岡26^{センチ}（1月の最深積雪歴代記録2位、統計開始1992年）、津山10^{センチ}、24日に上長田72^{センチ}、千屋44^{センチ}、今岡15^{センチ}、津山1^{センチ}であった。

また、22日~23日にかけて日中を中心に西よりの風が強まり、22日には岡山で最大風速 西の風14.5^{メートル}、最大瞬間風速 西北西の風21.7^{メートル}を、津山では最大風速 西北西の風5.2^{メートル}、最大瞬間風速 北西の風14.9^{メートル}を、23日には岡山で最大風速 北北西の風10.4^{メートル}、最大瞬間風速 北北西の風15.9^{メートル}を、津山では最大風速 西南西の風4.7^{メートル}、最大瞬間風速 西南西の風10.5^{メートル}を観測した。

また、21日~27日、29日は県内アメダス観測所のほとんどで冬日⁷⁾を観測し、22日~24日、29日には県北部のアメダス観測所では最低気温が氷点下10度を下回る所があった。

< 生物季節観測>

1月10日に、スイセンの開花（後樂園）を観測した。平年は1月16日、昨年は12月11日。

1月15日に、ツバキの開花（後樂園）を観測した。平年は1月16日、昨年は12月11日。

2月< 気温の変動大、3月から4月並みの暖かい日、県南部で積雪、多雨>

平均気温は「平年並」~「平年より高い」

降水量は「平年より多い」、上長田・恩原・今岡は「平年並」

日照時間は「平年より少ない」、津山・久世は「平年よりかなり少ない」、上長田・虫明は「平年並」、今岡は「平年より多い」

2月は、上旬と中旬に強い寒気が流れ込み冬型の気圧配置となり、県北部を中心に降雪が強まる日や気温が平年を下回る日があった。また、本州南岸を低気圧が周期的に通過したため、県南部でも雪やみぞれの降る日があった他、中旬以降は南から暖かい空気が流れ込み気温が平年より高い日が多く、3月から4月並みの気温となる日があった。

2月は低気圧が四国付近を通過したことや日本の南海上に前線が停滞しやすかったことから、曇りや雨

の日が多く、月降水量が平年より多い所や、月間日照時間が平年より少ない所が多かった。

2月の岡山の冬日⁹⁾8日(平年13.3日)、真冬日¹⁰⁾0日(平年0.0日)、津山の冬日⁹⁾18日(平年21.1日)、真冬日¹⁰⁾0日(平年0.1日)であり、岡山の雪日数5日(平年6.8日)、津山の雪日数11日であった。

2月上旬は、上旬初めに南から暖かい空気が流れ込み、気温が平年を上回る日があったが、3日~4日及び7日~8日にかけて強い寒気が流れ込み冬型の気圧配置となったため、県北部を中心に断続的に降雪が強まり、4日を中心に気温が平年を下回った。また、6日には低気圧が四国付近を通過したため、県内日中を中心に雪が降り、県南部でも積雪があった。

2月中旬は、短い周期で天気が変わり、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。12日と17日には上空に強い寒気が流れ込み、県北部の山地を中心に断続的に雪が降り続いた。また、20日には四国の南海上に停滞した前線の影響で、県南部でも雪の降る所があった。中旬は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、降水量が平年より多く、日照時間が平年より少ない所が多かった。

2月下旬は、四国の南岸を通過した低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。26日は四国の南海上を低気圧が通過し、半日程度でまとまった雨が降った。下旬は南から暖かい空気が流れ込みやすく、気温が平年より高い日が多く、3月中旬から下旬並みの暖かさの日が多かった。

<2月上旬初め：1月下旬終わり頃から2月上旬初めにかけて最低気温が3月下旬から4月上旬並みの暖かさ>

1月下旬終わり頃から2月上旬初めにかけて、南から暖かい空気が流れ込み、1月30日から2月2日にかけて気温の高い状況が続き、最低気温が3月下旬から4月上旬並みとなった。この間の平均気温は平年より4前後高く、最高気温は平年より2~2.5程度高く、最低気温は平年より4~5.5程度高い所が多かった。

<2月上旬前半：強い寒気の流れ込みによる強風、積雪、低温>

2月3日から5日にかけて、上空約5500㍻に氷点下30以下の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まった。このため、県南部を中心に西よりの風が3日朝のうちから強まり、のち北よりの風が変わった。3日には岡山では最大風速 北北西の風12.5㍻(16時00分)、最大瞬間風速 北北西の風18.9㍻(13時31分)を、津山では最大風速 西の風4.5㍻(10時40分)、最大瞬間風速 西の風12.3㍻(10時32分)を観測した。

県北部では3日午後から降雪が強まり、4日にかけて断続的に降り続いた。最深積雪³⁾は、3日に上長田53㍻、千屋39㍻、津山2㍻、今岡11㍻、4日に上長田56㍻、千屋42㍻、津山3㍻、今岡14㍻を観測した。

4日を中心に冷え込み、3日~5日にかけて県内全てのアメダス観測所で冬日⁹⁾を、4日には県北部全てのアメダス観測所で氷点下5以下を観測し、4日~5日にかけて県北部中国山地沿いのアメダス観測所で真冬日¹⁰⁾を観測した。

<2月上旬後半：強い寒気の流れ込みによる強風、積雪>

2月6日夜にかけて低気圧が四国付近を通過し、7日に寒気を伴った気圧の谷が通過した後、冬型の気圧配置となった。その後、8日から9日にかけて上空約5500㍻に氷点下30以下の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まった。

このため、7日から8日にかけて県南部沿岸地域を中心に西よりの風が強まり、7日には岡山で最大風速 西北西の風14.6㍻(14時00分)、最大瞬間風速 西の風23.5㍻(13時58分)、津山で最大風速 西の風5.0㍻(14時10分)、最大瞬間風速 西の風18.0㍻(14時1分)を、8日には岡山で最大風速 西の風13.5㍻(14時40分)、最大瞬間風速 西の風19.6㍻(14時20分)、津山で最大風速 西の風5.7㍻(11時50分)、最大瞬間風速 西の風15.9㍻(11時37分)を観測した。

また、県南部では8日朝のうち降雪があり、県北部では7日夜遅くから降雪が断続的に続き、8日夜から9日昼前にかけて断続的に強まった。最深積雪³⁾は、6日に上長田63㍻、千屋43㍻、今岡6㍻、津山8㍻、7日に上長田62㍻、千屋48㍻、今岡4㍻、津山5㍻、8日に上長田71㍻、千屋60㍻、今岡5㍻、津山1㍻、9日に上長田88㍻、千屋64㍻、今岡15㍻、津山5㍻を観測した。

8日から10日にかけて、県内のアメダス観測所のほとんどで冬日⁹⁾を、9日と10日には県北部のアメダス観測所を中心に氷点下10以下を観測した。

<2月上旬と中旬：県南部で積雪>

東シナ海に発生した低気圧が2月6日夜にかけて四国付近を通過した。このため、上空に寒気が流れ込み、6日昼頃から県内広い範囲で降雪が強まり、宵のうちに掛けて断続的に続いた。

岡山地方气象台では、6日7時過ぎから断続的に降雪を観測し、13時頃から18時前にかけて強まり、18時には積雪1㍉を観測した。降雪は18時半頃まで続き、その後雨に変わった。

県北部のアメダス観測所では、6日15時頃から19時頃にかけて積雪を観測し、6日の最深積雪³⁾は上長田63㍉、千屋43㍉、今岡6㍉、津山8㍉であった。県内各地のアメダス観測所では、6日昼過ぎから宵のうちに掛けて10㍉前後の雨量を観測した。

また、19日から20日にかけて、四国の南海上に停滞した前線の影響で全般に雲が広がり、県内では20日午前中を中心に雨や雪の降る所があった。

岡山地方气象台では、20日8時頃を中心にみぞれを観測し、その後雨に変わり、断続的に16時前まで続いた。20日県内各地のアメダス観測所では、15㍉前後の雨量を観測した所が多かった。

県北部のアメダス観測所では、20日8時から11時にかけて積雪を観測し、1時間に2㍉~3㍉、多い所で6㍉の降雪を観測した。

<2月中旬：強い寒気の流れ込みによる強風、積雪>

2月10日に日本海北部を前線を伴った低気圧が通過し、11日には気圧の谷が通過した後、12日には上空に強い寒気の流れ込み冬型の気圧配置となった。

このため、県北部の山地を中心に12日明け方頃から昼過ぎにかけて降雪が断続的に続いた。最深積雪³⁾は、11日に上長田69㍉、千屋50㍉、今岡0㍉、津山0㍉、12日に上長田80㍉、千屋52㍉、今岡0㍉、津山0㍉であった。また、岡山地方气象台では12日朝のうち、みぞれを観測した。

<2月中旬：3月から4月並みの気温>

2月15日に東シナ海から四国付近にのびる前線上に低気圧が発生し、この低気圧が16日朝のうちに掛けて四国付近を通過した後、四国の南海上に前線が停滞した。

このため、南から暖かく湿った空気が流れ込み、15日から16日にかけて、気温が平年より3~4程度高い状況が続き、最高気温が3月上旬~中旬並み、最低気温が3月下旬~4月上旬並みの気温となった。

また、この低気圧と停滞した前線の影響で、15日から16日にかけて雨の降りやすい状況が続き、15日夕方から降り出した雨は16日朝のうちに掛けて、そして16日夕方から宵のうちに掛けて断続的に雨が降った。15日から16日にかけての雨量は、県内で15㍉程度の所が多く、県南部の多い所で20㍉前後の所があった。

<2月下旬：3月中旬から下旬並みの暖かさ>

2月下旬中頃は高気圧に覆われ晴れ間の広がる日もあったが、南海上の前線や低気圧の影響を受け、曇りや雨の降る日が多く、南から暖かい空気が流れ込みやすかった。このため、県内の気温は平年より高い日が多く、下旬の平均気温は平年より2.5程度高く、最高気温は平年より2~4程度高く、最低気温は平年より1.5前後高い所が多く、3月中旬から下旬並みの暖かさの日が多かった。

<2月下旬：四国の南岸を低気圧が通過し、半日程度でまとまった雨>

東シナ海に発生した低気圧が2月26日にかけて四国の南岸を通過し、また日本海西部の低気圧が急速に発達し26日にかけて北海道付近に達したため、日本付近は深い気圧の谷となった。

このため、岡山県内では25日夜遅くから降り出した雨が、26日昼頃まで断続的に降り続いた。25日~26日にかけての県内の雨量は、県南部沿岸地域を中心に15㍉前後の所が多く、県北部を中心に20㍉~30㍉の所が多かった。また、この雨は26日6時頃から7時過ぎにかけて、一時的に強まった。

<2月下旬：放射冷却のため、県内冬日>

2月27日~28日は高気圧に覆われ、28日は晴れて放射冷却のため、県内全てのアメダス観測所で冬日⁹⁾を観測した。

<生物季節観測>

2月18日に、ヒバリの初鳴(百間川)を観測した。平年は2月18日、去年は3月13日。

3 月 < 気温の変動大、2 月並みの寒い日と 4 月並みの暖かい日、下旬の記録的な強風と積雪 >

平均気温は「平年より低い」、岡山・上長田・高梁は「平年並」、笠岡は「平年よりかなり低い」

降水量は「平年より少ない」～「平年並」、県北部の山地を中心に「平年より多い」

日照時間は「平年より多い」、岡山・久世・玉野は「平年並」、上長田・今岡は「平年よりかなり多い」

3 月は、上旬の初め頃冬型の気圧配置となり 2 月上旬並みの寒さとなった後、日本海の低気圧に向かって南から暖かい空気が入る日や、高気圧に覆われて晴れる日があり、気温の高い日が多く 4 月並みの暖かい日があった。中旬は前線や低気圧が通過した後、冬型の気圧配置となるなど、寒気の影響を受ける日があり、気温が平年をかなり下回る日があった。下旬は日本付近を低気圧がたびたび通過し、28 日には日本海を進む低気圧からのびる寒冷前線が通過し、県内各地で強い風が吹き、また強い寒気が流れ込んだため、29 日のソメイヨシノの開花⁵⁾後に県北部を中心に降雪があり、2 月下旬並みの寒さとなった。また、四国付近を通過した低気圧や真冬並みの寒気の影響で、県南部でも上旬、中旬と下旬に降雪があった。

3 月は、南からの暖かい空気による高温や強い寒気の流れ込みによる低温と気温の変動が多かった。月平均気温は平年より低い所が多く、月降水量は県北部の山地を除き平年より少ない所が多く、月間日照時間は平年より多い所が多かった。また、県北部の降雪量は平年より多い所があった。

3 月の岡山の冬日⁹⁾3 日 (平年 6.4 日)、真冬日¹⁰⁾0 日 (平年 0.0 日)、津山の冬日⁹⁾15 日 (平年 14.8 日)、真冬日¹⁰⁾0 日 (平年 0.0 日) であり、岡山の雪日数 5 日 (平年 2.1 日)、津山の雪日数 9 日であった。

3 月上旬は、旬の初めに低気圧が四国の南岸を進んだ後冬型の気圧配置となり、県北部の山地を中心に雪の降る所があり、4 日にかけて 2 月上旬並みの寒さとなった。上旬後半は 6 日と 10 日に前線や低気圧の影響で雨の降る所があったが、高気圧に覆われる日が多く、3 月下旬から 4 月中旬並みの暖かさとなった。

3 月中旬は、寒冷前線や低気圧の通過後冬型の気圧配置となり、県南部でも雪の降る日があった。13 日から 14 日にかけて真冬並みの強い寒気が流れ込んだため、気温が平年を下回り、県北部では断続的に降雪が強まった。19 日にも寒気が流れ込んだため、県北部では雪の降る所があり、日中を中心に西よりの風が強まった。その他の日は高気圧に覆われて概ね晴れた。

中旬前半と後半に寒気の影響を受ける日があったため、中旬の平均気温が平年を 1 前後下回る所が多く、降水量が県北部の山地を中心に平年より多かった。

3 月下旬は、短い周期で低気圧や前線の影響を受けたが、天気のは崩れは小さかった。28 日には日本海の低気圧からのびる寒冷前線が通過した後、強い寒気が流れ込み、県北部を中心に雪や雨の降る所があり、29 日から 31 日にかけて気温が平年を下回った。この寒冷前線通過前後には、県内で強い風が吹き、県内のアメダス観測所の 3 月の日最大風速の歴代 2 位や 3 位を更新する所があった。

下旬の終わり頃を中心に寒気の影響を受け、平均気温が平年より低い所が多く、天気のは崩れが小さかったため、降水量が平年より少なく、日照時間が平年より多い所が多かった。

< 3 月上旬前半：四国の南岸を進んだ低気圧によるまとまった雨、その後冬型の気圧配置による県北部の山地で降雪 >

日本の南海上にのびる前線上に 3 月 1 日低気圧が発生し、四国の南岸を進んだ。このため、県内では 2 月 28 日夜遅くから雨が降り出し、1 日宵のうちまで断続的に降り続いた。2 月 28 日から 3 月 1 日にかけて県内各地のアメダス観測所では、20 ミリ～30 ミリの雨量を観測した。

この低気圧が四国の南岸を通過した後、3 日にかけて冬型の気圧配置となり、上空に寒気が流れ込んだため、県北部の山地では 1 日夕方頃から 2 日朝のうちにかけて、そして 3 日宵のうちにかけて断続的に雪が降り続いた。最深積雪³⁾は、1 日上長田 28 ㍉、千屋 5 ㍉、今岡 0 ㍉、津山 0 ㍉、2 日上長田 35 ㍉、千屋 11 ㍉、今岡 0 ㍉、津山 0 ㍉、3 日上長田 35 ㍉、千屋 5 ㍉、今岡 0 ㍉、津山 0 ㍉であった。岡山地方気象台でも、2 日と 3 日に雪あられやにわか雪を観測した。

< 3 月上旬前半は 2 月上旬並みの寒さ、上旬後半は 3 月下旬から 4 月中旬並みの暖かさ >

3 月上旬前半は、1 日に低気圧が四国の南岸を通過した後、3 日にかけて冬型の気圧配置となり、上空に寒気が流れ込んだため、4 日にかけて気温が平年を下回り、1 日～4 日までの県内アメダス観測所の平均気温と最高気温は平年より 1.5 ～2 程度低く、最低気温は 1 前後低い所が多く、2 月上旬並みの寒さとなった。また、2 日～5 日にかけて県内アメダス観測所のほとんどで、冬日⁹⁾を観測した。

上旬中頃を中心に高気圧に覆われる日が多く、気温が平年を上回り、5 日～8 日までの県内アメダス観測

所の平均気温は平年より 2 ~ 3 程度高く、最高気温が平年より 2 ~ 4 程度高く、最低気温が平年より 2 程度高い所が多く、3 月下旬から 4 月中旬並みの暖かさとなった。

<3 月中旬：濃霧>

3 月 10 日に低気圧が日本の南海上を進み、昼過ぎまで雨の降る所があり、その後 11 日にかけて移動性高気圧に覆われた。このため、湿った空気と放射冷却のため、県内では 10 日夜遅くから 11 日昼前にかけて濃霧が発生した。岡山地方気象台では 11 日 2 時に視程 2 *₀未満を、2 時 30 分に視程 1 *₀未満を、3 時に視程 500 _未満を、7 時には視程 100 _未満を観測した。11 日 8 時 30 分に視程 1 *₀未満を観測し、その後 11 日昼頃にかけて次第に視程が回復した。

<3 月中旬：真冬並みの寒気の流れ込みによる降雪>

3 月 12 日にオホーツク海にある低気圧からのびる寒冷前線が中国地方を通過した後、14 日にかけて冬型の気圧配置となり、真冬並みの強い寒気が流れ込んだ。このため、県北部では 13 日午前 3 時前から昼頃にかけて、そして 13 日夜遅くから 14 日昼過ぎにかけて断続的に降雪が続いた。岡山地方気象台でも、13 日 11 時過ぎから 13 時過ぎにかけて、そして 14 日 5 時前から 13 時過ぎにかけて断続的ににわか雪を観測した。

12 日 ~ 14 日の日中を中心に西よりの風がやや強まり、県内アメダス観測所の最大風速は 6 _未前後、強い所で 10 _未を超える所があった。12 日岡山で最大風速 西北西の風 10.1 _未(19 時 30 分) 最大瞬間風速 西北西の風 15.7 _未(19 時 24 分) 津山で最大風速 西北西の風 3.3 _未(17 時 10 分) 最大瞬間風速 西北西の風 11.5 _未(19 時 51 分) を、13 日岡山で最大風速 西北西の風 10.1 _未(16 時 40 分) 最大瞬間風速 西北西の風 16.6 _未(16 時 22 分) 津山で最大風速 西北西の風 4.6 _未(11 時 50 分) 最大瞬間風速 西の風 13.5 _未(12 時 42 分) を、14 日岡山で最大風速 西の風 12.8 _未(13 時 50 分) 最大瞬間風速 西の風 20.1 _未(13 時 44 分) 津山で最大風速 西北西の風 5.7 _未(13 時 00 分) 最大瞬間風速 西南西の風 15.4 _未(12 時 38 分) を観測した。

最深積雪³⁾は、13 日上長田 43 _未、千屋 16 _未、津山 0 _未、今岡 0 _未、14 日上長田 32 _未、千屋 17 _未、津山 0 _未、今岡 0 _未を観測した。

また、13 日と 14 日は県内のアメダス観測所のほとんどで冬日⁹⁾を観測し、県北部のアメダス観測所では真冬日¹⁰⁾を観測する所があった。

<3 月中旬：2 月上旬並みの厳しい冷え込み>

3 月 13 日は真冬並みの寒気が流れ込み、14 日後半から 15 日にかけて東シナ海に中心を持つ移動性高気圧に覆われた。このため、13 日から 15 日にかけて気温が平年を下回り、県内のアメダス観測所のすべてで冬日⁹⁾を観測した。また 15 日早朝は、放射冷却のため県内厳しい冷え込みとなり、県北部のアメダス観測所では 15 日の最低気温が氷点下 10 を下回る所があった。

この間の気温は平年より 4 前後低い所が多く、県北部の山地を中心に最低気温が平年より 6 以上低く所があり、2 月上旬並みの厳しい冷え込みとなった。

<3 月中旬：発達しながら東進した低気圧と上空の強い寒気の影響で、県内西よりのやや強い風>

3 月 16 日に東シナ海の前線上に低気圧が発生し、発達しながら 16 日夕方から 17 日明け方にかけて山陰沿岸を北東に進んだ。この低気圧の通過後、上空に強い寒気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。このため、県内では 16 日明け方から降り出した雨は、夕方頃一時的にやや強まり、県北部の山地を除き宵のうちまで続いた。16 日の県内アメダス観測所の雨量は 15 _未前後の所が多く、多い所で 30 _未を超える所があり、低気圧の接近により東よりの風が、通過後には西よりの風が強まった。

18 日に東シナ海の前線上に低気圧が発生し、発達しながら四国の南海上を通過した。この低気圧の通過後、上空に強い寒気が流れ込み、18 日夜から 19 日にかけて冬型の気圧配置となった。このため、県内では 18 日朝のうちから夜遅くにかけて断続的に雨が降り、県北部では 19 日日中雪の降る所があった。また、冬型の気圧配置となった 18 日夜から西よりの風となり、強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まった 19 日の日中を中心に西よりの風が強まり、県内のアメダス観測所では最大風速 7 _未前後、強い所で 10 _未を超える所があった。19 日岡山では最大風速 北北西の風 11.9 _未(15 時 30 分) 最大瞬間風速 北北西の風 20.3 _未(10 時 18 分) を、津山では最大風速 北北西の風 4.6 _未(10 時 50 分) 最大瞬間風速 北西の風 12.2 _未(11 時 59 分) を観測した。

<3月下旬：黄砂⁷⁾>

3月22日に低気圧が四国沖を通過し、23日は大陸に中心を持つ高気圧に覆われた。このため、西日本の広い範囲で黄砂を観測した。岡山地方気象台では、23日12時10分から16時まで黄砂を観測し、この間視程は10^m以上であった。

<3月下旬：日本海の低気圧からのびる寒冷前線の通過に伴う記録的な強風、その後の冬型の気圧配置による降雪と低温>

3月28日に日本海の低気圧からのびる寒冷前線が、中国地方を昼過ぎから夕方にかけて通過した。このため、県内では寒冷前線通過前には南よりの風が、寒冷前線通過後には西よりの風が強まった。県内各地のアメダス観測所では、28日昼過ぎに最大風速10^{m/s}前後を観測する所が多かった。28日に岡山では最大風速 西の風15.5^{m/s} (13時30分：3月の日最大風速歴代3位)、最大瞬間風速 西北西の風25.7^{m/s} (13時14分：3月の日最大瞬間風速歴代3位)、津山では最大風速 南西の風12.6^{m/s} (13時40分)、最大瞬間風速 西南西の風26.2^{m/s} (13時34分：3月の日最大瞬間風速歴代2位)を観測した。県内各地のアメダス観測所でも3月の日最大風速の歴代2位や3位を更新する所があった。

寒冷前線が通過した28日夜から冬型の気圧配置となり、強い寒気が流れ込み、県北部の山地を中心に28日夜遅くから29日夕方にかけて、そして30日明け方から夕方にかけて断続的に雪や雨が続いた。30日には岡山地方気象台でも16時過ぎにみぞれを観測した。最深積雪³⁾は28日に上長田0^{cm}、千屋7^{cm}、津山0^{cm}、今岡0^{cm}、29日に上長田6^{cm}、千屋13^{cm}、津山0^{cm}、今岡0^{cm}、30日に上長田24^{cm}、千屋19^{cm}、津山2^{cm}、今岡7^{cm} (3月の月最深積雪歴代4位、統計開始1992年)を観測した。

28日夜から強い寒気が流れ込み、また30日には新たな強い寒気が流れ込んだため、31日にかけて気温が平年を下回った。29日～31日の平均気温は県南部を中心に平年より4前後低く、3月上旬並みの気温に、県北部を中心に平年より5～6低く、2月中旬から下旬並みの気温となる所が多かった。29日～31日の最高気温は県北部を中心に平年より6～8低く、2月上旬並みの所が多く、最低気温は平年より3～5低く、2月下旬～3月上旬並みの所が多かった。

また、29日～31日は県北部を中心に冬日⁹⁾を観測した。

<生物季節観測>

3月2日に、ウメの開花(後樂園)を観測した。平年は2月8日、昨年は2月26日。

3月5日に、ウグイスの初鳴(中島)を観測した。平年は3月4日、昨年は3月27日。

3月14日に、ツバメの初見(中島)を観測した。平年は3月24日、昨年は3月14日。

3月24日に、タンポポの開花(西川原)を観測した。平年は3月18日、昨年は3月24日。

3月28日に、スミレの開花(後樂園)を観測した。平年は3月27日、昨年は3月28日。

3月29日に、ソメイヨシノの開花(後樂園)を観測した。平年は3月31日、昨年は4月3日。

4月<10年ぶりの4月の低温、多雨、日照不足、周期的なまとまった雨と記録に残る強風>

平均気温は「平年よりかなり低い」～「平年より低い」

降水量は「平年並」～「平年より多い」、千屋・高梁・佐屋は「平年よりかなり多い」

日照時間は「平年よりかなり少ない」

4月は、上旬には短い周期で低気圧や前線が本州付近を通過し、雷雨や強い風が吹いた日、まとまった雨の降った日があった。その後、10日から12日、15日から16日と19日から21日にかけて動きの遅い低気圧の影響で、強い風が吹いた日、強い雨やまとまった雨の降った日があった。

17日は移動性高気圧に覆われて、放射冷却のため県内陸部を中心に冬日⁹⁾を観測し、30日は移動性高気圧に覆われて南から暖かい空気が流れ込み、県内陸部を中心に夏日¹¹⁾を観測した。

中旬中頃から寒気の影響を受ける日が多く、低温傾向が続いたため、月平均気温が平年より低く、1996年(平成8年)4月以来、10年ぶりの4月の低温となった。また、上旬に短い周期で本州付近を通過した低気圧や、中旬以降は動きの遅い低気圧の影響を受け、月降水量が平年より多く、月間日照時間が平年よりかなり少なかった。

4月上旬は、短い周期で変わり、低気圧や前線の影響を受けやすかった。2日と8日には寒冷前線が通過した影響で、雷雨や強い風が吹いた。低気圧の影響を受けた4日から5日は県南部を中心にまとまった雨となり、10日には県内全域でまとまった雨となった。このため、上旬の降水量は県内平年より多く、県南部を中心に平年よりかなり多い所があった。

4月中旬は、移動性高気圧に覆われて晴れる日もあったが、短い周期で変化し、低気圧や前線の影響で強い風やまとまった雨の降った日があった。中旬の初めと終わり頃には、日本海をゆっくり進んだ低気圧の影響で、11日には東よりの強い風が、20日には西よりの強い風が吹いた。10日から11日にかけてと15日から16日にかけてはまとまった雨が降り、多い所で100mmを超える雨が降った所があった。また、移動性高気圧に覆われた17日は、放射冷却のため県内陸部を中心に冬日⁹⁾を観測した。

中旬は低気圧や前線の影響を受けたため、降水量が平年より多く、日照時間が平年より少なかった。また、中旬の中頃を中心に寒気の影響を受け、気温が平年を下回り、3月下旬から4月上旬並みの気温で経過した。

4月下旬は、22日~23日と26日~27日にかけて四国の南海上を低気圧が通過した影響で、雨の降る所があった。29日には寒気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴い雨の降る所があった。その他の日は移動性高気圧に覆われ概ね晴れるが、寒気の影響で雲の広がる日が多かった。30日は日本の南海上に中心を持つ移動性高気圧に覆われて、南から暖かい空気が流れ込み、県内陸部を中心に夏日となった。

中旬中頃から寒気の影響を受ける日が多く、中旬中頃から低温傾向が続き、下旬の平均気温は平年よりかなり低かった。また、低気圧の影響が小さかったため、下旬の降水量は県南部を中心に平年よりかなり少なかったが、寒気の影響を受けて雲の広がる日が多かったため、下旬の日照時間は平年より少ない所が多かった。

<4月：10年ぶりの4月の低温、多雨、日照不足、周期的なまとまった雨と記録に残る強風>

4月は、中旬の中頃から寒気の影響を受けやすく、気温が平年を下回る日が多かった。このため、県内の4月の平均気温は平年より1前後低く、最高気温は平年より1から2程度低い所が多かった。4月の平均気温が平年より1前後低くなったのは、1996年(平成8年)の4月以来、10年ぶりの4月の低温となった。

このため、津山では4月の月平均気温の低い歴代8位(10.8、平年12.0、これまでの最低は1949年9月の9.1、統計開始1943年)を更新した。県内各地のアメダス観測所でも、4月の月平均気温の低い歴代記録の上位を更新した所(上長田6位、千屋3位、奈義3位、今岡3位、久世3位、新見2位、福渡2位、和気3位、高梁3位、虫明2位、倉敷3位、笠岡2位、玉野5位)があった。

4月は短い周期で天気が変わり、低気圧や前線の影響を受けやすく、4日には四国の南海上を通過した低気圧の影響で、10日から12日にかけては日本海をゆっくり進んだ低気圧の影響で、15日から16日にかけては四国沖を通過した低気圧の影響で、まとまった雨が降った。このため、県内の月降水量は平年を上回り、県内平年の110%から150%前後の所が多く、月間日照時間は平年を下回る所が多く、平年の60%から80%の所が多かった。

このため、県内各地のアメダス観測所では、4月の月降水量の多い歴代記録の上位を更新する所(千屋1位、恩原3位、久世8位、新見7位、下砦部9位、周匝9位、陣山4位、福渡8位、高梁4位、佐屋4位、矢掛8位、虫明10位、笠岡9位、玉野9位)があった。

また、岡山では4月の月間日照時間の少ない方から歴代2位(132.7時間、平年の71%、平年186.7時間、これまでの最小は1964年4月の127.3時間、統計開始1892年)を更新し、津山では4月の月間日照時間の少ない歴代1位(125.2時間、平年の68%、平年182.8時間、これまでの最小は1964年4月の125.5時間、統計開始1943年)を更新した。県内各地のアメダス観測所でも、4月の月間日照時間の少ない歴代記録の上位を更新した所(上長田2位、千屋3位、奈義1位、今岡2位、久世1位、新見1位、福渡1位、和気1位、高梁1位、虫明1位、倉敷1位、笠岡3位、玉野2位)があった。

また、8日には寒冷前線が通過した影響で西よりの風が、10日から11日には日本海をゆっくり進んだ低気圧の影響で東よりの風が、16日には四国沖を通過した低気圧の影響で西よりの風が、20日は寒冷前線が通過した影響で西よりの風が強まりなど、4月の日最大風速や日最大瞬間風速の極値上位を記録する強い風が吹いた日があった。

4月の最深積雪³⁾は、真庭市蒜山上長田 8 ㍎ (1日:4月の月最深積雪歴代1位、これまでの4月の最深は1996年4月2日の6 ㍎、統計開始1991年)であった。

岡山の冬日⁹⁾0日(平年0.2日)、夏日¹¹⁾1日(平年1.8日)、真夏日¹²⁾0日(平年0.0日)、津山の冬日⁹⁾1日(平年3.2日)、夏日¹¹⁾0日(平年2.6日)、真夏日¹²⁾0日(平年0.0日)であった。岡山の雷日数3日(平年0.5日)であった。

<4月上旬:寒冷前線通過に伴う雷雨>

4月2日は日本海を進む低気圧からのびる寒冷前線が昼過ぎにかけて中国地方を通過した。このため、県内では雷を伴いやや強い雨の降る所があり、岡山地方気象台では12時50分から13時過ぎにかけてやや強い雨とともに雷鳴を観測した。この寒冷前線通過に伴う県内の雨量は10㍉前後であった。

<4月上旬:四国の南海上を進んだ低気圧の影響で県内まとまった雨>

4月4日に黄海にのびる前線上に発生した低気圧は、5日には四国の南海上を進んだ。このため、県内では4日夕方から降り出した雨は4日夜遅くに一時強まり、5日昼過ぎまで断続的に続いた。この間の雨量は県南部を中心に25㍉前後、県北部を中心に15㍉前後の所が多かった。

<4月上旬:寒冷前線通過後、西よりのやや強い風>

4月8日は日本海を進んだ低気圧からのびる寒冷前線が朝のうちに掛けて中国地方を通過した。この寒冷前線の通過後、日中を中心に西よりの風が強まり、県内アメダス観測所の最大風速は6㍎~8㍎、強い所で10㍎を超える所があった。岡山では最大風速 西の風13.5㍎(13時20分)、最大瞬間風速 西北西の風22.6㍎(13時7分)を、津山では最大風速 西北西の風5.3㍎(15時00分)、最大瞬間風速 北西の風16.2㍎(14時37分)を観測した。

<4月上旬:ゆっくり進んだ低気圧の影響でまとまった雨とやや強い風>

4月10日に前線を伴った低気圧が黄海にあって発達しながら東に進んだ。この低気圧や前線に向かって湿った空気が流れ込み、県内では10日午前2時頃から雨が降り出し、10日昼頃にかけて断続的に強まり、10日の県内の雨量は20㍉~40㍉程度の所が多かった。

また、低気圧の接近に伴い、県内東よりの風が強まった。10日の県内アメダス観測所の最大風速は6㍎前後の所が多く、強い所で10㍎を超える所があった。岡山では最大風速 東の風9.2㍎(13時10分)、最大瞬間風速 東の風14.6㍎(13時51分)を、津山では最大風速 東北東の風5.7㍎(23時40分)、最大瞬間風速 北東の風10.0㍎(23時43分)を観測した。

<4月中旬:多雨・日照不足>

4月中旬は旬の初めと中頃に低気圧や前線の影響を受け、まとまった雨が降ったため、降水量が平年より多く、中旬の降水量は平年の150%から170%の所が多く、県北部の山地では平年の200%を超える所があった。また、日照時間は中旬前半を中心に平年より少なく、中旬の日照時間は平年の50%から60%の所が多かった。

<4月中旬:ゆっくり進んだ低気圧の影響で、やや強い風、強い雨とまとまった雨>

4月10日に前線を伴った低気圧が黄海にあって発達しながら東に進み、この低気圧は11日から12日にかけて対馬海峡から日本海をゆっくり通過した。

低気圧の接近に伴い、県内では東よりの風が強まり、県南部を中心に10日昼前から、県北部を中心に10日昼過ぎから、11日夕方にかけてやや強い風が続いた。県内アメダス観測所の最大風速は10日と11日ともに6㍎前後の所が多く、強い所では10日に10㍎を超える所、11日に15㍎を超える所があった。10日に岡山では最大風速 東の風9.2㍎(13時10分)、最大瞬間風速 東の風14.6㍎(13時51分)を、津山では最大風速 東北東の風5.7㍎(23時40分)、最大瞬間風速 北東の風10.0㍎(23時43分)を観測し、11日には岡山で最大風速 東南東の風12.5㍎(12時00分)、最大瞬間風速 東南東の風24.3㍎(10時54分:4月の日最大瞬間風速歴代5位)を、津山で最大風速 東南東の風7.0㍎(14時50分)、最大瞬間風速 東南東の風16.1㍎(14時54分)を観測した。県内アメダス観測所では4月の日最大風速歴代1位(上長田、玉野)や歴代5位(高梁)を記録する所があった。

また、この低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となり、県内では10日2時頃から降り出した雨は11日昼過ぎにかけて続き、10日昼頃と11日昼頃に断続的に強まり、1

時間に 10 ミリを超えるやや強い雨を観測する所があった。10 日から 11 日にかけての総降水量は、40 ミリ～70 ミリの所が多く、多い所では 100 ミリを超える所 (恩原 108 ミリ) があった。11 日の 1 時間に 10 ミリや 20 ミリを超える強い雨は、県内アメダス観測所で 4 月の日最大 1 時間降水量歴代 2 位 (恩原、天子山、玉野) や歴代 3 位 (今岡) を記録する所があり、また 11 日の日降水量では 4 月の日降水量歴代 2 位 (天子山) や歴代 3 位 (恩原) を記録する所があった。

11 日宵のうちまで大気の状態が不安定であり、岡山地方気象台では 11 日 19 時前から 21 時前にかけて、断続的に雷電や電光を観測した。

< 4 月中旬：四国沖を通過した低気圧の影響で、まとまった雨とやや強い風 >

4 月 15 日から 16 日にかけて低気圧が四国沖を通過したため、県内では 15 日午前 3 時前から雨が降り出し、15 日夜遅くには断続的に強まり、16 日 2 時頃まで続いた。15 日から 16 日にかけての県内各地の総降水量は、県南部を中心に 15 ミリ前後、県北部を中心に 25 ミリ～35 ミリの所が多かった。

また、16 日は次第に移動性高気圧に覆われ概ね晴れるが、寒気の影響で雲が広がり、一時西よりの風がやや強まる時間帯があった。県内各地のアメダス観測所の最大風速は 7 ㍎前後の所が多く、強い所では 10 ㍎を超える所があった。岡山では 16 日の最大風速 北西の風 13.0 ㍎ (18 時 50 分) 最大瞬間風速 北西の風 18.0 ㍎ (18 時 38 分) を観測した。

< 4 月中旬：放射冷却のため県内陸部を中心に冬日 >

4 月 15 日から 16 日前半にかけて四国沖を低気圧が通過した後、18 日にかけて移動性高気圧に覆われ概ね晴れた。17 日早朝は放射冷却のため気温が低下し、県内陸部を中心にアメダス観測所で冬日⁹⁾を観測した (上長田、千屋、奈義、新見、福渡、和気)。

< 4 月中旬から下旬：ゆっくり進んだ低気圧の影響で、強い風 >

4 月 19 日に前線を伴った低気圧が朝鮮半島付近にあって発達しながら東に進み、この低気圧は 20 日には日本海をゆっくり進んだ。

この低気圧からのびる寒冷前線が、20 日午前 3 時頃にかけて通過し、上空に強い寒気が流れ込んだ。このため、県内では寒冷前線通過前には南よりの風が強まり、通過後には西よりの風が強まった。県内各地アメダス観測所の 20 日の最大風速は 7 ㍎前後の所が多く、強い所で 13 ㍎を超える所があった。20 日に岡山で最大風速 南西の風 13.9 ㍎ (14 時 00 分) 最大瞬間風速 南南西の風 23.4 ㍎ (12 時 31 分：4 月の日最大瞬間風速歴代 7 位) 津山で最大風速 南の風 7.4 ㍎ (13 時 10 分) 最大瞬間風速 西の風 14.8 ㍎ (15 時 19 分) であった。県内アメダス観測所では 4 月の日最大風速歴代 1 位 (笠岡) 歴代 2 位 (今岡) 歴代 3 位 (上長田) や歴代 4 位 (高梁・倉敷) を記録する所があった。

< 4 月下旬中頃にかけて低温・日照不足 >

4 月中旬中頃から寒気の影響を受ける日が多く、中旬中頃から低温傾向が続き、下旬の平均気温は平年よりかなり低く、平年を 2.5 から 3 下回る所が多く、最高気温は下旬中頃にかけて平年を 3 以上下回る所が多く、県北東部を中心に平年を 4 以上下回る所があった。

また、下旬中頃と終わり頃に移動性高気圧に覆われて概ね晴れた日を除き、寒気の影響を受けて雲の広がる日が多かったため、下旬の日照時間は平年を下回る所が多く、下旬中頃にかけて平年の 70% 前後の所が多かった。

< 4 月下旬：雷雨 >

4 月 29 日は関東の東海上に中心を持つ移動性高気圧に覆われるが、上空に寒気が流れ込み、大気の状態が不安定となったため、昼過ぎから夕方にかけて雷を伴い雨の降る所があった。29 日の県内各地の雨量は、県北部を中心に多い所で 10 ミリ前後であり、1 時間に 10 ミリのやや強い雨の降る所 (上長田 10 ミリ、富 10 ミリ、陣山 10 ミリ) があった。

岡山地方気象台では、29 日 16 時過ぎから雷鳴を観測し、16 時 30 分過ぎから 17 時前にかけて雷電を観測した。

< 4 月下旬：夏日 >

4 月 30 日は日本の南海上に中心を持つ移動性高気圧に覆われて概ね晴れ、南から暖かい空気が流れ込み、県内陸を中心に夏日¹⁰⁾を観測 (久世 25.1、福渡 24.8、高梁 25.3、岡山 25.5、倉敷 24.9) した。

< 4 月 : 黄砂 ⁷⁾ >

4 月 2 日に日本海を進む低気圧からのびる寒冷前線が通過した後、2 日夕方から 3 日にかけて移動性高気圧に覆われた。このため、西日本の広い範囲で黄砂を観測した。岡山地方気象台では、黄砂を 3 日 15 時過ぎから 4 日 3 時まで観測した。この間の視程は 10 *₀ 以上であった。

8 日に日本海を進む低気圧からのびる寒冷前線が通過した後、9 日にかけて移動性高気圧に覆われた。このため、西日本から東日本の広い範囲で黄砂を観測した。岡山地方気象台では、黄砂を 8 日 9 時 30 分から 10 日 2 時にかけて観測した。この間、8 日 9 時 30 分に 10 *₀ 以上あった視程は、8 日 10 時 40 分に 10 *₀ 未満となり、8 日 15 時に 5 *₀、8 日 21 時に 4 *₀ と低下し、9 日 9 時には 7 *₀、9 日 10 時 30 分には 10 *₀ 以上に回復した。

23 日に低気圧が四国の南海上を通過した後、24 日から 25 日にかけて移動性高気圧に覆われた。このため、西日本から東日本の広い範囲で黄砂を観測した。岡山地方気象台では、黄砂を 24 日 7 時 40 分から 25 日 8 時まで観測した。この間の視程は、24 日 8 時に 10 *₀ 未満となり、24 日 15 時には 6 *₀ を観測した。

4 月 28 日に四国の南海上を低気圧が通過した後、5 月 1 日にかけて移動性高気圧に覆われ、西日本から東日本の広い範囲で黄砂を観測した。岡山地方気象台では、黄砂を 4 月 29 日 20 時 50 分から 5 月 1 日 17 時にかけて観測した。この間の視程は、4 月 30 日 5 時に 10 *₀ 未満となり、4 月 30 日 9 時には 8 *₀ を観測した。

< 生物季節観測 >

4 月 3 日に、モンシロチョウの初見 (八幡) を観測した。平年は 3 月 22 日、去年は 4 月 7 日。

4 月 7 日に、ソメイヨシノの満開 (後楽園) を観測した。平年は 4 月 7 日、去年は 4 月 9 日。

4 月 13 日に、シバの発芽 (気象台) を観測した。平年は 4 月 13 日、去年は 4 月 9 日。

4 月 14 日に、イチヨウの発芽 (後楽園) を観測した。平年は 4 月 10 日、去年は 4 月 11 日。

4 月 21 日に、ノダフジの開花 (半田山) を観測した。平年は 4 月 21 日、去年は 4 月 21 日。

4 月 24 日に、ニホンアマガエルの初見 (今在家) を観測した。平年は 4 月 14 日、去年は 4 月 28 日。

4 月 27 日に、ニホンアマガエルの初鳴 (今在家) を観測した。平年は 4 月 11 日、去年は 4 月 28 日。

5 月 < 中旬を中心とした日照不足と低温 >

平均気温は「平年より高い」、虫明・笠岡・玉野は「平年並」

降水量は県南東部を中心に「平年より少ない」~「平年並」、県北西部を中心に「平年並」~「平年より多い」

日照時間は「平年より少ない」、上長田は「平年よりかなり少ない」、今岡・新見・高梁・笠岡は「平年並」

5 月は、太平洋高気圧が平年と比べ強かったことから、県内の 5 月の平均気温は平年より高い所が多かった。5 月初め頃は晴れる日が続いたが、上旬後半から中旬にかけて、前線が平年に比べ北上し、本州南岸付近に停滞することが多かったため、天気がぐずつき、曇りや雨の日が多く、日照時間が少なかった。

このため、県内では 5 月中旬を中心に日照時間が平年の 50% から 70% の所が多く、5 月の月間日照時間は平年の 80% から 90% の所が多く、県内のアメダス観測所では 5 月の月間日照時間の少ない記録の上位を更新する所があった。

5 月は中旬を中心に本州南岸付近に停滞した前線の影響で曇りや雨の日が多く、寒気の影響を受けて中旬の気温は平年を下回る日が多く、最高気温が平年より 3 前後低い日があった。また、中旬初めに南から暖かく湿った空気が流れ込み、県北部で 100 *₀ 前後の大雨が降った所があった。

5 月上旬は、上旬の初め頃は寒気の影響を受けて大気の状態が不安定となり、雲が広がり雷雨の日があった。上旬の後半は低気圧や前線の影響で雲が広がりやすく、6 日から 7 日と 10 日にはまとまった雨が降った他、旬の中頃を中心に高気圧に覆われて晴れる日があった。上旬の初め頃は寒気の影響で気温が平年を下回る日があったが、上旬の中頃から高気圧に覆われる日や南から暖かい空気が流れ込む日が多く、気温が平年を上回る日が多かったため、上旬の平均気温は平年より高かった。また、低気圧や前線の影響を受けて、まとまった雨が降った日があり、県北西部を中心に上旬の降水量が平年より多かった。

5月中旬は、10日から11日にかけて日本海を進んだ低気圧の影響で県内まとまった雨が降った。その後、中旬中頃を中心に南海上に停滞した前線の影響で雲が広がりやすく、13日と17日にはまとまった雨の降る所があり、19日から20日にかけて台風第1号から変わった低気圧の影響を受けた。

中旬は、南海上に停滞した前線や低気圧の影響を受けやすく、県内の降水量は平年を上回る所があり、日照時間は平年を下回った。また、寒気の影響を受ける日が多く、県内の平均気温は平年を下回る所が多かった。

5月下旬は、下旬中頃に寒気を伴った低気圧が日本海をゆっくり進んだため、雲が広がりやすく雨の降る所があり、寒気の影響を受けて日中の気温が上がらず、日照時間のほとんどない日があった。このため、下旬の日照時間は平年より少ない所が多く、平年の80%から90%の所が多かった。

下旬の初め頃と終わり頃には、高気圧に覆われて晴れる日があり、県内では夏日¹¹⁾や真夏日¹²⁾を観測する日があった。また、30日には上空の寒気と日射の影響で大気の状態が不安定となり、雷雨となった。

<5月：5月中旬を中心とした日照不足と低温>

5月は、上旬後半から中旬にかけて前線が平年に比べ北上し、本州南岸付近に停滞することが多かった。このため、5月中旬を中心に、県内は天気がぐずつき曇りや雨の日が多く、日照時間が少なく経過し、県内のアメダス観測所では5月中旬の日照時間が平年の50%から70%の所が多かった。中でも、県内では17日から19日は日照時間がほとんどなく、13日から19日の日照時間は平年の20%から30%の所が多かった。

このため、5月の県内の月間日照時間は平年の80%から90%の所が多く、岡山では月間日照時間の少ない歴代10位(168.0時間、平年の83%、平年201.4時間、これまでの最小は1963年5月の81.2時間、統計開始1892年)、津山では月間日照時間の少ない歴代8位(163.1時間、平年の83%、平年196.1時間、これまでの最小は1963年5月の76.1時間、統計開始1943年)を記録した。

県内のアメダス観測所でも、5月の月間日照時間の少ない歴代記録の上位を更新する所が多かった(上長田7位、千屋9位、奈義3位、今岡10位、久世2位、新見6位、福渡7位、和気3位、高梁8位、虫明4位、虫明6位、倉敷5位、笠岡7位、玉野9位)。

また、5月中旬を中心に本州南岸付近に停滞した前線の影響で、曇りや雨の日が多く、寒気の影響を受けて、中旬の気温は平年を下回る日が多かった。このため、中旬の県内の平均気温は平年より0.5前後低い所が多く、最高気温が平年より2から3前後低い所が多かった。

5月の岡山の夏日¹¹⁾11日(平年12.0日)、真夏日¹²⁾1日(平年0.7日)、熱帯夜¹³⁾0日(平年0.0日)、津山の夏日¹¹⁾11日(平年11.9日)、真夏日¹²⁾0日(平年0.5日)、熱帯夜¹³⁾0日(平年0.0日)であった。岡山の雷日数1日(平年1.4日)であった。

<5月：日照不足に関する岡山県気象情報>

岡山県内では、4月以降、5月初めに晴れる日が続いたが、その後低気圧や前線の影響により、曇りや雨の日が多く、日照時間の少ない状態が続いた。向こう1か月も、晴れる時期があるものの、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、日照時間は平年を下回る見込みであることから、岡山地方気象台では5月22日に「日照不足に関する岡山県気象情報 第1号」を発表し、農作物の管理等に注意を呼びかけた。

<5月上旬：高温>

5月上旬初め頃に気温が平年を下回る日があったが、上旬中頃から高気圧に覆われる日や南から暖かい空気が流れ込む日が多く、上旬の平均気温は平年より高く、平年より2前後高い所が多かった。

また、上旬後半の最高気温は県内陸部を中心に平年より3前後高い所が多く、5月下旬から6月上旬並みで経過し、最低気温は県内平年より6前後高い所が多く、6月上旬から中旬並みで経過した。

<5月上旬：夏日・真夏日>

4月30日から5月1日にかけて日本の南海上に中心を持つ移動性高気圧に覆われて概ね晴れ、南から暖かい空気が流れ込み、4月30日には県内陸部を中心に夏日¹¹⁾を観測し、5月1日には県内のアメダス観測所のほとんど(除く虫明)で夏日を観測し、高梁(30.1)では真夏日¹²⁾を観測した。

その後、2日に寒冷前線が通過した後、3日にかけて気温が平年を下回ったが、高気圧に覆われた4日と

5 日は県内アメダス観測所では夏日¹¹⁾を観測する所があった。

また、南から暖かく湿った空気が流れ込んだ 8 日と 9 日にも、県内アメダス観測所の多くで夏日¹¹⁾を観測した。

<5 月上旬・下旬：雷雨>

5 月 2 日は千島近海の低気圧からのびる寒冷前線が朝のうちにかけて通過し、大気の状態が不安定となり、県内では明け方から朝のうちにかけて雷を伴い雨の降る所があった。岡山地方気象台では、2 日 5 時過ぎに雷鳴を、5 時半前に雷電を観測し、6 時前まで観測した。また、この寒冷前線が通過した後、寒気が流れ込み、県内日中を中心に北よりの風がやや強まった。

30 日は東シナ海に中心を持つ高気圧に覆われ概ね晴れるが、上空の寒気と日射の影響で、県内では昼前から夕方にかけて大気の状態が不安定となり、雷を伴い雨の降る所があった。岡山地方気象台では、30 日 14 時に雷鳴を観測した。

<5 月上旬：黄砂>

4 月 28 日に四国の南海上を低気圧が通過した後、5 月 1 日にかけて移動性高気圧に覆われ、西日本から東日本の広い範囲で黄砂を観測した。岡山地方気象台では、黄砂を 4 月 29 日 20 時 50 分から 5 月 1 日 17 時にかけて観測した。この間の視程は、4 月 30 日 5 時に 10^キ未満となり、4 月 30 日 9 時には 8^キを観測した。

<5 月中旬：低温・日照不足>

5 月中旬中頃を中心に南海上に前線が停滞したため、寒気の影響を受け、雲が広がりやすく、気温が平年を下回る日が多く、日照時間が少ない日が多かった。

このため、中旬の県内の平均気温は平年を下回り、平年より 0.5 前後低い所が多く、最高気温が平年より 2 ~3 前後低い所が多く、11 日から 17 日までの平均気温は平年より 1.5 前後低い所が多く、最高気温が平年より 3 前後低い所が多く、最低気温が平年より 1 前後低い所が多かった。

また、中旬の県内の日照時間は平年を下回り、平年の 50% から 70% の所が多かった。県内では 17 日から 19 日は日照時間がほとんどなく、13 日から 19 日の日照時間は平年の 20% から 30% の所が多かった。

<5 月中旬：南からの暖かい空気が流れ込み県内まとまった雨>

5 月 10 日に前線を伴った低気圧が対馬海峡から山陰沖に進み、この低気圧から伸びる前線が 11 日明け方にかけて中国地方を通過した。この低気圧や前線に向かって、南から暖かく湿った空気が流れ込んだ。このため、県内では 9 日夜遅くから降り出した雨は、11 日午前 3 時頃にかけて断続的に降り続いた。10 日から 11 日までの県内の総降水量は、県南部を中心に 20^ミ前後の所が多く、県北部を中心に 30^ミ~50^ミの所が多く、県北部の中国山地沿いでは 100^ミを超える所があった(富 107^ミ、千屋 98^ミ、恩原 99^ミ)。また、10 日 24 時頃には県北部を中心に 1 時間に 10^ミを超えるやや強い雨の降る所があった。10 日の日降水量では 5 月の日降水量の歴代 1 位(恩原 85^ミ)や 2 位(千屋 94^ミ)を更新する所があった。

<5 月下旬：日本海をゆっくり進んだ低気圧による日照不足と低温>

5 月 26 日から 29 日にかけて、上空に寒気を伴った低気圧がゆっくり日本海を進んだため、雲が広がりやすく雨の降る所があった。

このため、県内では 27 日から 29 日にかけて日照時間が平年の 20% 前後の所が多かった。また、寒気の影響を受けて日中の気温が上がらず、最高気温が県南部で平年より 2 ~4 低く、県北部で 3 ~5 低い所が多かった。

また、26 日~27 日にかけて東シナ海から四国の南海上に停滞した前線の影響で、県内 10^ミ~20^ミの雨が降った。

<5 月下旬：真夏日>

5 月中旬の初め頃と終わり頃は、高気圧に覆われて晴れる日があり、県内のアメダス観測所では夏日¹¹⁾や真夏日¹²⁾を観測する日があった。

31 日には、四国の南海上に中心を持つ高気圧に覆われて、県内は概ね晴れた。このため、県内のアメダス観測所のすべてで夏日¹¹⁾を観測し、県内陸部を中心に真夏日¹²⁾を観測した(久世 31.5、今岡 29.0、津山 29.6、福渡 29.1、和気 29.9、高梁 30.5、岡山 30.4)。

< 台風第 1 号 >

台風第 1 号は 5 月 9 日 21 時ミンダナオ島の東で発生し、12 日 9 時フィリピン付近、14 日 9 時南シナ海、16 日 9 時南シナ海北部、18 日 9 時台湾海峡に進み、19 日 9 時に東シナ海で温帯低気圧となった。

< 生物季節観測 >

5 月 4 日に、キアゲハの初見 (百間川) を観測した。平年は 4 月 30 日、昨年は 4 月 29 日。

5 月 22 日に、ホタルの初見 (今在家) を観測した。平年は 5 月 24 日、昨年は 5 月 21 日。

6 月 < 梅雨前線による大雨と激しい雨、高温・多雨・多照、梅雨入り 6 月 8 日ごろ >

平均気温は「平年より高い」、岡山・倉敷は「平年よりかなり高い」、上長田・虫明・笠岡は「平年並」。

降水量は県南部を中心に「平年並」～「平年より多い」、県北部を中心に「平年並」。

日照時間は「平年より多い」～「平年よりかなり多い」、岡山・玉野は「平年並」、奈義・久世・和気は「平年より少ない」。

6 月は、月初めは高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、8 日に九州の南にあった梅雨前線上に低気圧が発生し 9 日にかけて四国の南海上を進み、県内大雨となった。広島地方気象台は 8 日「中国地方は梅雨入りしたと見られます」と発表した (平年の梅雨入りは 6 月 6 日ごろ)。その後梅雨前線は、中旬にかけて南海上に停滞することが多く、高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、下旬には 22 日に県内大雨が、26 日に県南部を中心に激しい雨が降るなど、周期的に梅雨前線の影響を受けた。また、梅雨前線が四国の南海上に停滞した日は晴れ間が広がり、気温が平年より高い日が多かった。

このため、梅雨入り後の県内の降水量は平年より多く、日照時間は一部で平年を下回る所があったが、県内平年を上回る所が多かった。

6 月上旬は、上旬前半を中心に高気圧に覆われて晴れ、気温の高い日が多かった。5 日は高気圧に覆われて晴れるが、上空の寒気と日射の影響で県中央部を中心に雷雨となった。8 日に九州の南海上にある梅雨前線上に低気圧が発生した後、9 日にかけて四国の南海上を通過し、県内では 8 日昼過ぎから雷を伴い雨となった。広島地方気象台は 8 日、中国地方は梅雨入りしたと見られると発表した。上旬前半を中心に高気圧に覆われて晴れる日が多かったため、上旬前半の平均気温は平年より高く、降水量がほとんどなく、日照時間が平年より多い所が多かった。

6 月中旬は、15 日に梅雨前線の低気圧が朝鮮半島から日本海に進み、この低気圧と梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、県内まとまった雨となり、東よりの風がやや強まった。また、17 日は南海上の梅雨前線が北上したため、県南部を中心に雨の降る所があった。その他の日は、梅雨前線が南海上に停滞し、高気圧に覆われて概ね晴れる日が多かったため、旬の初め頃と終わり頃を中心に気温が平年より高く、日照時間が平年より多かった。

6 月下旬は、中国大陸からのびる梅雨前線が西日本を通り、東日本の南海上に停滞する日が多かった。県内は周期的に梅雨前線の影響を受け、22 日から 23 日には県中央部を中心に 100 ミリを超える大雨が、26 日には県南部を中心に激しい雨が降った。また、梅雨前線が四国の南海上に停滞し晴れ間が広がった日には、日射と寒気の影響で大気の状態が不安定となり、県内陸部を中心に強い雨の降る所があった。晴れ間の広がった日は気温が平年より高く、下旬の平均気温は平年より 1 前後高い所が多かった。

< 6 月：梅雨前線による大雨と激しい雨、高温・多雨・多照 >

6 月は、月初めに高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、8 日に梅雨前線の低気圧が四国の南海上を通過し県内多い所で 70 ミリを超える大雨となった。6 月 8 日ごろ中国地方は梅雨入りした。梅雨前線の活動は活発で、月前半は南西諸島で、月半ばからは西日本を中心に大雨の降る所があった。

県内では梅雨入り後、周期的に梅雨前線の影響を受け、15 日には県内多い所で 60 ミリを超えるまとまった雨が、22 日から 23 日には県内多い所で 100 ミリを超える大雨が、26 日には県南部を中心に 1 時間に 40 ミリを超える激しい雨が降った。

このため、県内の 6 月の降水量は梅雨入り後平年の 120% から 140% の所が多く、6 月の降水量は平年の 100% から 120% の所が多かった。県内各地のアメダス観測所では、6 月の降水量の多い歴代記録の上位を更新した所 (千屋 284 ミリ : 7 位、下皆部 203 ミリ : 10 位、天子山 247 ミリ : 7 位、周匝 219 ミリ : 9 位、陣山 269

≡_リ : 6 位、福渡 230 ≡_リ : 7 位、和気 216 ≡_リ : 9 位、高梁 203 ≡_リ : 8 位、佐屋 217 ≡_リ : 10 位、虫明 207 ≡_リ : 8 位)があった。

また、県内の 6 月の日照時間は梅雨入り後平年の 60% から 130% の所が多く、6 月の日照時間は平年の 110% から 140% の所が多かった。県内各地のアメダス観測所では、6 月の日照時間の多い歴代記録の上位を更新した所(上長田 1 位 : 159.6 時間、千屋 1 位 : 168.0 時間、今岡 5 位 : 151.7 時間、新見 3 位 : 145.6 時間、福渡 3 位 : 119.2 時間、高梁 4 位 : 109.1 時間、虫明 9 位 : 117.2 時間、笠岡 4 位 : 165.2 時間、玉野 1 位 : 170.3 時間)がある一方で、少ない歴代記録の上位を更新した所(奈義 5 位 : 75.6 時間、久世 5 位 : 92.1 時間、和気 3 位 : 85.0 時間)もあった。

梅雨前線が四国の南海上に停滞し晴れ間が広がった日には、気温が平年より高く、県内の 6 月の平均気温は 0.3 から 1 程度高い所が多かった。岡山では月平均気温の高い歴代 4 位 (24.0、平年 22.9、これまでの最高は 2005 年 6 月の 25.4、統計開始 1891 年)を、津山では月平均気温の高い歴代 9 位 (21.7、平年 20.9、これまでの最高は 2005 年 6 月の 23.5、統計開始 1943 年)を記録した。県内各地のアメダス観測所でも、6 月の平均気温の高い歴代記録の上位を更新する所(奈義 6 位 : 21.3、今岡 5 位 : 21.3、久世 4 位 : 22.0、新見 9 位 : 19.9、福渡 9 位 : 21.7、和気 8 位 : 21.8、高梁 6 位 : 22.5、倉敷 4 位 : 23.3、玉野 10 位 : 22.1)があった。

6 月の岡山の夏日¹¹⁾22 日(平年 23.0 日)、真夏日¹²⁾13 日(平年 4.9 日)、日最高気温 35 以上の日 0 日(平年 0.1 日)、熱帯夜¹³⁾0 日(平年 0.0 日)、津山の夏日¹¹⁾22 日(平年 21.3 日)、真夏日¹²⁾9 日(平年 3.4 日)、日最高気温 35 以上の日 0 日(平年 0.0 日)、熱帯夜¹³⁾0 日(平年 0.0 日)であった。岡山の雷日数 1 日(平年 1.3 日)であった。

<中国地方の梅雨入り : 6 月 8 日ごろ>

広島地方気象台は、6 月 8 日「中国地方は、梅雨入りしたとみられます」と発表した。中国地方では、前線の影響により雲が多く、午後には次第に雨が降り始める見込みであり、向こう一週間も晴れる日もあるが、前線の影響で曇りの日が多く、雨の降る日もある見込みであるため、中国地方は 6 月 8 日ごろに梅雨入りしたとみられる。平年の梅雨入りは 6 月 6 日ごろ、昨年の梅雨入りは 6 月 11 日ごろ。

<日照不足に関する岡山県気象情報 第 2 号>

5 月上旬後半から日照時間の少ない状態が続き、向こう 2 週間程度は、平年に比べ曇りや雨の日が多く、日照時間が少ない見込みであることから、岡山地方気象台では 6 月 2 日に「日照不足に関する岡山県気象情報 第 2 号」を発表し、農作物の管理等に注意を呼びかけた。この情報は、5 月 22 日に発表した「日照不足に関する岡山県気象情報 第 1 号」に続く情報である。

<6 月上旬前半を中心に高温・多照・少雨>

6 月上旬前半を中心に高気圧に覆われて晴れる日が多かったため、月上旬前半の県内アメダス観測所では、平均気温が平年より 1 ~ 2 程度高く、最高気温が平年より 2 ~ 3.5 程度高い所が多く、降水量がほとんどない所が多く、日照時間が平年の 120% 前後の所が多かった。

<6 月上旬 : 雷雨による強い雨>

6 月 5 日は高気圧に覆われ概ね晴れるが、上空の寒気と日射の影響で昼過ぎから夕方にかけて大気の状態が不安定となり、雷雨となる。この雷雨に伴い、5 日 18 時頃を中心に 1 時間に 20 ≡_リ を超える強い雨を観測した(陣山 25 ≡_リ : 6 月の日最大 1 時間降水量の歴代記録 4 位、津山 14.5 ≡_リ、天子山 14 ≡_リ、高梁 6 ≡_リ)。

<6 月上旬 : 梅雨前線上に発生した低気圧による県北東部を中心とした大雨>

6 月 8 日は九州の南にある梅雨前線上に低気圧が発生し、9 日にかけて九州の西海上から四国の南海上を進んだ。このため、県内では 8 日昼過ぎから雨が降り出し、8 日宵のうちから夜遅くにかけて強まり、9 日昼頃まで断続的に続いた。8 日から 9 日にかけての県内の雨量は 20 ≡_リ ~ 40 ≡_リ の所が多く、多い所で 70 ≡_リ 前後の所(千屋 70 ≡_リ、富 74 ≡_リ)があった。

また、岡山地方気象台では 8 日 13 時半前から 14 時前まで、雷鳴を観測した。

<6月中旬の初め頃と終わり頃を中心に高温、多照・少雨>

6月中旬は梅雨前線や低気圧の影響を受けた15日と17日はまとまった雨や気温が低かったが、中旬の初め頃と終わり頃は梅雨前線が南海上に停滞し、高気圧に覆われる日が多かった。

このため、6月中旬の平均気温が平年より1以上高い所が多く、中旬は夏日(日最高気温が25以上)を観測する日が多く、中旬の終わり頃には真夏日(日最高気温が30以上の日)を観測する所が多かった。また、15日に梅雨前線と低気圧の影響でまとまった雨が降った他、雨の降る日が少なく、中旬の降水量は平年の60%~90%の所が多く、日照時間は平年の120%~180%の所が多かった。

<6月中旬：日本海を発達しながら進んだ低気圧の影響によるまとまった雨とやや強い風>

6月14日に華中に発生した低気圧が、15日には発達しながら朝鮮半島から日本海に進み、低気圧からのびる梅雨前線の活動が活発となった。この低気圧と梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み大気の状態が不安定となり、県内では15日午前3時前から降り出した雨は昼頃を中心に一時強まり、夕方にかけて断続的に降り続いた。県内アメダス観測所では、15日の雨量は30^{ミリ}~40^{ミリ}の所が多く、多い所では60^{ミリ}を超える所(日応寺60^{ミリ}、富62^{ミリ}、恩原55^{ミリ}、奈義59^{ミリ}、今岡70^{ミリ})があった。また、15日昼頃を中心に、1時間に20^{ミリ}前後のやや強い雨を観測する所(奈義19^{ミリ}、今岡20^{ミリ}、和気17^{ミリ}、日応寺18^{ミリ})があった。

県内では15日明け方から東よりの風がやや強まり、昼過ぎまで続いた。県内アメダス観測所では15日の最大風速は6^{メートル}前後の所が多く、強い所では10^{メートル}を超える所(上長田9^{メートル}、玉野12^{メートル})があった。岡山では最大風速 南東の風10.6^{メートル}(15日8時30分) 最大瞬間風速 東南東の風20.2^{メートル}(15日8時29分) 津山では最大風速 東南東の風9.5^{メートル}(15日6時30分) 最大瞬間風速 東南東の風21.0^{メートル}(15日8時26分)を観測した。

<6月下旬：22日に梅雨前線が西日本付近に停滞し、県内大雨と強い雨>

6月22日に、梅雨前線が、朝鮮半島南部から中国地方を通り関東南岸にのび、梅雨前線に向かって流れ込む暖かく湿った空気の影響で、前線の活動が活発となった。梅雨前線は中国地方をゆっくり南下し、県内では大雨となった。

県内では22日明け方から降り出した雨が、朝のうち及び昼過ぎから夕方にかけて断続的に強まり、県北部では23日午前3時頃にかけて、県南部では23日朝のうちにかけて、断続的に降り続き、県中央部を中心に100^{ミリ}を超え、県内60^{ミリ}~90^{ミリ}の大雨を観測した。県内各地のアメダス観測所では、22日の降水量が6月の日降水量の歴代10位以内の記録的な大雨となった所(千屋6位：97^{ミリ}、久世9位：71^{ミリ}、新見8位：87^{ミリ}、下皆部8位：82^{ミリ}、天子山10位：75^{ミリ}、周匝2位：98^{ミリ}、陣山1位：121^{ミリ}、福渡3位：104^{ミリ}、和気3位：94^{ミリ}、高梁8位：78^{ミリ}、笠岡7位：72^{ミリ}、玉野7位：62^{ミリ})があった。

また、県北部を中心に22日朝のうち1時間に10^{ミリ}を超えるやや強い雨が、県中央部を中心に22日昼頃を中心に1時間に25^{ミリ}を越える強い雨が、県南部を中心に22日夕方を中心に1時間に15^{ミリ}前後のやや強い雨が降った。県内各地のアメダス観測所では、22日の1時間に20^{ミリ}を超える強い雨が6月の日最大第1時間降水量の歴代記録上位を更新する所(新見7位：23^{ミリ}、周匝8位：20^{ミリ}、陣山5位：24^{ミリ}、福渡3位：29^{ミリ}、和気2位：32^{ミリ}、佐屋10位：19^{ミリ}、笠岡7位：19^{ミリ})があった。

<6月下旬：26日に梅雨前線が活動を強めながら北上し、県南部を中心に激しい雨>

梅雨前線は九州から四国沖に停滞し活動を弱めていたが、6月25日に活動を強めながら北上し、26日には九州北部から中国地方、近畿南部に停滞し、県内では26日朝のうち、県南部を中心に激しい雨の降る所があった。

県内では25日午前3時頃から降り出した雨は断続的に降り続き、26日朝のうち、県南部を中心に1時間に40^{ミリ}を超える激しい雨の降る所(矢掛35^{ミリ}、岡山47.5^{ミリ}、虫明29^{ミリ}、倉敷23^{ミリ})があった。

県南部を中心とした1時間に40^{ミリ}を超える激しい雨は、岡山の6月の日最大1時間降水量の歴代1位(47.5^{ミリ}、これまでの最大は1993年6月19日の34.0^{ミリ}、統計開始1940年)を記録し、県内各地のアメダス観測所では6月の日最大1時間降水量の歴代記録上位を更新する所(佐屋7位：24^{ミリ}、矢掛1位：35^{ミリ}、倉敷6位：23^{ミリ}、虫明3位：29^{ミリ})があった。

岡山で1時間に40^{ミリ}を超える激しい雨を観測したのは、1994年(平成6年)7月7日(73.5^{ミリ})以来でした。

<台風第2号>

台風第2号は、6月27日15時南シナ海で発生し、28日9時南シナ海を進み、29日9時に南シナ海北部

で熱帯低気圧となった。

< 生物季節観測 >

6月1日に、シオカラトンボの初見(百間川)を観測した。平年は5月15日、昨年は6月3日。

6月9日に、アジサイシンカの開花(西川)を観測した。平年は6月12日、昨年は6月10日。

7月<平成18年7月豪雨、多雨・日照不足、気温の変動大、梅雨明け7月26日ごろ>

平均気温は「平年並」。

降水量は県中部を中心に「平年よりかなり多い」、他の地域は「平年より多い」。

日照時間は「平年よりかなり少ない」～「平年より少ない」。

7月は、活動が活発な梅雨前線が本州付近に停滞したため、日本各地で大雨となり、特に中旬後半から下旬前半にかけては活動が非常に活発な梅雨前線がゆっくり南下し、山陰から北陸、甲信地方にかけてと九州では記録的な大雨となり、気象庁では「平成18年7月豪雨」と命名した。県内では15日から19日にかけて大雨となり、7月の月降水量に匹敵する降水量となった。

停滞した梅雨前線の影響や暖かく湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、県内の月降水量は平年より多く、日照時間は平年より少なかった。このため、県内各地のアメダス観測所では、月降水量の多い歴代記録の上位や月間日照時間の少ない歴代記録の上位を更新した。また、気温の変動が大きく、中旬前半の高温と中旬後半の低温が顕著であった。

中国地方は7月26日ごろ梅雨明けした。

7月上旬は、西日本付近に停滞した梅雨前線の影響で曇りや雨の降る日が多く、旬の終わり頃には台風第3号の影響を受けた。このため、梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込みやすく、上旬の初め頃にはまとまった雨の降る日があり、上旬の平均気温は県北東部を中心に平年を上回り、日照時間は県内全域で平年をかなり下回った。

7月中旬は、旬前半は台風第3号や日本海に停滞した梅雨前線の影響で、南から暖かく湿った空気が流れ込み、晴れ間が広がった時があったが大気の状態が不安定となり、雨の降る所があった。旬後半は梅雨前線が西日本に停滞したため、大雨の降る日や雷を伴い激しい雨の降る日があった。このため、気温は旬前半を中心に平年より高い日が多く、旬前半の平均気温は平年より2から3高い所が多かった。降水量は旬前半を中心に県北部の山地と県南部沿岸地域で平年の20%以下の所があったが、旬後半は梅雨前線の影響で平年の7月の月降水量に匹敵する降水量となった。日照時間は中旬を通して雲の広がりやすい日が多かったため、平年を下回り、県南部沿岸地域で平年の70%前後、県北部を中心に20%から40%の所が多かった。

7月下旬は、下旬中頃までは梅雨前線が西日本付近に停滞することが多く、曇りや雨の日が多かった。その後、梅雨前線は日本海から山陰沿岸に停滞し、南海上から湿った空気が流れ込みやすく、26日には非常に激しい雨、27日にはやや強い雨の降る所があった。29日に日本海にある梅雨前線がゆっくり南下し、次第に活動を弱めた。中国地方の梅雨明けは7月26日ごろ。

< 7月：平成18年7月豪雨、多雨・日照不足、気温の変動大 >

7月は、活動が活発な梅雨前線が本州付近に停滞したため、曇りや雨の日が多かった。特に中旬後半から下旬前半にかけて、活動が非常に活発な梅雨前線がゆっくり南下したため、県内では15日から19日にかけて大雨となり、この大雨は7月の月降水量に匹敵する降水量となった。山陰から北陸、甲信地方にかけてと九州では記録的な大雨となり、15日から24日にかけての大雨について、気象庁は「平成18年7月豪雨」と命名した。

県内の7月の月降水量は平年より多く、平年の150%から190%の所が多かった。県内各地のアメダス観測所では月降水量の多い歴代記録の上位を更新した(上長田6位:420^{mm}、恩原4位:438^{mm}、千屋1位:489^{mm}、奈義3位:415^{mm}、今岡4位:421^{mm}、久世1位:422^{mm}、新見2位:384^{mm}、下砦部1位:433^{mm}、天子山1位:401^{mm}、周匝2位:359^{mm}、陣山3位:377^{mm}、福渡5位:300^{mm}、和気3位:318^{mm}、高梁5位:304^{mm}、佐屋3位:356^{mm}、矢掛7位:238^{mm}、虫明5位:242^{mm}、倉敷6位:238^{mm}、笠岡7位:240^{mm}、玉野6位:247^{mm})。

また、停滞した梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったため、県内の 7 月の日照時間は平年より少なく、平年の 40% から 70% の所が多かった。岡山では月間日照時間の少ない歴代記録 2 位 (101.5 時間、平年の 57%、平年 179.5 時間、これまでの最小は 1993 年 7 月の 99.9 時間、統計開始 1892 年) を更新した。

県内各地のアメダス観測所では月間日照時間の少ない歴代記録の上位を記録した (上長田 6 位 : 77.3 時間、千屋 8 位 : 87.8 時間、奈義 1 位 : 35.4 時間、今岡 5 位 : 84.7 時間、久世 1 位 : 48.9 時間、新見 3 位 : 80.2 時間、福渡 3 位 : 64.1 時間、和気 1 位 : 54.8 時間、高梁 4 位 : 67.5 時間、虫明 1 位 : 82.9 時間、倉敷 2 位 : 78.6 時間、笠岡 3 位 : 119.8 時間、玉野 5 位 : 136.0 時間)。

県内の 7 月の気温は変動が大きく、中旬前半の高温と中旬後半の低温が顕著であった。県内各地のアメダス観測所では中旬前半に真夏日や熱帯夜を観測する所があった。一方、中旬中頃から下旬中頃にかけて寒気の影響で気温が平年を下回る日が多かった。

7 月の岡山の夏日¹¹⁾30 日 (平年 29.6 日)、真夏日¹²⁾18 日 (平年 20.1 日)、日最高気温 35 以上の日 4 日 (2.6 日)、熱帯夜¹³⁾13 日 (平年 6.4 日) であった。岡山の雷日数 2 日 (平年 3.1 日) であった。

< 中国地方の梅雨明け : 7 月 26 日ごろ >

7 月 30 日に、広島地方気象台は「中国地方は、梅雨明けしたとみられます」と発表したが、気象庁では、毎年、春から夏にかけての実際の天候経過を総合的に検討し、各地の梅雨入り⁸⁾と梅雨明け⁸⁾の確定を行っている。これにより、中国地方の梅雨明けは当初発表より早く、7 月 26 日ごろとした (平年の梅雨明けは 7 月 20 日ごろ、平成 18 年の梅雨入りは 6 月 8 日ごろ)。

県内の梅雨期間 (6 月 8 日から 7 月 25 日) の平均気温は県南部沿岸地域を除き、平年より 0.5 程度高く、降水量は平年の 150% 前後、多い所で 180%、日照時間は平年の 50% から 90% であった。

< 7 月上旬 : 県北東部を中心に高温、県内全域で日照不足 >

7 月上旬は梅雨前線が西日本付近に停滞する日が多く、上旬の終わり頃には台風第 3 号の影響を受けた。梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込みやすく、上旬の平均気温は県北東部を中心に平年より 1 前後高い所があった。

また、日照時間は県内全域で平年をかなり下回り、県内アメダス観測所のほとんどで平年の 40% 以下、県南東部を中心に平年の 30% 以下の所が多かった。

< 7 月中旬 : 真夏日と熱帯夜 >

7 月上旬終わり頃から日本海に停滞した梅雨前線に向かって、また太平洋高気圧の縁に沿って南から暖かく湿った空気が流れ込みやすく、県内各地のアメダス観測所では真夏日¹²⁾や熱帯夜¹³⁾を観測する所があった。

県内各地のアメダス観測所では、11 日から 16 日にかけて真夏日¹²⁾を観測する所が多く、岡山では熱帯夜¹³⁾を 9 日から 16 日にかけて観測した。

< 7 月中旬中頃からの下旬中頃にかけての低温 >

梅雨前線は 7 月中旬前半、日本海に停滞する日が多く気温の高い日が多かったが、中旬中頃から西日本に停滞する日が多く、寒気の影響で気温が平年を下回る日が多かった。

県内では 7 月 17 日から 24 日までの気温が平年より低く、この間の平均気温は平年より 2.5 前後、最高気温は平年より 4 前後、最低気温は平年より 1 前後低い所が多かった。

< 7 月中旬 : 太平洋高気圧の縁に沿って湿った空気が流れ込み、県内各地で強い雨 >

7 月 14 日は太平洋高気圧に覆われて概ね晴れるが、高気圧の縁に沿って湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった。このため、県北部で昼前から雷雲が急激に発達し、県北部を中心に昼頃から 1 時間に 20 ミリ近いやや強い雨の降る所 (久世 19 ミリ : 13 時 30 分) があり、この雷雲は次第に南下し、県南部を中心に夕方にかけて 1 時間に 30 ミリを超える激しい雨の降る所 (周匝 36 ミリ : 14 時 30 分、7 月の日最大 1 時間降水量 3 位更新) があった。

< 7 月中旬 : 西日本に停滞した梅雨前線による大雨 : 平年の 7 月の月降水量に匹敵する降水量 >

梅雨前線は、7 月 15 日に朝鮮半島北部から日本海中部を通り東北地方南部にのびるが、16 日から 18 日にかけて朝鮮半島南部から中国地方を通り関東地方付近にのび、断続的に活動を強めた。19 日には梅雨前

線が中国地方をゆっくり南下し四国地方に停滞した。

県内では、15 日宵のうちから断続的に雨が降り、16 日は県北部の山地を中心に午前 3 時頃にかけて、県南部を中心に夕方にかけて 1 時間に 15 ミリのやや強い雨が降った。17 日は県北部を中心に朝のうちにかけて、県中部を中心に昼前にかけて 1 時間に 20 ミリから 30 ミリの強い雨が降った。18 日は県北部を中心に夜遅くから 1 時間に 20 ミリを超える強い雨が降り出し、19 日朝のうちにかけて県北部から県南部にかけて 1 時間に 20 ミリ ~ 30 ミリの強い雨が降った。

15 日宵のうちから 19 日にかけての県内の総雨量は、県北部を中心に 280 ミリから 220 ミリ、県南部を中心に 200 ミリから 130 ミリの所が多く、平年の 7 月の月降水量に匹敵する降水量となった。

気象庁では 7 月 15 日から 24 日に発生した豪雨について、「平成 18 年 7 月豪雨」と命名した。

<7 月下旬：梅雨前線に向かって暖かく湿った空気、日射も加わり、非常に激しい雨>

7 月 26 日は山陰沿岸に停滞した梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、日射も加わり、午後は大気の状態が不安定となった。県内では、26 日昼頃から県北部を中心に 1 時間に 50 ミリを超える非常に激しい雨（富 55 ミリ）が、宵のうちにかけて県中部を中心に 1 時間に 60 ミリを超える非常に激しい雨（天子山 61 ミリ：7 月の日最大 1 時間降水量 1 位更新）が降った。

<台風第 3 号>

台風第 3 号は、7 月 1 日 3 時ヤップ島の南で発生し、3 日 9 時フィリピンの東、5 日 9 時フィリピンの東、7 日 9 時沖縄の南、8 日 9 時宮古島の南東、9 日 9 時久米島の北西、10 日 9 時チェジュ島の西北西、11 日 9 時ウラジオストクの南に進み、11 日 15 時に日本海で温帯低気圧となった。

<台風第 4 号>

台風第 4 号は、7 月 9 日 15 時フィリピンの東で発生し、10 日 9 時フィリピンの東、12 日 9 時石垣島の南南東、14 日 9 時台湾海峡に進み、15 日 15 時に華中で熱帯低気圧となった。

<台風第 5 号>

台風第 5 号は、7 月 19 日 15 時マリアナ諸島で発生し、20 日 9 時フィリピンの東、22 日 9 時フィリピンの東、24 日 9 時沖縄の南に進み、26 日 15 時華南で熱帯低気圧となった。

<生物季節観測>

7 月 6 日にツクツクホウシの初鳴（西川原）を観測した。平年は 7 月 19 日、昨年は 7 月 15 日。

7 月 9 日にニイニイゼミの初鳴（後楽園）を観測した。平年は 7 月 4 日、昨年は 6 月 22 日。

7 月 15 日に、アブラゼミの初鳴（今在家）を観測した。平年は 7 月 14 日、昨年は 7 月 7 日。

8 月 <高温・多照、県中部を中心に多雨、県南部沿岸地域を中心に下旬中頃まで少雨>

平均気温は「平年より高い」～「平年よりかなり高い」。

降水量は県中部を中心に「平年並」～「平年より多い」、他の地域は「平年並」、上長田・千屋は「平年より少ない」。

日照時間は「平年より多い」～「平年よりかなり多い」、岡山・津山・和気は「平年並」。

8 月は、太平洋高気圧に覆われて、気温が平年より高く、日照時間が平年より多かった。降水量は県中部を中心に平年より多く、県南部沿岸地域を中心に下旬中頃まで平年より少なかった。

このため、県内各地のアメダス観測所では 8 月の月平均気温の高い歴代記録の上位を更新する所や月間日照時間の多い歴代記録の上位を更新する所があった。

8 月中旬には、日本の南海上を北上した台風第 10 号が 18 日に宮崎県に上陸し、県中部を中心に 20 ミリから 40 ミリの雨が降り、県南部を中心に東よりから南よりの風が強まった。

また、太平洋高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、強い日射や湿った空気、上空の寒気の影響で雷雨の日があり、1 時間に 20 ミリを超える強い雨や 60 ミリ近い非常に激しい雨の降る所があった。

8 月上旬は、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かった。強い日射の影響で大気の状態が不安定となり、月上旬前半を中心に強い雨の降る所があった。8 月上旬は太平洋高気圧に覆われる日が多かったため、

県内の気温は平年を上回る日が多く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年より多かった。

8 月中旬は、太平洋高気圧に覆われて概ね晴れる日が多かったが、上空の寒気や強い日射の影響で雷雨の日があった。中旬後半は台風第 10 号が四国の南をゆっくり進み、宮崎県南部に上陸した後九州を北上した影響で、台風第 10 号からの暖かく湿った空気が流れ込み、雨の降る日があった。

8 月中旬は強い日射や台風第 10 号からの暖かく湿った空気の影響で、気温が平年を上回る日が多く、中旬の平均気温は平年より高く、また上空の寒気や強い日射の影響で大気の状態が不安定となり、降水量が県中部を中心に平年より多かった。

8 月下旬は、太平洋高気圧に覆われて概ね晴れる日が多かったが、上空の寒気や強い日射の影響で大気の状態が不安定となり雷雨の日があり、強い雨や非常に激しい雨の降る所があった。下旬の終わり頃には九州から四国付近に停滞した前線や低気圧の影響で、県南部を中心にまとまった雨が降った。

8 月下旬は太平洋高気圧に覆われ概ね晴れて、気温が平年を上回る日が多く、下旬中頃にかけて県南部沿岸地域を中心に雨の少ない状況が続いた。

<8 月：高温・多照、県中部を中心に多雨、県南部沿岸地域を中心に下旬中頃まで少雨>

8 月は、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多く、気温が平年より高く、日照時間が平年より多かった。

県内の 8 月の月平均気温は平年より 1 から 2 程度高い所が、最高気温は平年より 2 から 3 程度高い所が、最低気温は平年より 1 前後高い所が多かった。このため、岡山では 8 月の月平均気温の高い歴代 2 位(29.7、平年 27.9、これまでの最高は 1995 年 9 月の 29.8、統計開始 1891 年)を、津山では高い歴代 3 位(27.2、平年 25.6、これまでの最高は 1994 年 8 月の 27.7、統計開始 1943 年)を記録し、県内各地のアメダス観測所でも高い歴代記録の上位を更新する所(上長田 2 位:24.5、千屋 3 位:23.8、奈義 5 位:26.3、今岡 4 位:26.4、久世 3 位:27.4、新見 3 位:25.0、福渡 6 位:26.9、和気 1 位:27.2、高梁 3 位:27.9、虫明 5 位:27.9、倉敷 1 位:29.0、笠岡 5 位:28.8、玉野 6 位:28.7)があった。

8 月の岡山の夏日¹¹⁾31 日(平年 30.7 日)、真夏日¹²⁾30 日(平年 25.7 日)、日最高気温 35 以上の日 10 日(平年 3.4 日)、熱帯夜¹³⁾27 日(平年 9.9 日)、津山の夏日¹¹⁾31 日(平年 30.0 日)、真夏日¹²⁾29 日(平年 22.8 日)、日最高気温 35 以上の日 7 日(平年 2.9 日)、熱帯夜¹³⁾2 日(平年 0.6 日)であった。岡山の雷日数 3 日(平年 2.4 日)であった。

県内の 8 月の月間日照時間は平年の 120%から 150%の所が多かった。このため、県内各地のアメダス観測所では 8 月の月間日照時間の多い歴代記録の上位を更新する所(上長田 1 位:216.5 時間、千屋 1 位:199.5 時間、奈義 5 位:167.8 時間、今岡 2 位:211.5 時間、久世 5 位:177.2 時間、新見 5 位:177.2 時間、福渡 4 位:197.9 時間、和気 8 位:190.7 時間、高梁 2 位:182.3 時間、虫明 4 位:233.9 時間、倉敷 5 位:202.2 時間、笠岡 4 位:237.1 時間、玉野 4 位:262.9 時間)があった。

また、県内の 8 月の月降水量は県中部を中心に平年より多く、下旬中頃まで県南部沿岸地域を中心に平年よりかなり少なかった(平年の 20%から 30%)。このため、県内各地のアメダス観測所では 8 月の月降水量の少ない歴代記録の上位を更新する所(上長田 7 位:68^{mm}、恩原 10 位:125^{mm}、千屋 4 位:72^{mm}、福渡 8 位:61^{mm}、倉敷 9 位:49^{mm})や多い歴代記録を更新する所(今岡 9 位:165^{mm}、新見 10 位:107^{mm}、下皆部 10 位:132^{mm}、周匝 9 位:138^{mm}、高梁 4 位:201^{mm})があった。

<8 月：連日の真夏日と熱帯夜>

7 月下旬後半から太平洋高気圧に覆われ、気温が平年を上回る日が多く、真夏日¹²⁾や熱帯夜¹³⁾を連日観測した。

岡山では真夏日¹²⁾を 7 月 25 日から 8 月 30 日まで連続 37 日間、熱帯夜¹³⁾を 7 月 28 日から 8 月 11 日まで連続 15 日間、8 月 14 日から 23 日まで連続 10 日間および 25 日から 30 日まで連続 6 日間、日最高気温 35 以上の日を 8 月 4 日から 11 日まで連続 8 日間観測し、津山では真夏日¹²⁾を 8 月 1 日から 27 日まで連続 27 日間および 29 日から 30 日まで 2 日間、日最高気温 35 以上の日を 8 月 8 日から 11 日まで連続 4 日間および 15 日から 16 日まで 2 日間観測した。

また、県内各地のアメダス観測所でも 7 月 25 日から連日真夏日¹²⁾を観測する所があり、県南部を中心に

熱帯夜¹³⁾を観測する日があった。

8月7日から10日にかけて8月の日最高気温の高い歴代記録の上位を記録する所があった。岡山では9日に高い歴代2位(38.3、これまでの最高は1994年8月7日の39.3：統計開始1891年)を記録した。県内各地のアメダス観測所では、千屋(10日10位:32.6)、久世(8日7位:37.8、10日9位:37.7)、新見(9日8位:34.6)、和気(7日10位:35.4、8日5位:35.8、9日1位:37.0)、高梁(8日7位:37.3、9日5位:37.7)、虫明(8日6位:34.9)、倉敷(9日3位:36.2)、笠岡(7日7位:36.3)を記録した。

17日から19日にかけて、台風第10号からの暖かく湿った空気が流れ込み、日最低気温が平年より高く、8月の日最低気温の高い歴代記録の上位を更新する所があった。県内アメダス観測所では、上長田(18日8位:24.4、19日7位:24.4)、千屋(19日3位:23.8)、新見(17日5位:24.2、18日10位:23.7、19日8位:23.9)、福渡(18日7位:25.2、19日3位:25.9)、和気(19日10位:25.9)、高梁(18日9位:26.2、19日8位:26.3)、倉敷(17日6位:27.2)、笠岡(17日1位:28.6)を記録した。

<8月上旬：少雨・多照>

8月上旬は太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多く、上旬の日照時間は平年よりかなり多く、県内各地のアメダス観測所では平年の130%~190%の所が多かった。

また、強い日射の影響で大気の状態が不安定となり、強い雨の降る所があったが、上旬の降水量は平年より少なく、県内各地のアメダス観測所では県中部を中心に平年の30%程度、他の地域ではほとんど雨量を観測しなかった。

<8月中旬：雷を伴う激しい雨>

太平洋高気圧に覆われ晴れる日が続く中、8月11日から12日にかけて上空に寒気が流れ込み、午後を中心に大気の状態が不安定となった。

11日には雷を伴い1時間に40^{ミリ}を超える激しい雨の降る所があり、8月の日最大1時間降水量の歴代記録上位を更新する所(高梁3位:42^{ミリ}、奈義6位:33^{ミリ}、新見2位:34^{ミリ}、周匝5位:37^{ミリ}、陣山3位:36^{ミリ})があり、高梁では11日15時から18時にかけて74^{ミリ}(8月の日降水量の歴代3位)を観測した。

12日には雷を伴い1時間に40^{ミリ}近い激しい雨の降る所があり、8月の日最大1時間降水量の歴代記録の上位を更新する所(高梁4位:39^{ミリ})があった。

<8月下旬：上空の寒気や湿った空気の影響で、雷を伴い強い雨や非常に激しい雨>

8月下旬は太平洋高気圧に覆われ概ね晴れる日が多かったが、22日は上空の寒気と湿った空気の影響で、28日は湿った空気と日射の影響で、大気の状態が不安定となり、県内では22日には雷を伴い強い雨の降る所が、28日には非常に激しい雨の降る所があり、8月の日最大1時間降水量の歴代記録の上位を更新する所があった。

22日昼前から中国山地沿いに雨雲が現れ、次第に発達しながら夕方にかけて南下した。県内では県北部を中心に昼過ぎ、県南部を中心に夕方にかけて、多い所で20^{ミリ}~30^{ミリ}の雨となり、1時間に20^{ミリ}を超える強い雨の降る所(今岡27^{ミリ}:13時00分、吉備中央18^{ミリ}:13時20分、佐屋25^{ミリ}(8月の日最大1時間降水量の歴代7位更新):13時10分、矢掛17^{ミリ}:14時20分)があった。岡山では、22日19時51分から雷鳴を、20時2分には雷電を観測した。

28日明け方から朝のうちに掛けて県北東部を中心に雨の降る所があり、夕方頃から中国山地沿いに発達した雨雲が現れ、宵のうちに掛けて県中部を中心に多い所で60^{ミリ}近い雨の降る所があり、1時間に20^{ミリ}を超える強い雨(久世30^{ミリ}(8月の日最大1時間降水量の歴代5位更新):18時40分、天子山20^{ミリ}:19時10分)や60^{ミリ}近い非常に激しい雨の降る所(下砦部58^{ミリ}(8月の日最大1時間降水量の歴代2位更新):19時50分)があった。

<8月下旬：前線上の低気圧が四国沖を通過した影響で、県南部を中心にまとまった雨>

8月31日は九州南部から四国の南海上に前線が停滞し、この前線上の低気圧が9月1日にかけて四国沖を通過した。このため、県内では31日は雲が広がり雨の降りやすい状況が続き、夕方からは県南部を中心に20^{ミリ}から40^{ミリ}のまとまった雨の降る所があり、多い所では50^{ミリ}近い雨の降る所(玉野49^{ミリ}:8月の日降水量歴代8位)があった。

< 台風第 6 号 >

台風第 6 号は、8 月 1 日 15 時南シナ海で発生し、3 日 9 時南シナ海北部、5 日 9 時華南で熱帯低気圧となった。

< 台風第 7 号 >

台風第 7 号は、8 月 5 日 21 時父島の東南東で発生し、7 日 9 時日本の南、8 日 9 時潮岬の南南東、8 日 21 時静岡県浜松市の南南西に進み、9 日 7 時半頃に新島付近を通過し、9 日 9 時千葉県館山市の南、9 日 21 時茨城県日立市の東、10 日 9 時いわき市の東に進み、11 日 9 時に日本の東で温帯低気圧となった。

気象庁では 5 日 15 時 55 分に「発達する熱帯低気圧に関する情報」を発表し、今後 24 時間以内に中心付近の最大風速が 23 ㍓に達し、台風になる見込みであることを発表した。

< 台風第 8 号 >

台風第 8 号は、8 月 5 日 21 時マリアナ諸島で発生し、7 日 9 時フィリピンの東、8 日 9 時南大東島の南南東、9 日 9 時那覇市の南南東、10 日 9 時石垣島の北北西に進み、11 日 9 時に華中で熱帯低気圧となった。

< 台風第 9 号 >

台風第 9 号は、8 月 6 日 15 時日本の南で発生し、7 日 9 時沖繩の南、8 日 9 時石垣島の南東、9 日 9 時台湾、10 日 9 時南シナ海北部に進み、10 日 15 時に南シナ海北部で熱帯低気圧となった。

< 台風第 10 号 >

台風第 10 号は、8 月 13 日 15 時父島の西南西で発生し、14 日 9 時父島の西、15 日 9 時日本の南、16 日 9 時室戸岬の南、16 日 21 時種子島の東南東、17 日 9 時宮崎市の東南東、17 日 21 時宮崎市の南東に進み、18 日 1 時過ぎ宮崎市付近に上陸した。その後、台風第 10 号は 18 日 9 時熊本市付近、18 日 21 時久留米市付近、19 日 9 時対馬市の東北東、19 日 21 時プサンの北東、20 日 9 時ウルルン島の北西に進み、20 日 12 時に日本海で熱帯低気圧となった。

県内では 18 日昼過ぎから雨が降り出し、19 日朝のうちにかけて断続的に続いた。18 日から 19 日にかけての県内の降水量は県中部を中心に 20 ミリ ~ 40 ミリの所が多く、1 時間に 10 ミリを超えるやや強い雨の降る所 (奈義 18 日 10 ミリ、19 日 10 ミリ、今岡 19 日 13 ミリ、高梁 19 日 12 ミリ、矢掛 18 日 12 ミリ、19 日 10 ミリ、富 19 日 11 ミリ) があつた。

また、18 日から 19 日にかけて、県南部を中心に東よりから南よりの風が強まり、県内各地のアメダス観測所では 10 ㍓を超える所があつた。岡山では 18 日に最大風速 東の風 12.3 ㍓ (17 時 40 分) 最大瞬間風速 東南東の風 20.1 ㍓ (15 時 45 分) 19 日に最大風速 東南東の風 9.2 ㍓ (15 時 50 分) 最大瞬間風速 東南東の風 15.4 ㍓ (15 時 41 分) を、津山では 18 日に最大風速 東南東の風 6.6 ㍓ (12 時 00 分) 最大瞬間風速 東南東の風 17.7 ㍓ (11 時 55 分) 19 日に最大風速 東南東の風 7.4 ㍓ (13 時 00 分) 最大瞬間風速 東南東の風 16.2 ㍓ (14 時 23 分) を観測した。

< 台風第 11 号 >

台風第 11 号は、8 月 14 日 9 時フィリピンの東で発生し、15 日 9 時日本の南に進み、16 日 9 時日本の南で熱帯低気圧となった。

< 生物季節観測 >

8 月 8 日に、サルスベリの開花 (岡山大学) を観測した。平年は 7 月 26 日、昨年は 7 月 22 日。

8 月 23 日に、エンマコオロギの初鳴 (いずみ町) を観測した。平年は 8 月 15 日、昨年は 8 月 19 日。

9 月 < 9 月下旬を中心とした少雨と多照、気温の変動大 >

平均気温は県北部を中心に「平年並」、県南部を中心に「平年より低い」~「平年並」。

降水量は「平年並」、新見・高梁は「平年より少ない」、周匝・和気・笠岡は「平年より多い」。

日照時間は「平年より多い」~「平年よりかなり多い」。

9 月は、上旬後半から中旬前半にかけて低気圧や前線の影響を受けて曇りや雨の日が多く、降水量が多く、日照時間が少なかった。また、台風第 13 号が南西諸島を通過し、17 日に九州に上陸した影響で県内

荒れた天気となった。9 月中旬終わり頃からは高気圧に覆われて晴れる日が多く、下旬を中心に降水量が少なく、日照時間が多かったため、月降水量は県北部を中心に少ない歴代記録の上位を更新する所が、月間日照時間は多い歴代記録の上位を更新する所があった。

9 月の気温は、短い周期で平年を上回る時期、下回る時期を繰り返し、県内の月平均気温は平年並みの所が多かったが、一部で平年より低い所があり、月平均気温は低い歴代記録の上位を更新する所があった。

9 月上旬は、上旬前半を中心に高気圧に覆われ概ね晴れた。6 日から 7 日にかけては前線を伴った低気圧が本州付近をゆっくり通過したため、10 日には前線が日本海から南下したため、県内まとまった雨と激しい雨となった。7 月下旬後半から続いた気温の高い状況は、8 月末から 9 月上旬中頃にかけて平年並み程度となり、6 日には最高気温が 10 月上旬から中旬並みとなった。上旬後半には暖かく湿った空気が流れ込み、気温が平年を上回る日があったが、雲が広がりやすかった。このため、9 月上旬の気温は変動が大きく、降水量は平年より多く、平年の 150% から 200% の所が多く、多い所では 300% を超える所があった。また、9 月上旬の日照時間は平年より少ない所があり、上旬前半は平年の 120% から 160% の所が多かったが、上旬後半は平年の 30% から 40% の所が多かった。

9 月中旬は、旬初め頃は四国の南海上に停滞した前線の影響で雲が広がりやすく、ややまとまった雨の降る日があり、日中 10 月中旬から下旬並みの気温の日があった。中旬中頃は高気圧に覆われて晴れる日があったが、中旬後半中頃には台風第 13 号の影響で県内大荒れの日があった。中旬前半を中心に、寒気の影響で気温が平年を下回る日が多く、降水量が県南部を中心に平年より多く、日照時間が平年より少なかった。

9 月下旬は、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。このため、降水量がほとんどなく、日照時間がかなり多かった。また、最低気温が平年を下回る日が多く、下旬の最低気温が県北部を中心に平年より 2 から 3 程度低い所が多かった。

<9 月：下旬を中心とした少雨と多照、気温の変動大>

9 月上旬後半から中旬前半にかけて低気圧や前線の影響を受けて、曇りや雨の日が多く、また台風第 13 号が南西諸島を通過し、17 日に九州に上陸した影響で県内荒れた天気となったが、9 月中旬終わり頃からは高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

このため、県内の降水量は下旬を中心に平年より少なく、9 月の月降水量は県北部を中心に平年の 70% から 90%、県南部を中心に平年の 80% から 110% の所が多かった。県内各地のアメダス観測所では県北部を中心に月降水量の少ない歴代記録の上位を更新する所（上長田 9 位：186^{ミリ}、恩原 9 位：212^{ミリ}、千屋 10 位：180^{ミリ}、奈義 10 位：140^{ミリ}、新見 10 位：143^{ミリ}、高梁 9 位：126^{ミリ}）があり、県南部を中心に月降水量の多い歴代記録の上位を更新する所（周匝 10 位：191^{ミリ}、陣山 9 位：176^{ミリ}、笠岡 8 位：160^{ミリ}）があった。

また、県内の日照時間は下旬を中心に平年より多く、9 月の月間日照時間は平年の 120% から 130% の所が多く、多い所では 150% を超える所があり、津山では月間日照時間の多い歴代 8 位（174.4 時間、平年の 123%、これまでの最大は 1967 年 9 月の 197.9 時間、統計開始 1943 年）を更新し、県内各地のアメダス観測所でも月間日照時間の多い歴代記録の上位を更新（上長田 4 位：126.0 時間、千屋 5 位：132.3 時間、奈義 4 位：153.7 時間、今岡 1 位：170.9 時間、久世 5 位：148.7 時間、新見 4 位：155.2 時間、福渡 2 位：160.2 時間、和気 7 位：155.9 時間、高梁 2 位：139.1 時間、虫明 3 位：167.5 時間、倉敷 3 位：173.7 時間、笠岡 5 位：185.5 時間、玉野 6 位：187.4 時間）する所があった。

9 月の気温は、短い周期で平年を上回る時期、下回る時期を繰り返し、県内の月平均気温は平年並みの所が多かったが、一部では平年より 0.5 前後低い所があり、県内各地のアメダス観測所では月平均気温の低い歴代記録の上位を更新する所（千屋 8 位：17.6、奈義 10 位：20.5、今岡 9 位：20.4、久世 10 位：21.0、新見 7 位：18.9、福渡 6 位：20.9、和気 9 位：21.3、高梁 9 位：21.6、虫明 8 位：22.3、倉敷 10 位：23.0、笠岡 7 位：22.9、玉野 9 位：23.7）があった。

9 月の岡山の夏日¹¹⁾28 日（平年 24.0 日）、真夏日¹²⁾5 日（平年 8.3 日）、日最高気温 35 以上の日 0 日（平年 0.2 日）、熱帯夜¹³⁾1 日（平年 1.3 日）、津山の夏日¹¹⁾25 日（平年 21.2 日）、真夏日¹²⁾6 日（平年 6.0 日）、日最高気温 35 以上の日 0 日（平年 0.3 日）、熱帯夜¹³⁾0 日（平年 0.0 日）であった。

<9 月上旬中頃を中心に 10 月上旬から中旬並みの気温>

7 月下旬後半から続いた気温の高い状況は、8 月末から 9 月上旬中頃にかけて平年並程度となり、9 月 5 日から 6 日にかけては前線や低気圧の影響で日中の気温が平年を下回り、県内各地のアメダス観測所では 6 日の最高気温が 10 月上旬から中旬並みの気温となった。

<9 月上旬：前線を伴った低気圧が九州西海上から四国付近を進み、まとまった雨と激しい雨>

9 月 6 日に九州西海上に前線を伴った低気圧が発生し、九州から四国付近を進んだ。このため、前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となった。県内では 6 日明け方から全般に雨となり、昼前から夕方にかけてまとまった雨となり、1 時間に 10 ミリから 20 ミリのやや強い雨の降る所（周匝 20 ミリ：14 時 40 分、陣山 21 ミリ：11 時 00 分、和気 23 ミリ：15 時 50 分（9 月の日最大 1 時間降水量の歴代 10 位）、岡山 21.0 ミリ：14 時 48 分、笠岡 23 ミリ：13 時 30 分（9 月の日最大 1 時間降水量の歴代 6 位））が、強い所では 1 時間に 30 ミリを超える激しい雨の降る所（今岡 31 ミリ：15 時 00 分）があった。

6 日の県内の降水量は 40 ミリから 90 ミリの所が多く、多い所では 100 ミリ近い所（今岡 98 ミリ、福渡 96 ミリ）があり、9 月の日降水量の歴代上位を更新する所（奈義 9 位：71 ミリ、今岡 8 位：98 ミリ、周匝 9 位：85 ミリ、陣山 6 位：85 ミリ、福渡 7 位：96 ミリ、笠岡 6 位：72 ミリ）があった。

<9 月上旬：前線が日本海から南下し四国の南海上に停滞したため、雷を伴い強い雨>

9 月 9 日に前線が日本海に発生し次第に南下し、10 日には四国の南海上まで南下し停滞した。このため、県内では 10 日午前 3 時前から降り出した雨は、昼過ぎにかけて断続的に強まり、1 時間に 20 ミリを超える強い雨の降る所（恩原 27 ミリ：5 時 50 分、久世 22 ミリ：5 時 10 分、佐屋 22 ミリ：9 時 20 分）があった。10 日の県内の降水量は 10 ミリから 20 ミリ、多い所では 30 ミリから 60 ミリの所（恩原 57 ミリ）があった。

<9 月中旬前半を中心に低温・多雨・日照不足>

9 月中旬前半を中心に寒気の影響で気温が平年を下回る日が多かった。また、中旬初め頃は四国の南海上に停滞した前線の影響で、12 日から 13 日にかけてややまとまった雨が降り、中旬後半は四国の南海上から北上した前線と台風第 13 号の影響でややまとまった雨の降る所があった。

県内各地のアメダス観測所では、中旬前半の平均気温が平年より 2 前後低く、最高気温が平年より 2.5 から 3 程度低く、最低気温が県南部沿岸地域を中心に平年より 2 前後低い所が多かった。中旬前半の降水量は県南部を中心に平年より多く、平年の 150% から 220% 程度であり、日照時間は平年より少なく、平年の 50% から 70% 程度であった。

<9 月中旬中頃に日中の気温が 10 月中旬から下旬並み>

9 月中旬初め頃を中心に四国の南岸に停滞した前線の影響で、雲が広がり雨の降りやすい状況が続き、中旬中頃は日本海に中心を持つ高気圧に覆われ、寒気の影響で気温が平年を下回る日が多かった。このため、13 日には寒気の影響で日中の気温が上がらず、県内は 10 月中旬から下旬並みの気温となった。

<9 月中旬：四国の南岸に停滞した前線により県南部を中心にややまとまった雨>

9 月上旬終わり頃から中旬前半頃にかけて、四国の南岸に停滞した前線の影響で雲が広がり雨の降りやすい状況が続き、9 月 12 日宵のうちから 13 日夕方にかけて県南部を中心にややまとまった雨となった。12 日から 13 日にかけての県内の降水量は、県北部を中心に 20 ミリ前後、県南部を中心に 30 ミリから 50 ミリ前後の所が多く、県南部では 13 日昼頃を中心に 1 時間に 15 ミリ前後のやや強い雨の降る所（岡山 13.0 ミリ：11 時 07 分、虫明 16 ミリ：12 時 40 分）があった。

<9 月下旬：少雨・多照>

9 月下旬は、高気圧に覆われて晴れる日が多く、気温は平年並みの所が多く、降水量は県北部を除きほとんどなかった。下旬の日照時間はかなり多く、県内のアメダス観測所の全てで平年の 200% 以上であった。

<台風第 12 号>

8 月 27 日 15 時にミッドウェー諸島近海を西南西に進んでいたハリケーンが東経 180 度 00 分に達し、台風第 12 号となった。台風第 12 号は、28 日 9 時ミッドウェー諸島近海、30 日 9 時ウェーク島近海、9 月 1 日 9 時ウェーク島近海、2 日 9 時南鳥島近海、3 日 9 時南鳥島の北北西、4 日 9 時南鳥島の北西、5 日 9 時銚子市の東南東、6 日 9 時北海道の東に進み、7 日 9 時にカムチャツカの東で温帯低気圧となった。

< 台風第 13 号 >

台風第 13 号は、9 月 10 日 21 時フィリピンの東で発生し、12 日 9 時フィリピンの東、14 日 9 時沖縄の南、15 日 9 時石垣島の南に進み、16 日 5 時半頃西表島付近を通過し、16 日 9 時石垣島の北、17 日 9 時枕崎市の西南西に進み、17 日 18 時過ぎに長崎県佐世保市付近に上陸した。その後、台風第 13 号は 17 日 21 時下関市の西、18 日 9 時松江市の北北西、19 日 9 時奥尻島の西に進み、20 日 6 時頃に石狩市付近に再上陸し、20 日 9 時に北海道の東で温帯低気圧となった。

県内では、台風第 13 号の接近に伴い、東シナ海から四国の南に停滞した前線が北上し 15 日夜遅くから 16 日昼頃にかけて断続的に雨の降る所があり、県北部を中心に 20 ミリ前後、多い所で 30 ミリから 40 ミリの所があり、県南部を中心に 5 ミリ程度、多い所で 10 ミリから 20 ミリの所があった。

その後、16 日宵のうち頃から再び断続的に雨となり、17 日夜遅くから 18 日明け方にかけて台風本体の雨雲がかかり、16 日から 18 日にかけての県内の雨量は県北部を中心に 30 ミリから 40 ミリの所が多く、多い所で 70 ミリ前後の所があり、県南部を中心に 10 ミリ前後、県南東部の多い所で 60 ミリを超える所があった。

県内は強風域に 17 日宵のうちから 18 日昼過ぎにかけて入り、17 日夕方から東よりの風が強まり、次第に南よりの風に変わり、県内各地のアメダス観測所では強い所で 10 ㍊を超えるやや強い風を観測する所があり、9 月の日最大風速の歴代記録の上位を更新する所 (上長田 17 日 2 位、18 日 1 位、久世 17 日 8 位、高梁 18 日 7 位、笠岡 17 日 6 位、18 日 5 位、倉敷 18 日 3 位、福渡 17 日 5 位、18 日 4 位、玉野 17 日 4 位、和気 17 日 9 位、18 日 8 位) があった。

岡山と津山では、最大瞬間風速が 20 ㍊を超える非常に強い風を観測した。17 日に岡山では最大風速 東の風 13.7 ㍊ (20 時 00 分)、最大瞬間風速 東南東の風 23.0 ㍊ (22 時 9 分)、津山では最大風速 東南東の風 8.3 ㍊ (24 時 00 分)、最大瞬間風速 南東の風 20.1 ㍊ (23 時 53 分) を、18 日に岡山では最大風速 西南西の風 13.5 ㍊ (10 時 10 分)、最大瞬間風速 南西の風 24.7 ㍊ (9 時 8 分)、津山では最大風速 南の風 9.2 ㍊ (6 時 20 分)、最大瞬間風速 南東の風 20.3 ㍊ (0 時 52 分) を観測した。

また、台風第 13 号による気圧降下による吸い上げ効果と強風による吹き寄せ効果により、17 日宵のうちから 18 日朝のうちにかけて、潮位の高い状況が続き、宇野検潮所では最高潮位 TP 上 161 cm (17 日 21 時 22 分)、最大潮位偏差 86 cm (18 日 3 時 2 分) を観測した。TP は東京湾平均海面 (標高・海拔の基準)、潮位偏差は推算潮位 (天文潮位) からの偏差。

< 台風第 14 号 >

台風第 14 号は、9 月 17 日 15 時南鳥島の南東で発生し、19 日 9 時南鳥島の南東、20 日 9 時南鳥島の南南東、22 日 9 時父島の南南東、24 日 9 時日本の東に進み、25 日 15 時日本の東はるか東で温帯低気圧となった。

< 生物季節観測 >

9 月 3 日に、アキアカネの初見 (岡山大学) を観測した。平年は 8 月 16 日、昨年は 8 月 12 日。

9 月 11 日に、ヤマハギの開花 (半田山) を観測した。平年は 9 月 6 日、昨年は 9 月 14 日。

9 月 16 日に、モズの初鳴 (今在家) を観測した。平年は 9 月 13 日、昨年は 9 月 8 日。

9 月 17 日に、ヒガンバナの開花 (浜) を観測した。平年は 9 月 15 日、昨年は 9 月 15 日。

10 月 < 記録的な高温、少雨・多照 >

平均気温は「平年よりかなり高い」。

降水量は県北部の山地を中心に「平年より多い」、他の地域は「平年よりかなり少ない」～「平年より少ない」。

日照時間は「平年より多い」～「平年よりかなり多い」。

10 月は、上旬中頃に台風第 16 号の接近に伴い、低気圧が急速に発達しながら本州の太平洋沿岸を北上した影響で、県内強い風や県北部の山地を中心にまとまった雨の降る日があった他、10 月は高気圧に覆われ晴れて暖かい日が多かった。

このため、県内の 10 月の平均気温は平年よりかなり高く、10 月としては平成 10 年 (1998 年) に次ぐ記録的な高温となった。また、低気圧や前線の影響が小さく、県内の 10 月の降水量は県北部の山地を除き平年より少なく、日照時間は平年より多く、少雨・多照となった。

10 月上旬は、上旬中頃に本州南岸に停滞した前線上に低気圧が発生し、急速に発達しながら本州の太平洋沿岸を進み、県内では北よりの風が強まり、県北部の山地を中心にまとまった雨となった。その他の日は、上旬初めに前線の影響で雨の日があった他、上旬終わり頃を中心に移動性高気圧に覆われて晴れた。このため、県内の平均気温は平年より高い所が多く、降水量は県北部の山地を中心に平年よりかなり多かった。

10 月中旬は、高気圧に覆われて晴れる日が多く、日中の気温が9月中旬から下旬頃の日があり、県南部を中心に夏日の日が多かった。このため、中旬の平均気温は平年より高く、降水量はほとんどなく、日照時間が平年より多く、中旬は高温・少雨・多照となった。また、朝のうちを中心に所々で霧の発生する日があった。

10 月下旬は、下旬の初め頃に低気圧や前線の影響で雨の降る所があり、その後下旬中頃にかけて県北部を中心に寒気の影響で雲の広がる日があったが、他の日は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。このため、下旬の平均気温は平年よりかなり高く、9月下旬から10月上旬頃の気温の日があった。また、降水量は平年より少ない所が多く、日照時間は平年より多い所が多く、下旬は高温・少雨・多照となった。また、朝のうちを中心に所々で霧の発生する日があった。

< 10 月 : 記録的な高温、少雨・多照 >

10 月は、上旬終わり頃から高気圧に覆われて晴れる日が多く、日中の気温が平年を上回り、上旬から中旬にかけては最高気温が9月中旬から下旬頃の気温の日が、下旬には最高気温が9月下旬から10月上旬頃の気温の日があった。また、高気圧に覆われた早朝は放射冷却のため、気温が平年を下回る日があった。

県内の10月の平均気温は、平年より2 前後高い所が多く、10月としては平成10年(1998年)に次ぐ記録的な高温となった。旬ごとの平均気温は上旬には平年より1 前後高い所が、中旬には平年より2 前後高い所が、下旬には平年より3 前後高い所が多かった。10月の最高気温(月平均)は平年より2.5 前後高い所が多く、旬ごとの最高気温(旬平均)は上旬には平年より0.5 ~1.0 高い所が、中旬には平年より3 ~4 高い所が、下旬には平年より3 ~4 高い所が多かった。10月の最低気温(月平均)は平年より2 前後高い所が多く、旬ごとの最低気温(旬平均)は上旬には平年より1 ~1.5 高い所が、中旬には平年より1 ~2 高い所が、下旬には平年より2.5 ~3.5 高い所が多かった。

このため、岡山では月平均気温の高い歴代2位(19.9、平年17.6、これまでの最高は1998年10月の20.3、統計開始1891年)を、津山では高い歴代3位(17.3、平年14.9、これまでの最高は1998年10月の17.8、統計開始1943年)を更新し、県内各地のアメダス観測所でも月平均気温の高い歴代記録の上位を更新する所(上長田2位:14.8、千屋2位:13.9、奈義2位:16.3、今岡2位:16.4、久世2位:17.0、新見2位:15.3、福渡2位:17.0、和気2位:17.2、高梁2位:17.9、虫明2位:18.4、倉敷2位:19.4、笠岡2位:19.1、玉野2位:20.1)があった。

県内の10月の降水量は、県北部の山地では平年の110%~140%の所があったが、他の地域では平年の30%~60%の所が多く、少雨となった。旬ごとの降水量は上旬に低気圧や前線の影響で県北部を中心に平年より多い所があり、県北部の山地を中心に平年の300%前後の所があったが、他の地域では平年の60%~90%の所が多かった。中旬から高気圧に覆われる日が多く、中旬にはほとんど降水のない所が多く、下旬には県北西部を中心に平年の70%~80%、他の地域では平年の20%~40%の所が多かった。

このため、津山では月降水量の少ない歴代7位(44.0^{mm}、平年の49%、平年90.5^{mm}、これまでの最小は1997年10月の24.0^{mm}、統計開始1943年)を更新し、県内各地のアメダス観測所でも月降水量の少ない歴代記録の上位を更新する所(久世9位:47^{mm}、新見2位:34^{mm}、下砦部5位:39^{mm}、天子山4位:33^{mm}、周匝10位:51^{mm}、陣山3位:25^{mm}、和気9位:41^{mm}、高梁3位:31^{mm}、佐屋4位:38^{mm}、矢掛6位:37^{mm}、虫明10位:36^{mm}、笠岡4位:31^{mm}、玉野1位:27^{mm})があった。

また、10月上旬にまとまった雨の降った県北部の山地のアメダス観測所では月降水量の多い歴代記録の上位を更新する所(上長田7位:223^{mm}、千屋10位:128^{mm}、恩原8位:192^{mm})があった。

県内の10月の日照時間は、10月上旬終わり頃から高気圧に覆われて晴れる日が多く、平年の120%前後の所が多く、多照となった。旬ごとの日照時間は上旬には県南部を中心に平年の100%~115%の所が多く、中旬には平年の120%~150%の所が多く、下旬には平年の110%~120%の所が多かった。

このため、県内各地のアメダス観測所では月間日照時間の多い歴代記録の上位を更新する所(上長田 2 位: 134.5 時間、千屋 2 位: 165.9 時間、奈義 5 位: 157.5 時間、今岡 2 位: 180.4 時間、久世 5 位: 180.4 時間、新見 3 位: 169.1 時間、福渡 2 位: 166.7 時間、和気 6 位: 184.5 時間、高梁 2 位: 148.1 時間、虫明 2 位: 161.1 時間、倉敷 3 位: 185.5 時間、笠岡 2 位: 210.0 時間、玉野 4 位: 193.4 時間)があった。

10 月の岡山の夏日¹¹⁾12 日(平年 5.3 日)、真夏日¹²⁾0 日(平年 0.1 日)、津山の夏日¹¹⁾8 日(平年 4.0 日)、真夏日¹²⁾0 日(平年 0.0 日)であった。

< 10 月上旬: 県北部の山地を中心に多雨 >

10 月上旬初めに南海上に停滞した前線が北上したため、ややまとまった雨の日があった他、上旬中頃に本州南岸に停滞した前線上に低気圧が発生し、急速に発達しながら本州の太平洋沿岸を進んだ影響で、県北部の山地を中心にまとまった雨となった。

このため、上旬の県内の降水量は県北部の山地を中心に平年よりかなり多く、平年の 260% ~ 380% の所があった。また、県東部を中心に平年の 120% ~ 150% の所があった。

< 10 月上旬: 南海上の前線が北上したため、県内ややまとまった雨 >

10 月 1 日は日本の東海上から四国の南海上に停滞した前線がやや北上したため、県内では 1 日朝のうちから断続的に雨となり、宵のうちやや強まる所があり、2 日午前 3 時前まで続いた。1 日の県内の降水量は 20 ミリ ~ 30 ミリ、県南部沿岸地域では 10 ミリ程度であった。

< 10 月上旬: 本州南岸に停滞した前線と上空の寒気のため、県北部を中心にまとまった雨 >

台風第 16 号が南大東島の東海上を北上し、本州南岸に停滞した前線の活動が活発となったため、10 月 4 日夜遅くには雨の降る所があり、5 日には全般に雨となり、1 時間に 10 ミリ前後のやや強い雨の降る所(日応寺 9 ミリ: 5 日 7 時 00 分、岡山 11.5 ミリ: 5 日 6 時 38 分)があった。県内の 5 日の降水量は県南部を中心に多い所で 10 ミリ前後、県北部を中心に 10 ミリ ~ 20 ミリ、多い所で 40 ミリの所があった。

その後、上空に寒気が流れ込み、6 日から 7 日にかけて県北部の山地を中心にまとまった雨となった。6 日の日降水量では 10 月の日降水量の上位を更新する所(上長田 6 位: 91 ミリ、恩原 5 位: 94 ミリ)があり、6 日から 7 日にかけての降水量は上長田 110 ミリ、恩原 119 ミリ、千屋 57 ミリ、富 63 ミリであった。また、6 日には 1 時間に 10 ミリを超えるやや強い雨の降る所(上長田 13 ミリ: 16 時 50 分、恩原 10 ミリ: 14 時 50 分)があった。

< 10 月上旬: 急速に発達した低気圧により、県内北よりの強風 >

10 月 5 日に本州南岸に停滞した前線上に低気圧が発生し、急速に発達しながら本州の太平洋沿岸を進み、7 日夜には三陸沖に達した。県内では 6 日から 7 日にかけて上空に寒気が流れ込み、県内全域で 6 日昼頃から 7 日にかけて北よりの風が強まり、県内各地のアメダス観測所では 5 ㍎ ~ 7 ㍎、強い所で 10 ㍎前後の所があり、10 月の日最大風速の歴代記録の上位を更新する所があった。

岡山では 6 日の最大風速 北北西の風 11.2 ㍎(14 時 20 分)、最大瞬間風速 北北西の風 21.6 ㍎(14 時 44 分: 10 月の日最大瞬間風速の歴代 10 位)、7 日の最大風速 北北西の風 12.1 ㍎(11 時 10 分)、最大瞬間風速 北西の風 21.8 ㍎(10 時 53 分: 10 月の日最大瞬間風速の歴代 9 位)を、津山では 6 日の最大風速 北西の風 4.0 ㍎(17 時 20 分)、最大瞬間風速 北北西の風 12.1 ㍎(21 時 20 分)、7 日の最大風速 北西の風 4.6 ㍎(7 時 20 分)、最大瞬間風速 西の風 14.3 ㍎(6 時 32 分)を観測した。

< 10 月中旬: 高温、少雨、多照 >

10 月中旬は高気圧に覆われて晴れる日が多く、日中の気温が平年を上回り、9 月中旬から下旬並みの最高気温の日があり、県南部を中心に夏日¹¹⁾の日が多かった。また、高気圧に覆われた早朝は放射冷却のため、気温が平年を下回る所があり、県北部では 10 月下旬並みの最低気温の所があった。

このため、県内の 10 月中旬の平均気温は平年より高く、平年より 2 前後高い所が多く、最高気温は平年より 2.5 ~ 4 程度高く、最低気温は平年より 1 ~ 2 程度高い所が多かった。また、中旬の降水量がほとんどない所が多く、日照時間は平年より多く、平年の 130% ~ 150% の所が多かった。

< 10 月下旬: 高温・少雨・多照 >

10 月下旬は、低気圧や前線の影響で雨の降る日や寒気の影響で県北部を中心に雲の広がる日があったが、その他の日は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

このため、下旬の平均気温は平年よりかなり高い所が多く、平均気温が平年より 3 前後高く、最高気温が平年より 3 ~ 4 高く、最低気温が平年より 3 前後高く、9 月下旬から 10 月上旬並みの気温の日があった。

下旬の降水量は平年より少ない所が多く、県北西部を中心に平年の 70% ~ 80%、県南部を中心に 20% ~ 40%の所が多かった。下旬の日照時間は平年より多い所が多く、平年の 110% ~ 120%の所が多かった。

< 台風第 15 号 >

台風第 15 号は、9 月 26 日 9 時フィリピンの東で発生し、27 日 9 時フィリピンの東、29 日 9 時南シナ海に進み、10 月 2 日 9 時にタイで熱帯低気圧となった。

< 台風第 16 号 >

台風第 16 号は、10 月 3 日 9 時フィリピンの東で発生し、5 日 9 時南大東島の東南東に進み、6 日 9 時に伊豆諸島近海で熱帯低気圧になった。

< 台風第 17 号 >

台風第 17 号は、10 月 3 日 21 時南鳥島近海で発生し、5 日 9 時南鳥島近海に進み、6 日 15 時に日本の東で熱帯低気圧となった。

< 台風第 18 号 >

台風第 18 号は、10 月 10 日 3 時南鳥島の南で発生し、12 日 9 時父島の南、13 日 9 時父島の南南西、15 日 9 時父島の西北西、16 日 9 時日本の東に進み、16 日 21 時に日本のはるか東で温帯低気圧となった。

< 生物季節観測 >

10 月 9 日に、ススキの開花 (後樂園) を観測した。平年は 9 月 10 日、昨年は 9 月 28 日。

11 月 < 高温、県南部を中心に多雨・日照不足 >

平均気温は「平年より高い」~「平年よりかなり高い」。

降水量は県中部を中心に「平年並」、他の地域は「平年より多い」。

日照時間は県北部を中心に「平年並」、県南部を中心に「平年より少ない」。

11 月は、月平均気温は平年より高く、県南部を中心に月降水量が平年より多く、月間日照時間が平年より少ない所があり、11 月の県内は高温、県南部を中心に多雨・日照不足となった。

11 月は寒気の南下は一時的で、中旬後半から下旬にかけて南海上の暖かい空気の影響で気温が平年より高かった。また、低気圧が周期的に日本付近を通過し、短い周期で天気が変わり、県内はまとまった雨の降る日があった他、上旬と中旬には強い寒気の南下のため、県内では西よりの風が強まった日があった。このため、県内各地のアメダス観測所では月平均気温の高い記録の上位を更新する所、県南部を中心に月降水量の多い記録の上位を更新する所や月間日照時間の少ない記録の上位を更新する所があった。

11 月上旬は、7 日に日本海から寒冷前線が南下した後一時的に冬型の気圧配置となり、上空に強い寒気が流れ込み、県内では西よりの風が強まり、気温が平年を大きく下回った。8 日は高気圧に覆われて早朝放射冷却のため、県北部では最低気温が氷点下となる所があった。他の日は高気圧に覆われて概ね晴れる日が多く、降水量が平年より少なく、日照時間が平年より多かった。また、朝のうちを中心に所々で霧の発生する日があった。

11 月中旬は、短い周期で天気が変わり、低気圧が通過した後一時的に冬型の気圧配置となり、上空に強い寒気が流れ込み、風が強まり、気温が平年を下回り 12 月中旬並みの日があった。また、中旬の終わり頃には前線や低気圧の影響で、県中部を中心にこの時期としてはややまとまった雨となった。このため、県内の中旬の降水量は県南部を中心に平年をかなり上回る所が多かった。

11 月下旬は、南海上からの暖かい空気の影響で、気温が平年を上回る日が多く、また短い周期で低気圧や前線の影響を受けた。このため、県内の平均気温は平年よりかなり高く、降水量は県南部を中心に平年より多く、日照時間は県南部を中心に平年よりかなり少なかった。

< 11 月 : 高温、県南部を中心に多雨・日照不足 >

11 月は、寒気の南下は一時的で、中旬後半から下旬にかけて南海上の暖かい空気の影響を受けた。また、低気圧が周期的に日本付近を通過し、短い周期で天気が変わり、県内ではまとまった雨の降る日があった。このため、県内の 11 月は高温、県南部を中心に多雨・日照不足となった。

県内の 11 月の月平均気温は平年より高く、平年より 1 から 1.5 程度高い所が多く、岡山では月平均気温の高い歴代 4 位 (13.7、平年 12.1、これまでの最高は 2003 年 11 月の 14.3、統計開始 1891 年) を、津山では高い歴代 9 位 (10.5、平年 9.0、これまでの最高は 2003 年 11 月の 11.9、統計開始 1943 年) を更新した。県内各地のアメダス観測所でも月平均気温の高い歴代記録の上位を更新する所 (上長田 5 位 : 8.8、千屋 5 位 : 7.8、奈義 7 位 : 9.8、今岡 8 位 : 9.9、久世 4 位 : 10.4、新見 8 位 : 8.9、福渡 8 位 : 10.4、和気 9 位 : 10.6、高梁 6 位 : 11.0、虫明 8 位 : 12.3、倉敷 4 位 : 12.9、笠岡 7 位 : 12.6、玉野 3 位 : 14.2) があった。

県内の 11 月の月降水量は県中部を除き平年より多く、平年の 120% から 140% の所が多く、県内各地のアメダス観測所では月降水量の多い歴代記録の上位を更新する所 (上長田 5 位 : 178^{mm}、奈義 10 位 : 78^{mm}、新見 10 位 : 72^{mm}、下皆部 10 位 : 77^{mm}、天子山 8 位 : 81^{mm}、陣山 8 位 : 85^{mm}、福渡 10 位 : 70^{mm}、和気 10 位 : 75^{mm}、高梁 10 位 : 82^{mm}、佐屋 9 位 : 86^{mm}、矢掛 10 位 : 66^{mm}、虫明 10 位 : 68^{mm}、倉敷 10 位 : 59^{mm}、笠岡 9 位 : 68^{mm}、玉野 10 位 : 60^{mm}) があった。

また、県内の 11 月の月間日照時間は県南部を中心に平年より少なく、平年の 90% から 95% の所が多く、県内各地のアメダス観測所では月間日照時間の少ない歴代記録の上位を更新する所 (千屋 6 位 : 96.7 時間、奈義 6 位 : 112.2 時間、福渡 10 位 : 117.5 時間、虫明 6 位 : 116.6 時間、倉敷 5 位 : 137.4 時間、玉野 4 位 : 142.6 時間) があった。

11 月の岡山の夏日¹¹⁾ 0 日 (平年 0.1 日)、冬日⁹⁾ 0 日 (平年 0.8 日)、津山の夏日¹¹⁾ 0 日 (平年 0.0 日)、冬日⁹⁾ 0 日 (平年 4.0 日) であった。

< 11 月上旬 : 少雨・多照 >

11 月上旬は、中頃と終わりに前線の影響を受けて雨の降る所があったが、他の日は高気圧に覆われて晴れる日が多く、上旬の降水量は平年より少なく、日照時間が平年より多かった。

このため、上旬の降水量は県北部を中心に平年の 20% ~ 50% の所が多く、県南部では多い所で 30% 前後、県南東部を中心に平年の 5% 程度であった。上旬の日照時間は平年の 130% 前後の所が多かった。

また、上旬の平均気温は県中部を中心に平年並みの所が多かったが、県内は平年より 0.5 ~ 1.5 高い所が多かった。

< 11 月上旬 : 強い寒気の流れ込みによる強風、12 月上旬並みの気温と冬日 >

11 月 6 日に朝鮮半島付近に発達中の低気圧があり、この低気圧が急速に発達しながら日本海を北東に進み、7 日には北海道の西海上に進んだ。この低気圧の通過した後、日本付近の上空約 5500 ㍎に氷点下 33 以下の強い寒気の流れ込み、一時的に冬型の気圧配置となった。

このため、県内では 6 日宵のうちから県南部沿岸地域を中心に西よりの風がやや強まり、7 日明け方からは県内全域で西よりの風が強まった。県内の最大風速は、6 日に県南部沿岸地域の強い所で 5 ㍎前後、7 日には県南部沿岸地域の強い所で 10 ㍎を超える所があり、県北部の強い所で 6 ㍎前後の所が多かった。

7 日には岡山の最大風速 西の風 16.5 ㍎ (11 月の日最大風速の歴代 1 位、これまでの最大は 1998 年 11 月 17 日の西の風 15.3 ㍎、統計開始 1891 年)、日最大瞬間風速 西の風 25.6 ㍎ (11 月の日最大瞬間風速の歴代 2 位、これまでの最大は 1982 年 11 月 29 日の東南東の風 26.0 ㍎、統計開始 1940 年) を、津山の日最大風速 西南西の風 6.8 ㍎、日最大瞬間風速 西南西の風 18.6 ㍎を記録した。県内各地のアメダス観測所では日最大風速の歴代上位を更新する所 (新見 1 位、上長田 2 位、久世 1 位、高梁 9 位、倉敷 2 位、福渡 2 位、虫明 1 位、和気 2 位) があった。

また、一時的に冬型の気圧配置となった 7 日は、日中の気温が上がらず、12 月上旬並みの気温となった。県内各地のアメダス観測所では、7 日の最高気温が午前 3 時前後に、7 日 15 時までの最低気温が昼前から昼過ぎにかけて記録する所が多かった。8 日には移動性高気圧に覆われて概ね晴れ、放射冷却のため 8 日早朝の最低気温が 12 月上旬並みとなり、県北部の一部では冬日となった。

< 11 月中旬：多雨 >

11 月中旬は短い周期で天気が変わり、低気圧が通過した後、11 日には一時的に冬型の気圧配置となり、強い寒気が流れ込み、県北部の降水量が多い所で 40 ミリの所があった。また、東シナ海に停滞した前線上に低気圧が発生し、19 日に四国の南海上を北東に進んだため、18 日から 19 日にかけて県中部を中心に降水量が 40 ミリを超える所があった。

このため、中旬の降水量は県南部を中心に平年よりかなり多く、県南部を中心に平年の 250% から 350% の所が多く、県北部を中心に 180% から 250% の所が多かった。

< 11 月中旬：急速に発達した低気圧の影響で強風とややまとまった雨 >

11 月 10 日にオホーツク海の低気圧からのびる寒冷前線が日本海にあり、夕方から活動を強めた。11 日には低気圧が九州北部と日本海にあって、2 つの低気圧が三陸沖でひとつとなり急速に発達しながら北東に進んだ。上空約 5500 ㍎付近には氷点下 30 以下の強い寒気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。

このため、県内では 10 日は南よりの風から北よりの風が変わり、夕方から北よりの風がやや強まり、県内強い所で 5 ㍎前後の所があった。その後 11 日昼過ぎから 12 日夕方まで北よりの風が強まり、県内では北よりの風 5 ㍎前後の所が多く、強い所で 10 ㍎前後の所があった。

11 日の岡山では最大風速 北北西の風 9.1 ㍎ (16 時 10 分)、最大瞬間風速 北の風 17.4 ㍎ (18 時 23 分) を、津山では北西の風 3.3 ㍎ (21 時 10 分)、最大瞬間風速 北西の風 10.4 ㍎ (21 時 56 分) を観測し、12 日の岡山では最大風速 北北西の風 10.9 ㍎ (11 時 20 分)、最大瞬間風速 北北西の風 15.7 ㍎ (11 時 33 分) を、津山では最大風速 西北西の風 4.1 ㍎ (10 時 00 分)、最大瞬間風速 北西の風 14.4 ㍎ (9 時 56 分) を観測した。

県内では 10 日夜遅くから雨の降る所があり、11 日昼過ぎまで断続的に続いた。県内の 10 日から 11 日の降水量は 20 ミリ前後、県北部の多い所で 40 ミリの所があり、この時期としてはややまとまった雨となった。

また、岡山地方気象台では 10 日 22 時 40 分過ぎから雷光を観測し、10 日 23 時 15 分から 11 日 2 時 30 分過ぎまで断続的に雷電を観測した。

< 11 月中旬：四国の南海上を通過した低気圧によるややまとまった雨 >

東シナ海に停滞した前線上に低気圧が発生し、19 日に四国の南海上を北東に進んだ。このため、県内では 18 日昼過ぎから断続的に雨の降る所があり、19 日朝のうちから全般に雨となった。県内の 18 日の降水量は県南部を中心に 10 ミリ前後、県北部を中心に 5 ミリ前後、19 日の降水量は県中部を中心に 30 ミリ前後、他の地域では 15 ミリ前後であり、18 日から 19 日にかけての降水量が県中部では 40 ミリを超える所があり、この時期としてはややまとまった雨となった。

< 11 月下旬：高温、県南部を中心に多雨・日照不足 >

11 月中旬後半から下旬にかけて南海上からの暖かい空気の影響で、気温が平年を上回る日が多かった。このため、県内の下旬の平均気温は平年よりかなり高く、平年より 2.5 から 3 程度高い所が多かった。

また、短い周期で低気圧や前線の影響を受けて、県内の下旬の降水量は県中部を中心に平年の 90% 前後であったが、県南部を中心に平年より多く、平年の 120% 前後の所が多く、日照時間は県南部を中心に平年の 60% から 80%、県北部を中心に平年の 80% 前後の所が多かった。

< 台風第 19 号 >

台風第 19 号は、10 月 27 日 15 時フィリピンの東で発生し、29 日 9 時フィリピンの東、31 日 9 時南シナ海、11 月 1 日 9 時南シナ海北部、3 日 9 時南シナ海北部、5 日 9 時南シナ海北部に進み、6 日 9 時に南シナ海北部で熱帯低気圧となった。

< 台風第 20 号 >

台風第 20 号は、11 月 9 日 21 時フィリピンの東で発生し、11 日 9 時ルソン島、13 日 9 時南シナ海北部、14 日 15 時に南シナ海で熱帯低気圧となった。

< 生物季節観測 >

11 月 25 日に、イチョウの黄葉 (後楽園) を観測した。平年は 11 月 14 日、昨年は 11 月 29 日。

11 月 27 日に、イロハカエデの紅葉 (後楽園) を観測した。平年は 11 月 26 日、昨年は 11 月 17 日。

12 月 < 高温・多雨・日照不足、下旬の大雪 >

平均気温は「平年より高い」、新見・虫明・笠岡は「平年並」。

降水量は県南部を中心に「平年より多い」～「平年よりかなり多い」、県北部を中心に「平年並」～「平年より多い」。

日照時間は「平年よりかなり少ない」～「平年より少ない」、県北東部を中心に「平年並」～「平年より多い」。

12 月は、上旬前半と中旬後半に冬型の気圧配置となり寒気が南下し、一時的に気温が平年を下回り、中旬後半にはこの冬初めて県北部で積雪を観測した。下旬後半にも冬型の気圧配置となり、強い寒気が流れ込み、県内では 28 日から 29 日にかけて荒れた天気となり、県北部を中心に断続的に降雪が続き、12 月の最深積雪の上位を更新する大雪となり、県北部では真冬日となる所があった。

12 月は周期的に寒気が南下し冬型の気圧配置となったが、他の日は寒気の南下は小さく、暖かな日が続く、月平均気温は平年より高い所が多かった。また、南岸を低気圧や前線が通ることが多く、曇りや雨の日が多かったことから、月降水量が平年より多い所や月間日照時間が平年より少ない所が多かった。

12 月上旬は、旬の前半に冬型の気圧配置となる日があり、気温が平年を下回り、12 月下旬から 1 月中旬並みの冷え込みとなった。旬の後半は低気圧や前線の影響を受けて、県南部を中心にややまとまった雨の降る日があった。このため、上旬の平均気温は県南部を中心に平年より低く、降水量は県南部を中心に平年よりかなり多かった。

12 月中旬は、旬前半を中心に低気圧や前線の影響を受けて、南から暖かい空気が流れ込み、曇りや雨の日が多く、旬前半を中心に平均気温が平年より高く、降水量が県南部を中心に平年より多く、日照時間が平年より少なかった。旬後半には強い寒気が流れ込み一時的に冬型の気圧配置となり、この冬初めて県北部で積雪を観測し、その後高気圧に覆われて概ね晴れた。このため、12 月中旬前半を中心に、平均気温は平年より高く、降水量は県南部を中心に平年より多く、日照時間は県東部を中心に平年より少なかった。

12 月下旬は、下旬前半を中心に高気圧に覆われて晴れ、下旬前半の気温は平年を上回る日が多かった。下旬後半は強い冬型の気圧配置となり、強い寒気が流れ込み、28 日から 29 日にかけて荒れた天気となった。28 日には県内強い風が吹く所があり、29 日には県北部のアメダス観測所では月最深積雪³⁾の上位を更新する大雪となった。

< 12 月 : 高温・多雨・日照不足、下旬の大雪 >

12 月は、上旬・中旬・下旬と周期的に寒気が南下し冬型の気圧配置となったが、他の日は寒気の南下が小さく、暖かな日が続いた。また、南岸を低気圧や前線が通ることが多く、曇りや雨の日が多かった。中旬の寒気の南下では県北部のアメダス観測所でこの冬初めて積雪を観測し、下旬の寒気の南下では 12 月の月最深積雪の上位を更新する大雪となった。

このため、県内の 12 月の月平均気温は平年より高い所が多く、平年より 0.5 から 1 高い所が多かった。岡山では 12 月の月平均気温の高い歴代 7 位 (8.0、平年は 7.0、これまでの最高は 1998 年 12 月の 9.0、統計開始 1891 年) を更新し、県内各地のアメダス観測所でも高い歴代記録の上位を更新する所 (上長田 7 位 : 3.3、千屋 6 位 : 2.7、奈義 9 位 : 4.4、今岡 7 位 : 4.5、久世 8 位 : 4.8、福渡 8 位 : 5.1、和気 7 位 : 5.4、高梁 8 位 : 5.4、虫明 10 位 : 6.9、倉敷 7 位 : 7.3、笠岡 10 位 : 7.0、玉野 7 位 : 8.6) があった。

県内の 12 月の月降水量は平年より多い所が多く、県南部を中心に平年の 200% 以上の所が多く、県南部沿岸地域では平年の 260% 超える所があった。県北部では平年の 100% 前後の所が多く、県北東部を中心に平年の 80% 程度の所 (恩原 74%、今岡 78%) があった。県内各地のアメダス観測所では、県南部を中心に 112 月の月降水量の多い歴代上位を更新する所 (周匝 9 位 : 44^{mm}、福渡 8 位 : 45^{mm}、和気 6 位 : 47^{mm}、高梁 7 位 : 47^{mm}、矢掛 2 位 : 55^{mm}、虫明 3 位 : 53^{mm}、倉敷 2 位 : 59^{mm}、笠岡 2 位 : 59^{mm}、玉野 2 位 : 68^{mm}) や、県北東部を中心に 12 月の月降水量の少ない歴代上位を更新する所 (恩原 6 位 : 116^{mm}) があった。

県内の 12 月の月間日照時間は平年より少ない所が多く、県南部を中心に平年の 85% から 90% 程度の所が多く、県北東部を中心に 100% 前後の所があった。県内各地のアメダス観測所では、県南部を中心に 12 月の月間日照時間の少ない歴代記録の上位を更新する所 (千屋 6 位 : 70.1 時間、新見 9 位 : 106.7 時間、

福渡 3 位 : 102.0 時間、和気 3 位 : 121.4 時間、虫明 3 位 : 118.4 時間、倉敷 3 位 : 131.2 時間、笠岡 6 位 : 142.7 時間、玉野 3 位 : 135.0 時間) があり、県北部を中心に 12 月の月間日照時間の多い歴代記録の上位を更新する所 (上長田 2 位 : 80.1 mm、奈義 7 位 : 110.8 時間、今岡 4 位 : 114.2 時間、久世 8 位 : 89.4 時間、高梁 10 位 : 90.9 時間) があった。

12 月の岡山の冬日⁹⁾1 日 (平年 7.6 日)、真冬日¹⁰⁾0 日 (平年 0.0 日)、津山の冬日⁹⁾10 日 (平年 18.6 日)、真冬日¹⁰⁾0 日 (平年 0.0 日) であった。

< 12 月上旬 : 県南部を中心に低温・多雨 >

12 月上旬は、旬前半は冬型の気圧配置となる日があり、旬後半は四国の南海上を低気圧が通過し、寒気の影響を受けて、平均気温は県南部を中心に平年より低く、県内各地のアメダス観測所では県南部を中心に平年より 0.5 前後低い所が多かった。

また、旬後半を中心に低気圧や前線の影響を受けて、7 日には県南部を中心に 20 ミリの前後の雨の降る日があり、県内の降水量は県南部を中心に平年よりかなり多く、県内各地のアメダス観測所では県南部を中心に平年の 300% から 500% の所が多かった。

< 12 月上旬 : 強い寒気の流れ込みによるやや強い風、真冬並みの冷え込みと冬日、初氷 >

12 月 2 日に日本海の低気圧からのびる寒冷前線が通過した後、日本付近の上空約 5400 ㍍に氷点下 30 以下の強い寒気の流れ込み、冬型の気圧配置となった。

このため、県内では 2 日昼過ぎから西よりの風が強まり、県北部を中心に 5 ㍍前後、県南部を中心に 8 ㍍前後のやや強い風が吹いた。3 日には日中を中心に西よりの風がやや強まり、県北部を中心に 5 ㍍前後、県南部を中心に 6 ㍍前後のやや強い風が吹いた。

2 日には岡山で最大風速 北西の風 12.5 ㍍ (17 時 50 分)、最大瞬間風速 北西の風 17.5 ㍍ (17 時 46 分)、津山では最大風速 西南西の風 4.2 ㍍ (17 時 00 分)、最大瞬間風速 西北西の風 11.7 ㍍ (14 時 48 分) を、3 日には岡山で最大風速 西の風 9.2 ㍍ (12 時 40 分)、最大瞬間風速 西の風 14.3 ㍍ (15 時 20 分) を、津山では最大風速 西の風 3.8 ㍍ (12 時 20 分)、最大瞬間風速 西の風 11.9 ㍍ (12 時 17 分) を観測した。

また、3 日には強い寒気の流れ込みにより日中の気温が上がらず、県内各地のアメダス観測所では 3 日と 4 日の最高気温が 12 月下旬から 1 月中旬並みの所が多く、3 日から 5 日にかけては最低気温が放射冷却も加わり県内各地のアメダス観測所の多くで冬日⁹⁾となり、5 日には県北部では氷点下 5 を下回る所があった。

岡山地方气象台では 5 日初氷 (平年 12 月 13 日、昨年 12 月 5 日) を観測した。

< 12 月中旬前半 : 高温、県南部を中心に多雨、県東部を中心に日照不足 >

12 月中旬は、旬前半を中心に低気圧や前線の影響を受けて、南から暖かい空気が流れ込み、曇りや雨の日が多く、県内の旬前半の平均気温は平年より高く、平年より 2 前後高く、降水量は県南部を中心に平年より多く、県南部を中心に平年の 250% ~ 350% の所が多く、日照時間は平年より少なく、平年の 50% 前後の所が多かった。

中旬後半は強い寒気の流れ込み一時的に冬型の気圧配置となった後、高気圧に覆われて晴れる日が多く、県内の旬後半の平均気温は平年並み、降水量は県南部を中心に平年より少なく、日照時間は平年より多くなった。

このため、県内の 12 月中旬の平均気温は平年より 1 ~ 1.5 高く、降水量は県南部を中心に平年の 200% ~ 220% の所が多く、日照時間は県東部を中心に平年の 80% 前後の所が多かった。

< 12 月中旬 : 強い寒気の流れ込みによるやや強い風、積雪と冬日 >

12 月 16 日に日本海と日本の南海上を低気圧が通過した後、17 日夜には上空約 5500 ㍍で氷点下 30 の強い寒気の流れ込み、強い冬型の気圧配置となった。

県内では、県南部では 17 日朝のうちから、県北部では 17 日昼前から、やや強い西よりの風となり宵のうちまで断続的に続いた。県内各地のアメダス観測所では西よりの風 6 ㍍前後の所が多く、強い所で 10 ㍍を超える所があった。17 日の岡山では最大風速 西北西の風 10.6 ㍍ (15 時 00 分)、最大瞬間風速 西北西の風 18.0 ㍍ (14 時 54 分) を、津山では最大風速 西北西の風 6.2 ㍍ (16 時 20 分)、最大瞬間風速 西の風 13.5 ㍍ (16 時 21 分) を観測した。

県北部の山地では強い寒気の流れ込んだ 17 日夜から 18 日朝のうちにかけて降雪があった。県北部のア

メダス観測所ではこの冬初めて積雪を観測し、最深積雪は 17 日に上長田 10 ㍉、千屋 0 ㍉、18 日に上長田 11 ㍉、千屋 14 ㍉であった。

また、17 日と 18 日は県北部を中心に、19 日と 20 日には放射冷却のため、最低気温が氷点下 (冬日⁹⁾) となる所が多くあった。

< 12 月下旬：下旬前半を中心に気温が平年を上回る >

12 月下旬は前半を中心に高気圧に覆われて晴れ、気温が平年を上回る日が多かった。このため、県内各地のアメダス観測所では 12 月下旬前半の平均気温は平年より 1.5 から 2.5 程度高い所が多かった。一方、下旬後半は強い冬型の気圧配置となり、気温が平年を下回る日があり、下旬後半の平均気温は平年より 1 前後低い所が多かった。

< 12 月下旬：強い寒気の流れ込みによる強風と大雪、低温 >

九州の南の前線を伴った低気圧が発達しながら北東に進み、12 月 26 日夜から 27 日にかけて急速に発達しながら関東地方の沿岸付近を通って、東北地方の太平洋沿岸を進んだ。この低気圧はその後発達を続けながら北海道の東海上に進み、日本付近は冬型の気圧配置となり、29 日にかけて上空 5500 ㍉に氷点下 30 以下の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まった。

県内では、27 日日中から次第に西よりの風が強まり、28 日から 29 日にかけて日中を中心に 6 ㍉前後、強い所で 10 ㍉を超える強い風を観測し、12 月の日最大風速の歴代上位を更新する所があった。27 日には、岡山の最大風速 西北西の風 11.1 ㍉ (19 時 00 分)、最大瞬間風速 西南西の風 16.6 ㍉ (12 時 38 分)、津山の最大風速 北西の風 4.0 ㍉ (6 時 50 分)、最大瞬間風速 西北西の風 12.2 ㍉ (6 時 20 分) を、28 日には岡山の最大風速 西北西の風 14.0 ㍉ (12 時 30 分)、最大瞬間風速 西北西の風 22.5 ㍉ (16 時 39 分)、津山の最大風速 西北西の風 7.3 ㍉ (12 時 20 分)、最大瞬間風速 西の風 16.2 ㍉ (12 時 11 分) を、29 日には岡山の最大風速 西北西の風 10.8 ㍉ (13 時 40 分)、最大瞬間風速 西北西の風 18.1 ㍉ (13 時 42 分)、津山の最大風速 西の風 6.1 ㍉ (10 時 30 分)、最大瞬間風速 西南西の風 11.9 ㍉ (10 時 56 分) を観測した。

28 日から 29 日にかけて県内では断続的に降雪が続いた。県北部の最深積雪は、28 日に上長田 11 ㍉、千屋 8 ㍉、今岡 0 ㍉、津山 0 ㍉、29 日に上長田 43 ㍉ (12 月の月最深積雪の歴代 5 位)、千屋 33 ㍉ (12 月の月最深積雪の歴代 5 位)、今岡 22 ㍉ (12 月の月最深積雪の歴代 4 位)、津山 19 ㍉ (12 月の月最深積雪の歴代 3 位) を観測した。

また、29 日には日中の気温が上がらず、真冬並みの気温となった。29 日に県内各地のアメダス観測所のほとんどでは最低気温が氷点下 (冬日⁹⁾) を観測し、千屋では最高気温が氷点下 (真冬日¹⁰⁾) となった。

岡山地方気象台では、29 日に初雪を観測した (平年 12 月 16 日、昨年 12 月 12 日)。

< 台風第 21 号 >

台風第 21 号は、11 月 26 日 15 時マリアナ諸島で発生し、28 日 9 時フィリピンの東、30 日 9 時フィリピンの東、12 月 1 日 9 時マニラの南西、3 日 9 時南シナ海に進み、5 日 21 時に南シナ海で熱帯低気圧となった。

< 台風第 22 号 >

台風第 22 号は、12 月 8 日 3 時フィリピンの東で発生し、10 日 9 時マニラの南南東、12 日 9 時南シナ海、14 日 9 時南シナ海に進み、14 日 15 時に南シナ海で熱帯低気圧となった。

< 台風第 23 号 >

台風第 23 号は、12 月 17 日 21 時フィリピンの東で発生し、19 日 9 時にフィリピンの東で熱帯低気圧となった。

< 生物季節観測 >

12 月 1 日に、イチヨウの落葉 (後楽園) を観測した。平年は 11 月 28 日、昨年は 12 月 4 日。

12 月 4 日に、イロハカエデの落葉 (後楽園) を観測した。平年は 12 月 10 日、昨年は 12 月 5 日。

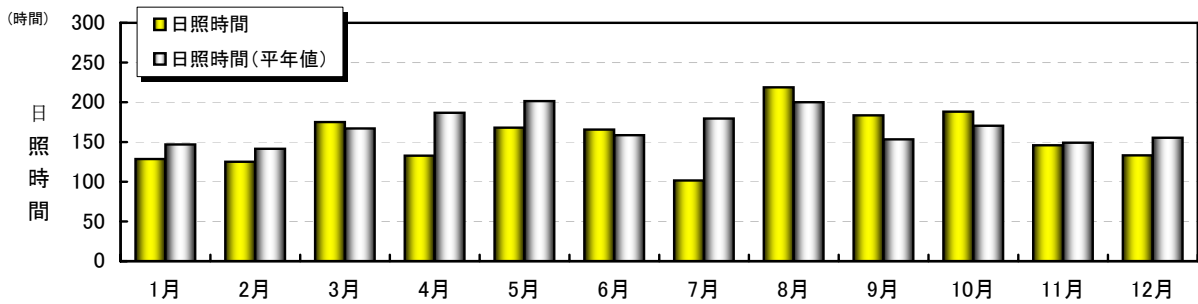
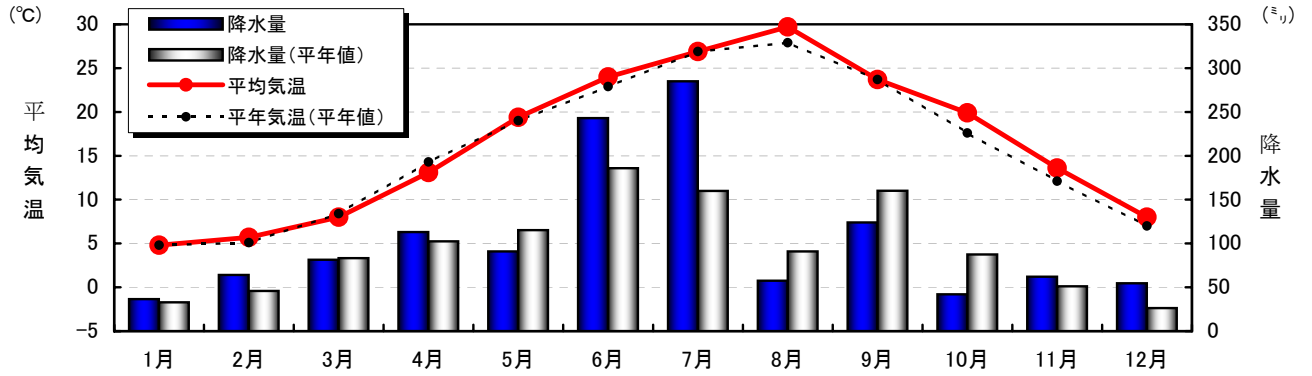
用語などの説明

1) 暖冬：冬 (12 月～2 月) の平均気温が 3 階級表現 (低い・平年並・高い) で「高い」冬のこと。

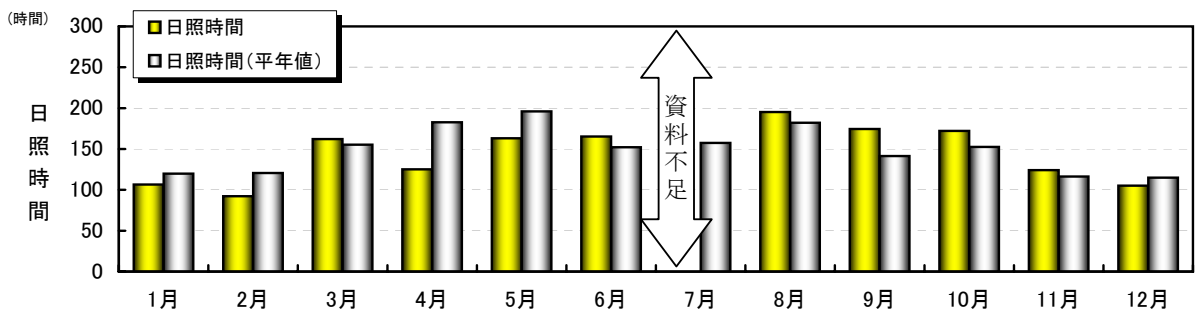
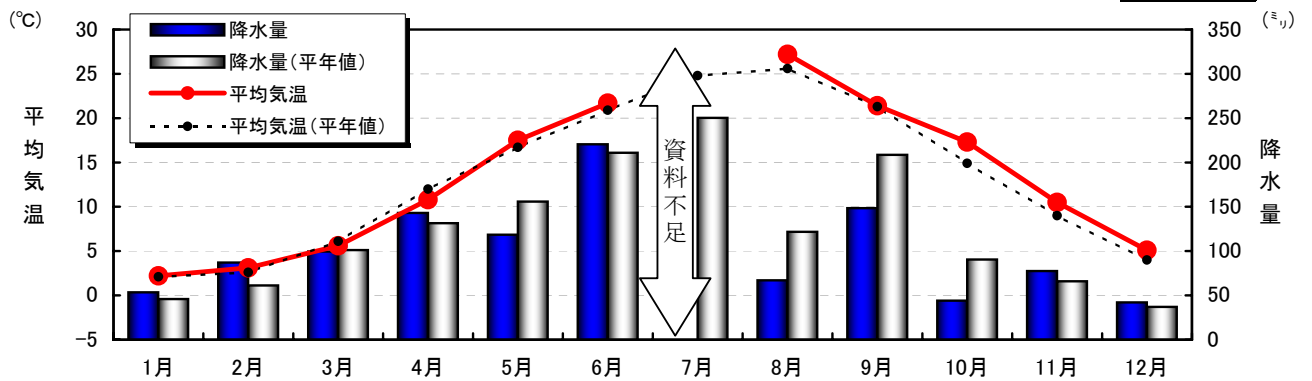
- 2) 寒冬：冬(12月~2月)の平均気温が3階級表現(低い・平年並・高い)で「低い」冬のこと。
- 3) 最深積雪：積雪の深さの最大値
- 4) 春一番：気象庁では、立春から春分までの間に、広い範囲(地方予報区くらい)で初めて吹く、暖かく(やや)強い南よりの風としている。
- 5) 桜の開花：桜(ソメイヨシノ)の花が5~6輪以上開いた状態。
- 6) 桜の満開：桜(ソメイヨシノ)の花が咲きそろった時の約80%以上が咲いた状態。
- 7) 黄砂：主として大陸の黄土地帯で吹き上げられた多量の砂じんが空中を浮遊して流され徐々に降下する現象。
- 8) 梅雨：春から夏に移る過程で、ある期間、その前後に比較して雨が多くなり、日照時間が少なくなるような季節現象をいう。
梅雨入り：それ以前に比べて雨の日が増え、日照時間が少なくなる期間の始まり。
梅雨明け：その前の期間に比べて、雨の日が減り、日照時間が多くなってきた頃。
- 9) 冬 日：日最低気温が0 未満の日。
- 10) 真冬日：日最高気温が0 未満の日。
- 11) 夏 日：日最高気温が25 以上の日。
- 12) 真夏日：日最高気温が30 以上の日。
- 13) 熱帯夜：夜間の最低気温が25 以上のこと。

平成18年気象変化図

岡山

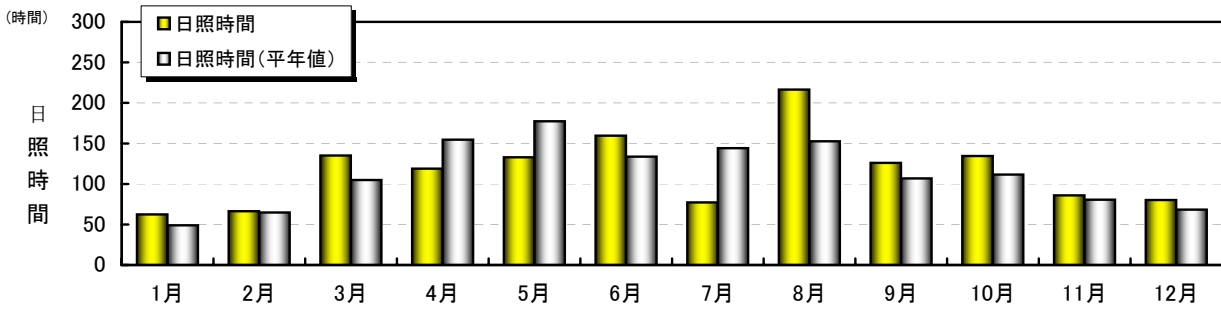
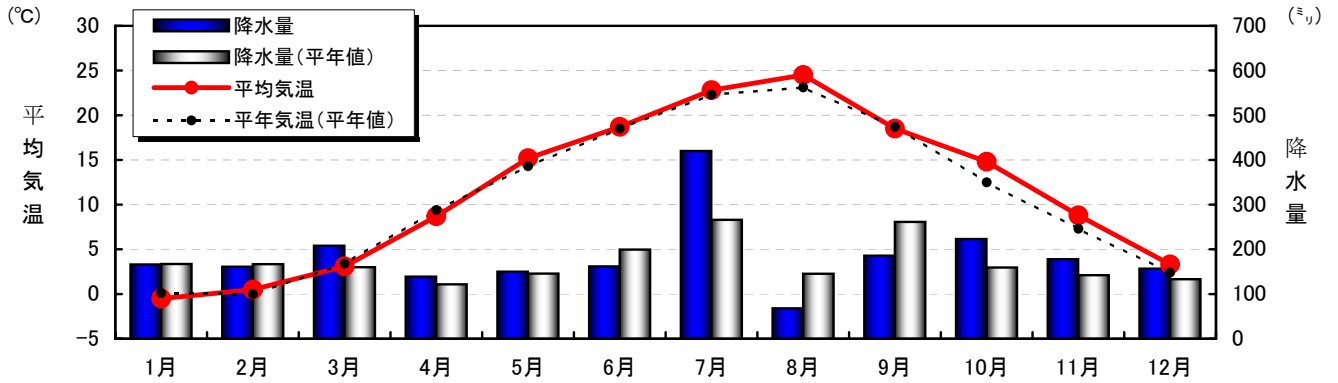


津山

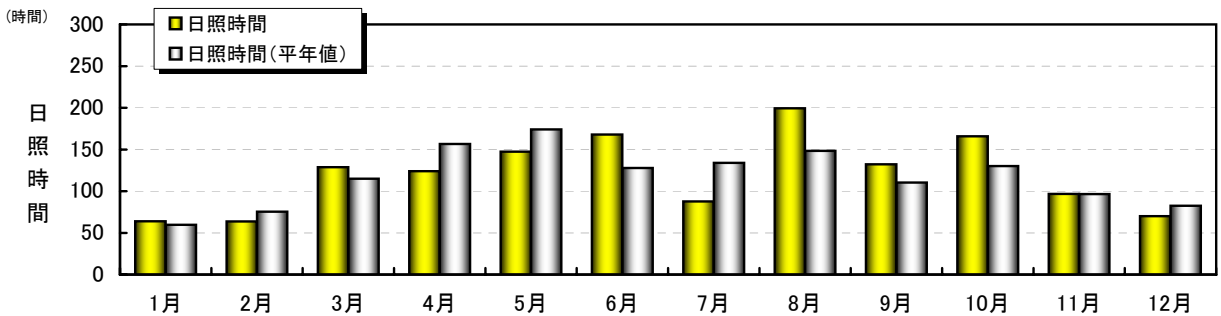
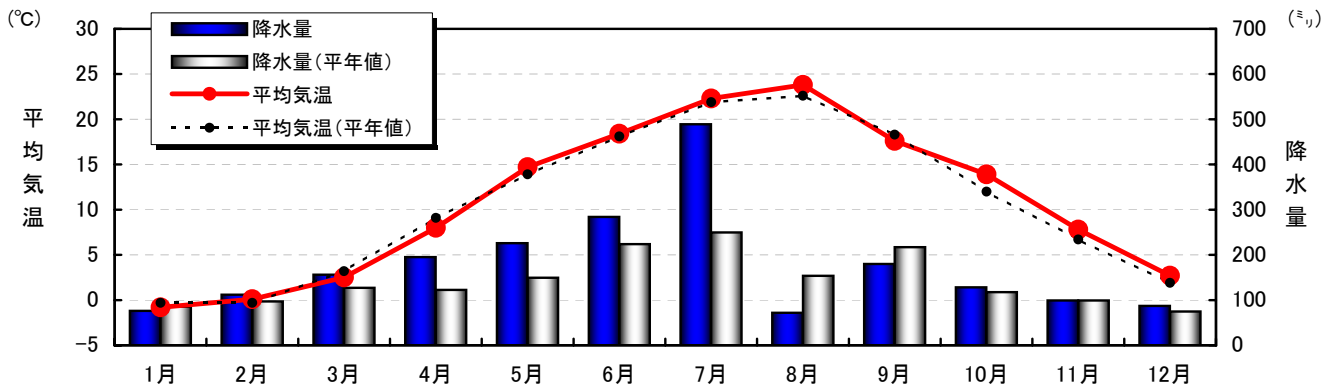


平成18年気象変化図

上長田

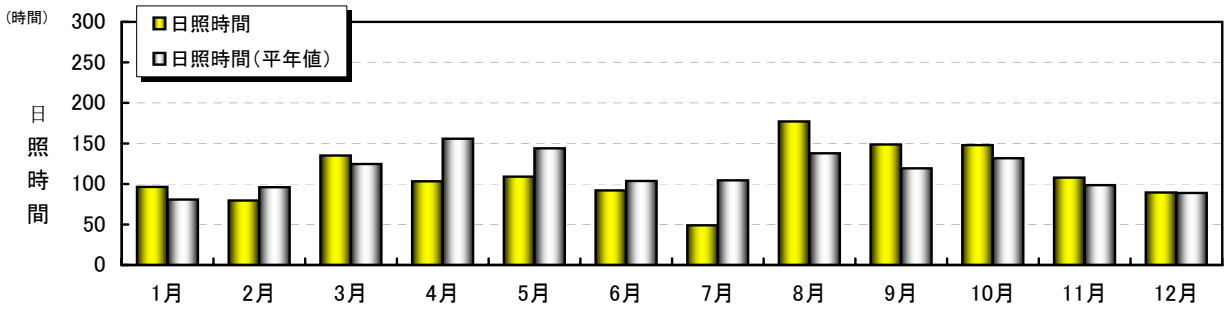
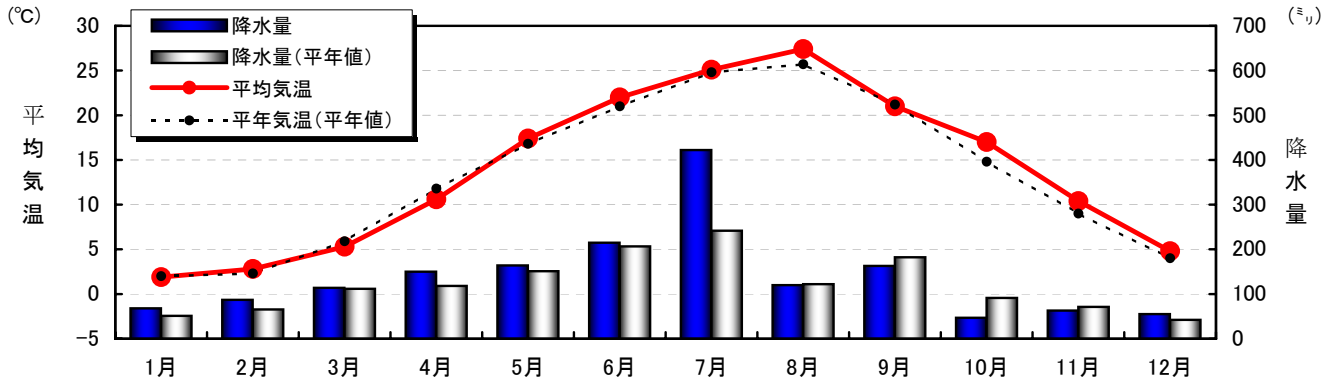


千屋

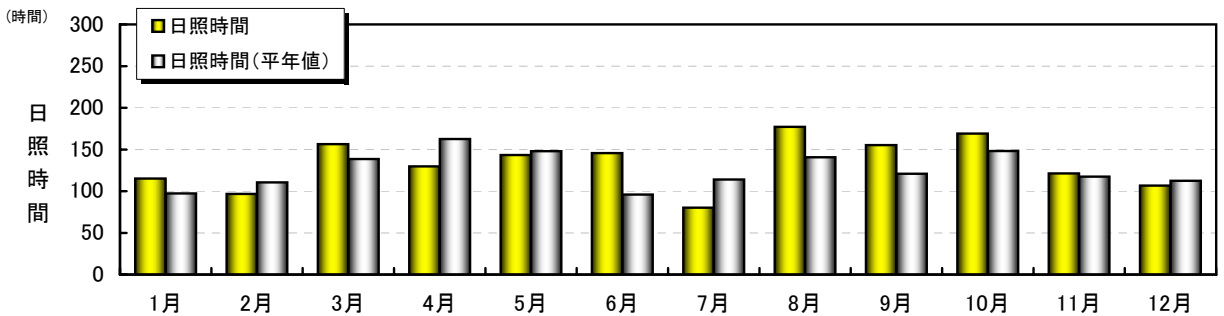
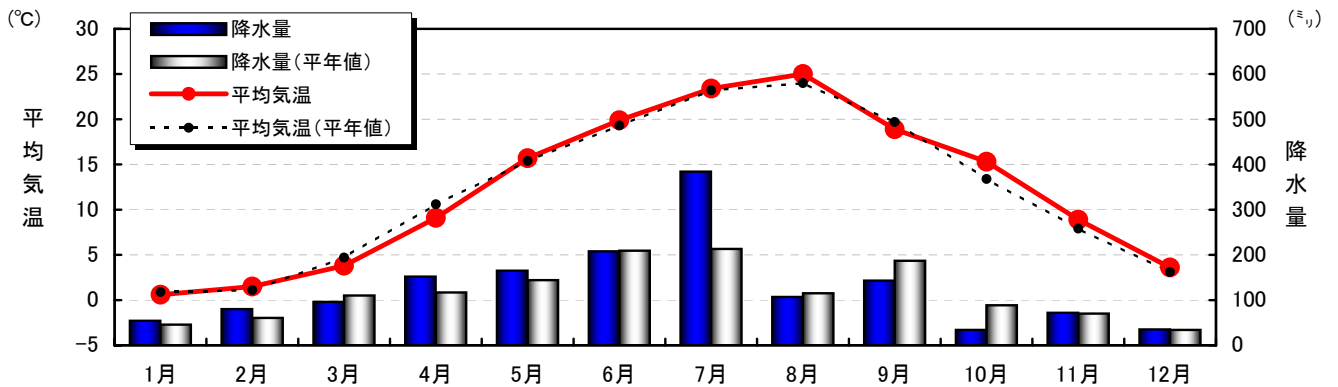


平成18年気象変化図

久世

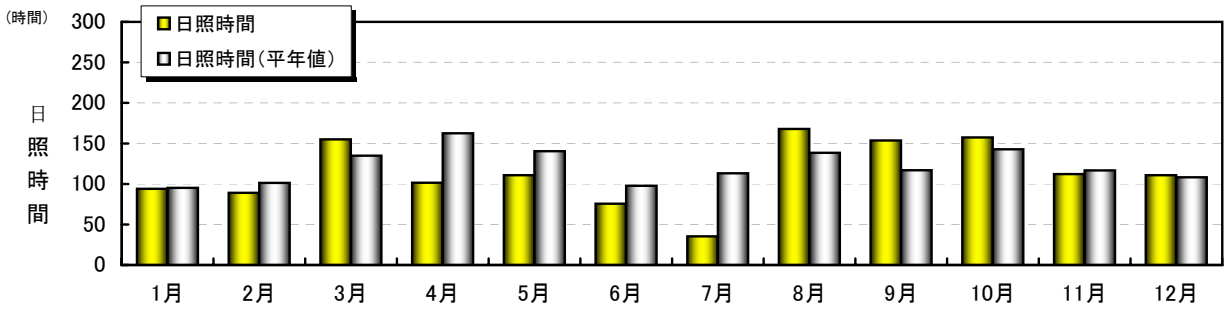
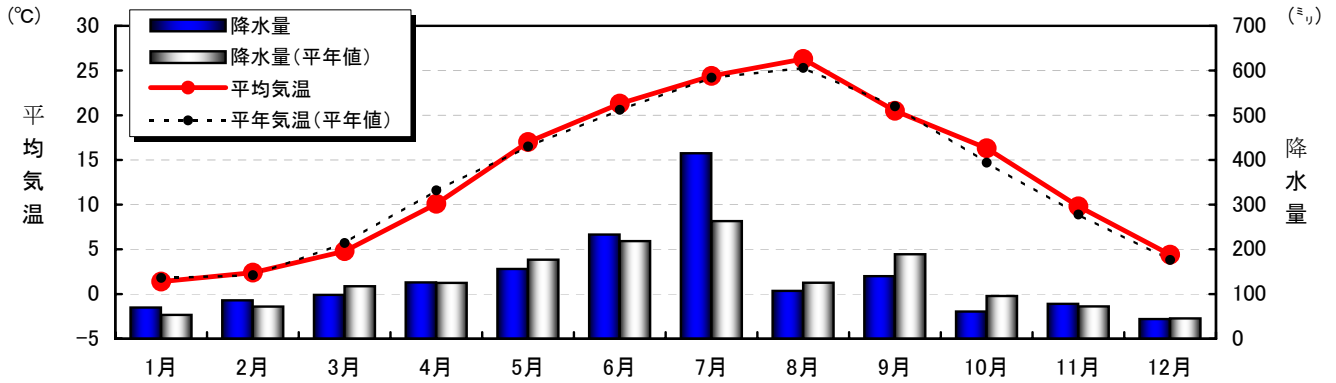


新見

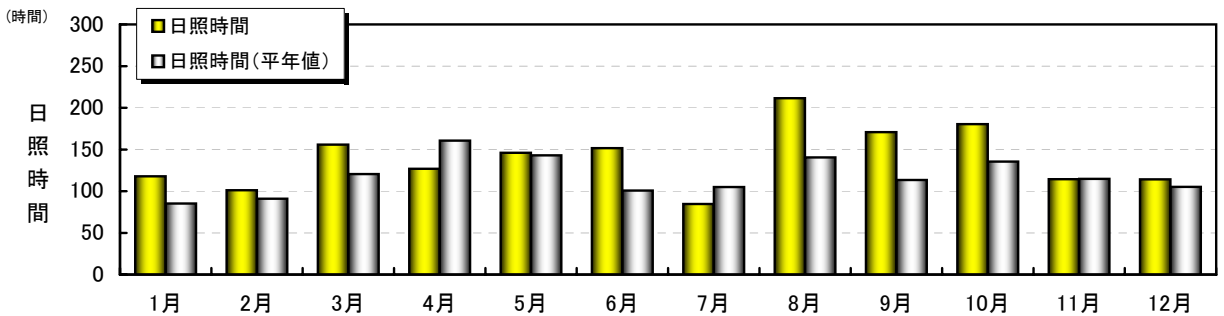
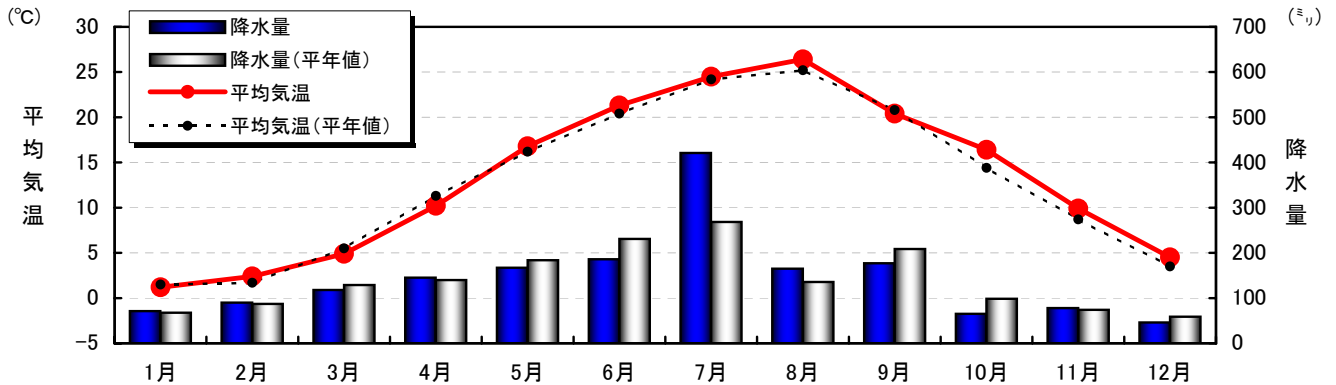


平成18年気象変化図

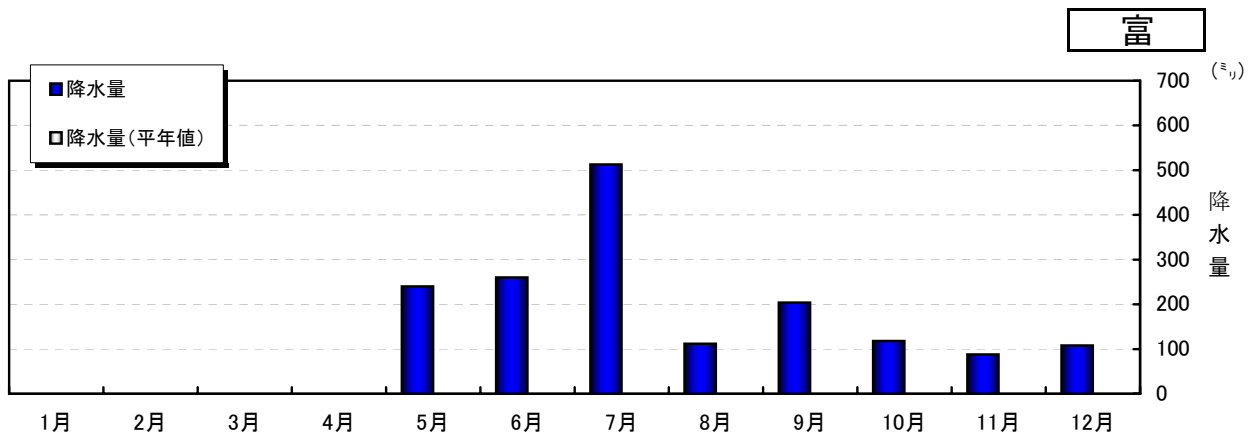
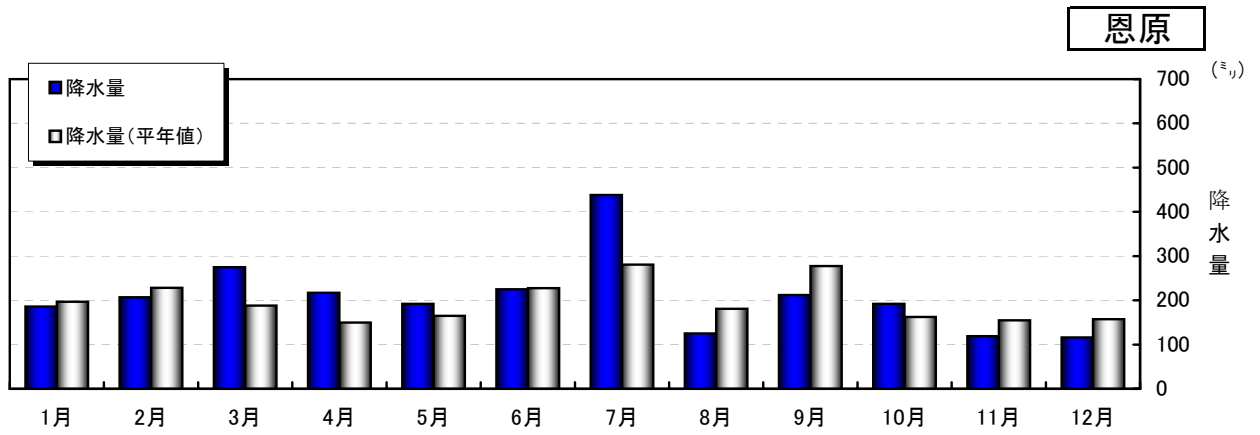
奈義



今岡

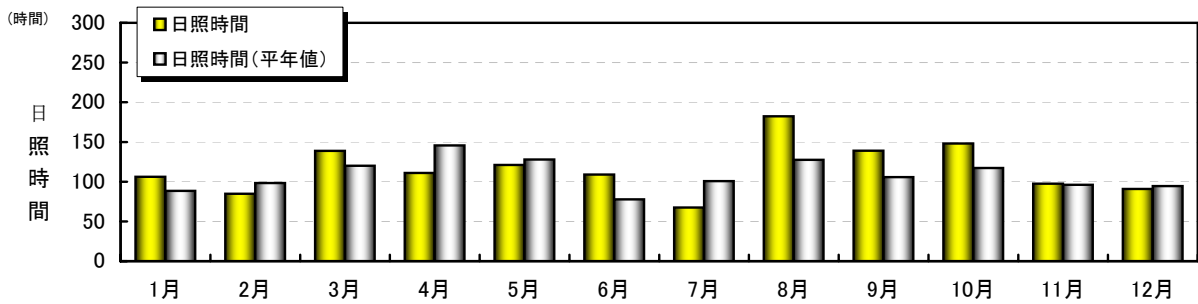
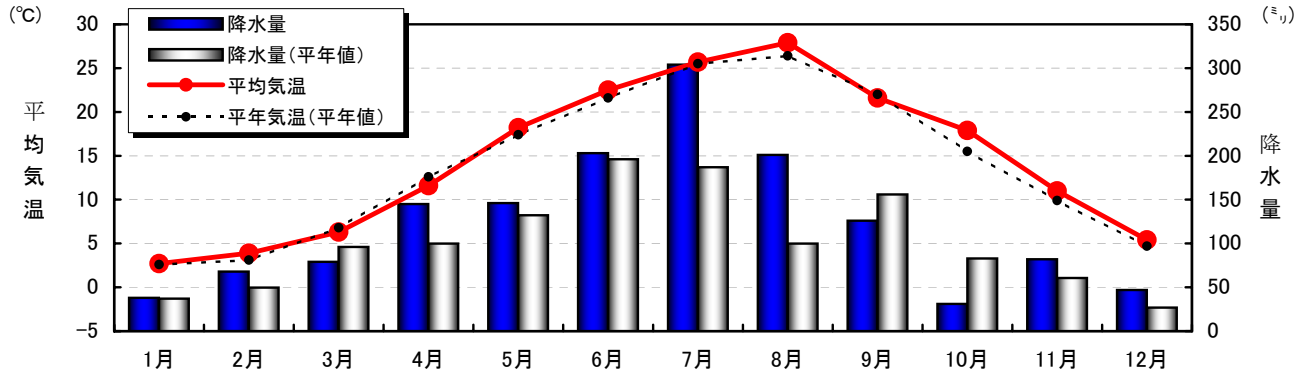


平成18年気象変化図

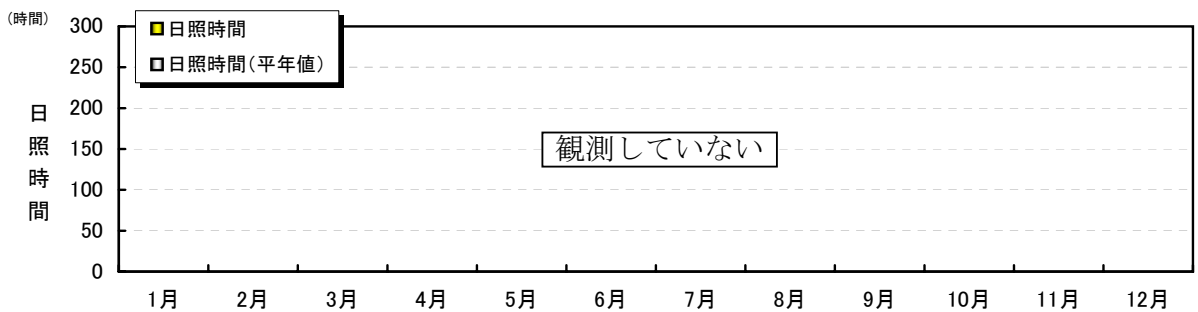
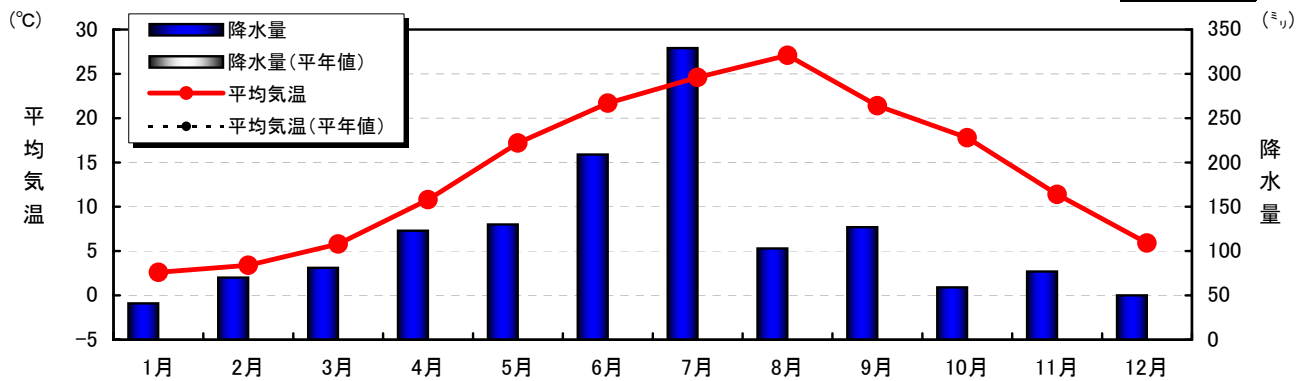


平成18年気象変化図

高梁

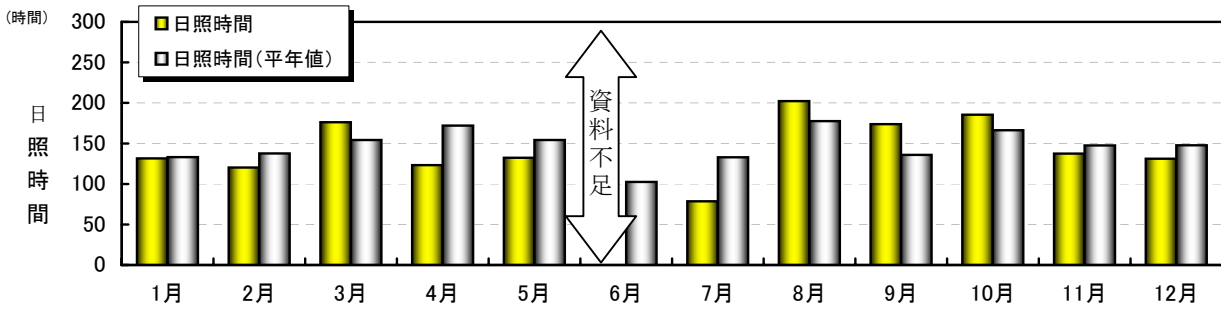
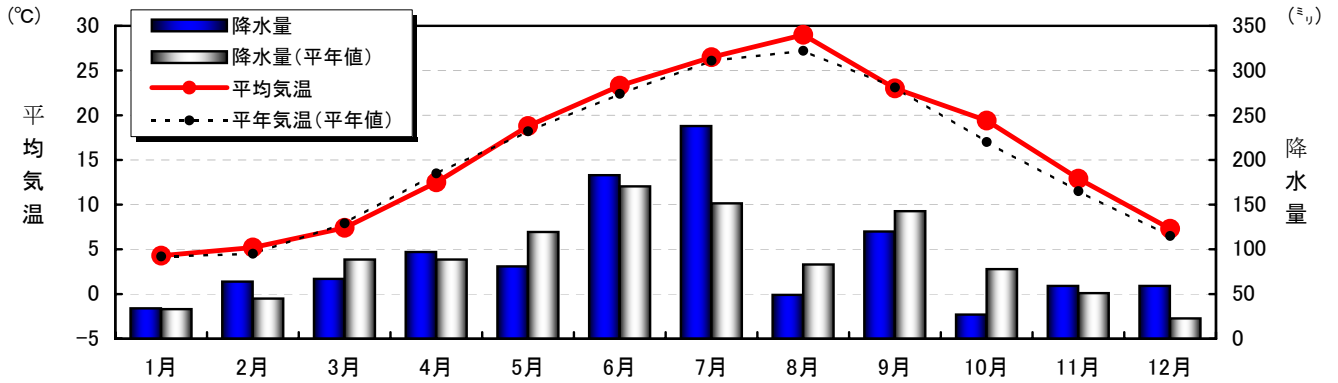


日応寺

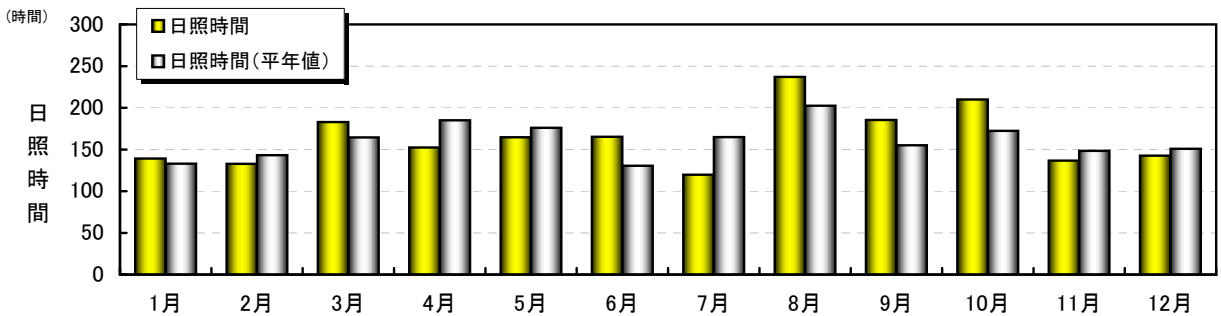
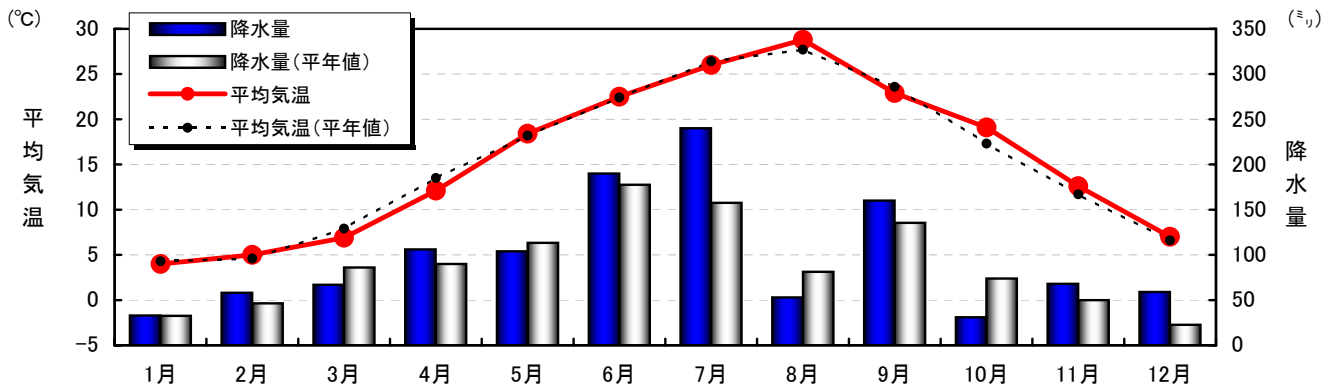


平成18年気象変化図

倉敷

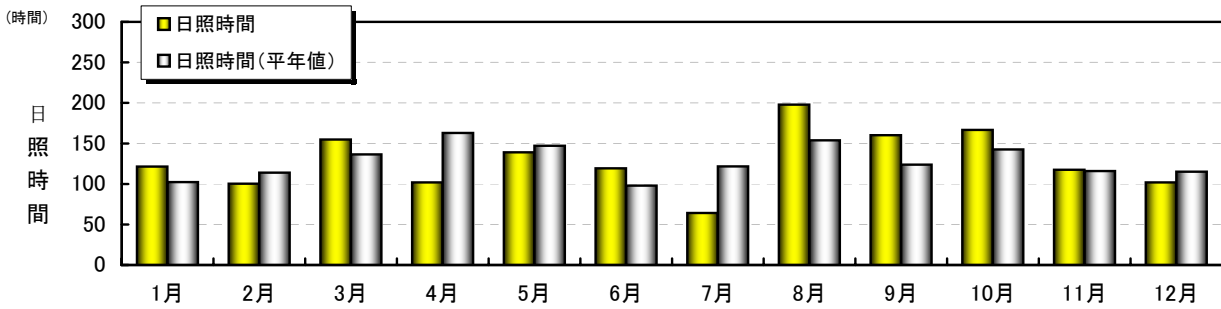
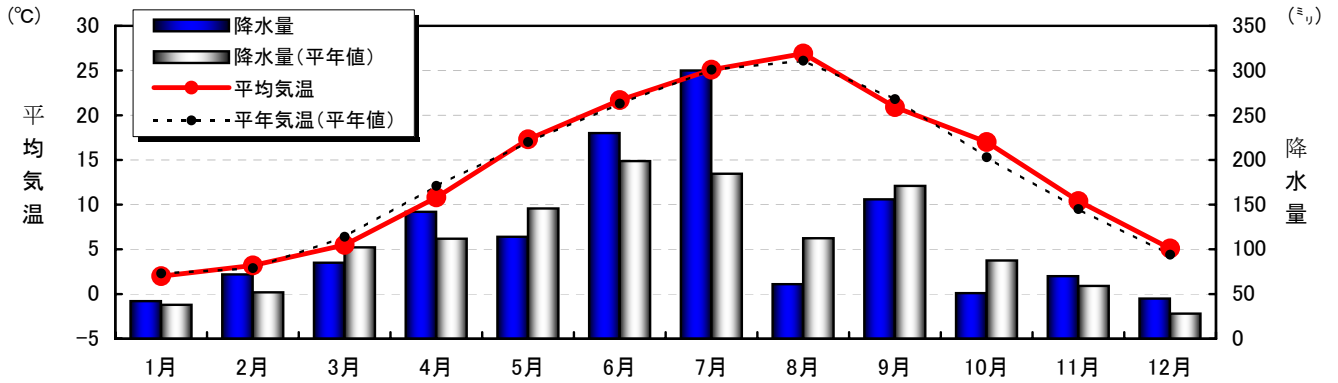


笠岡

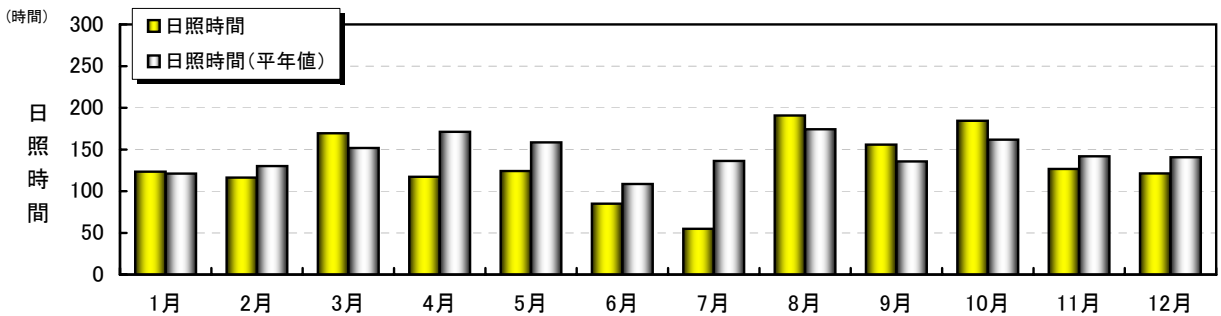
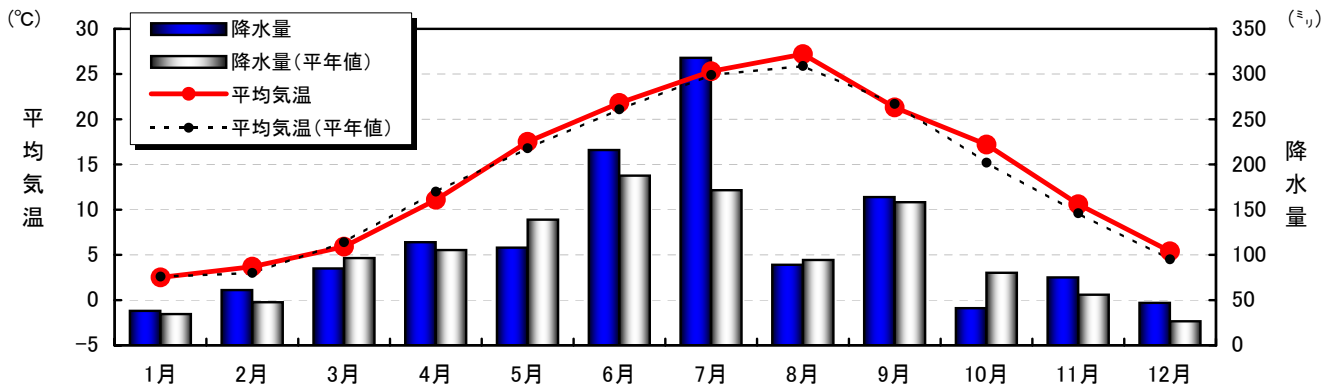


平成18年気象変化図

福渡

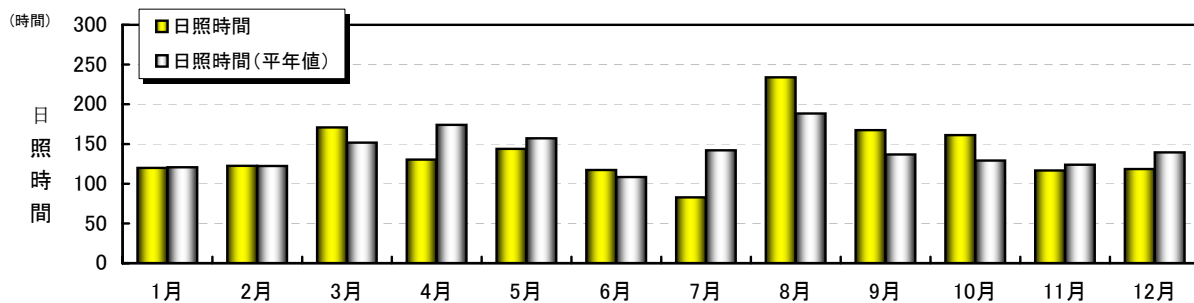
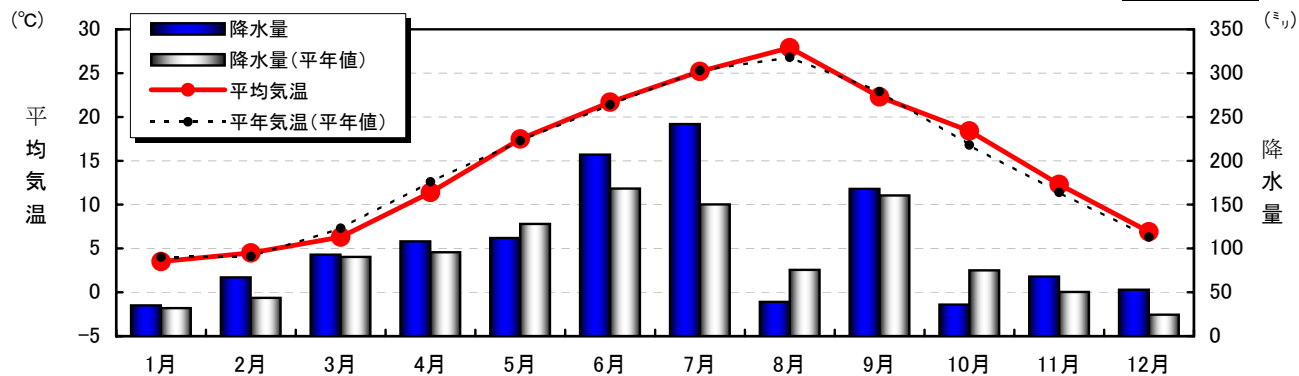


和気

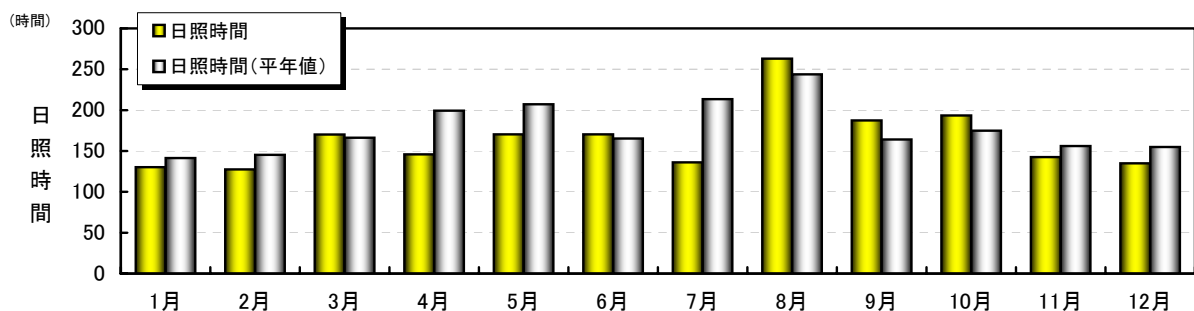
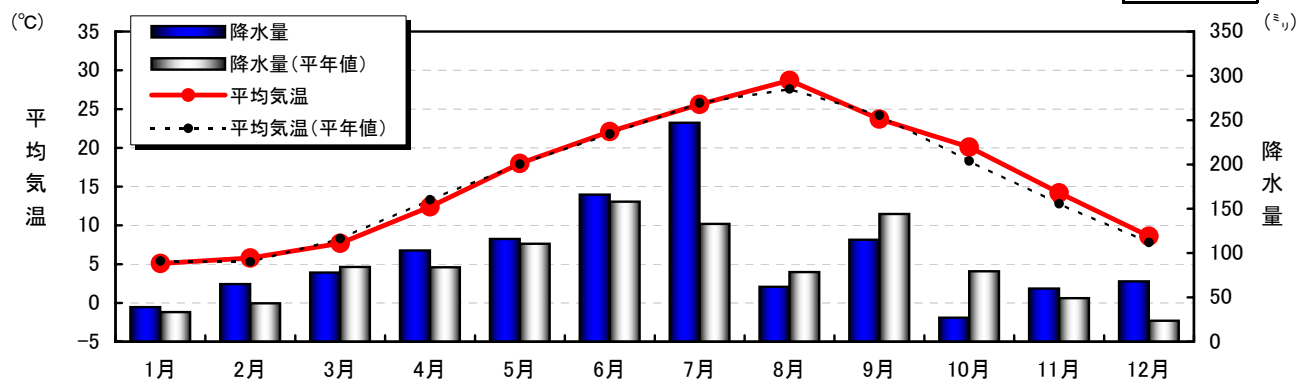


平成18年気象変化図

虫明

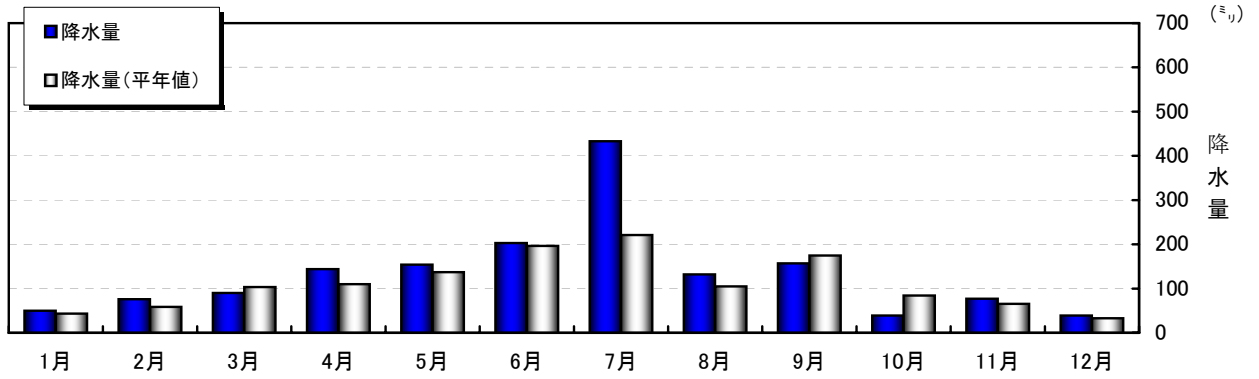


玉野

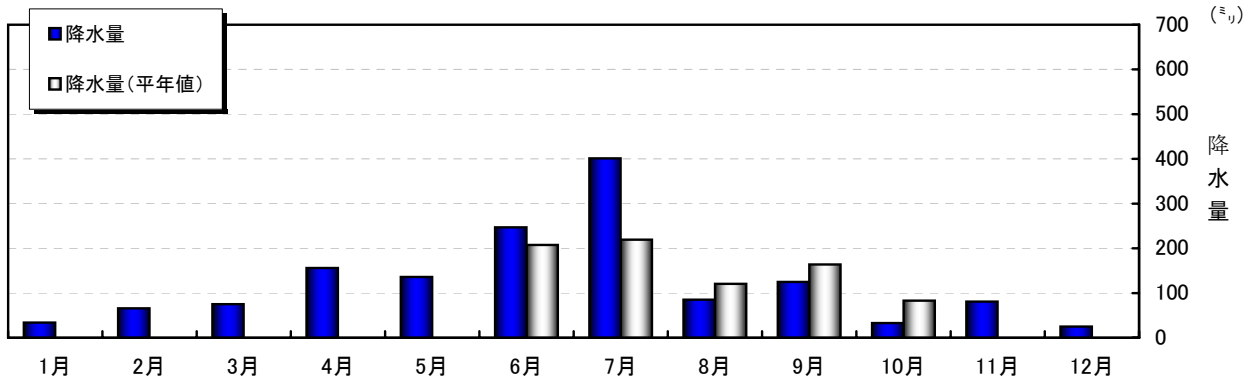


平成18年気象変化図

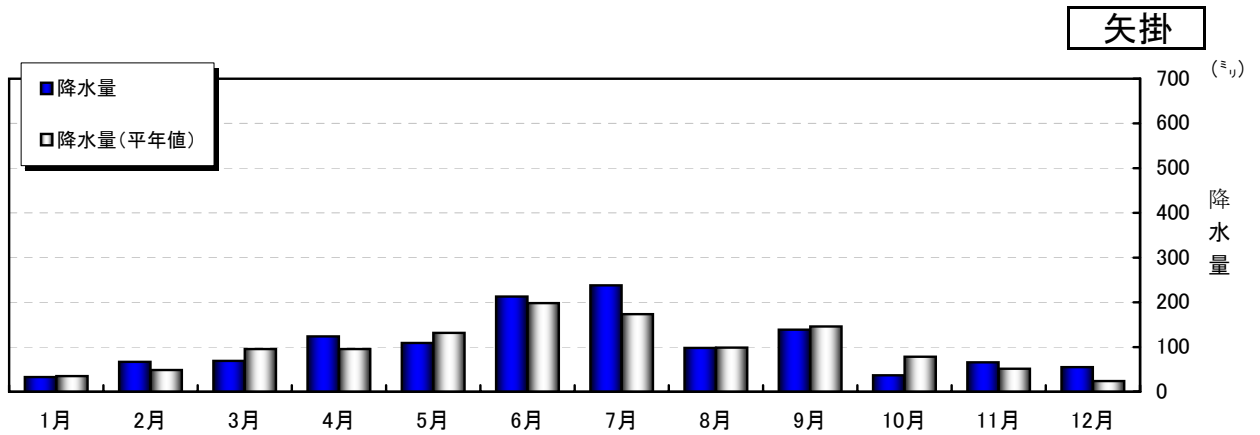
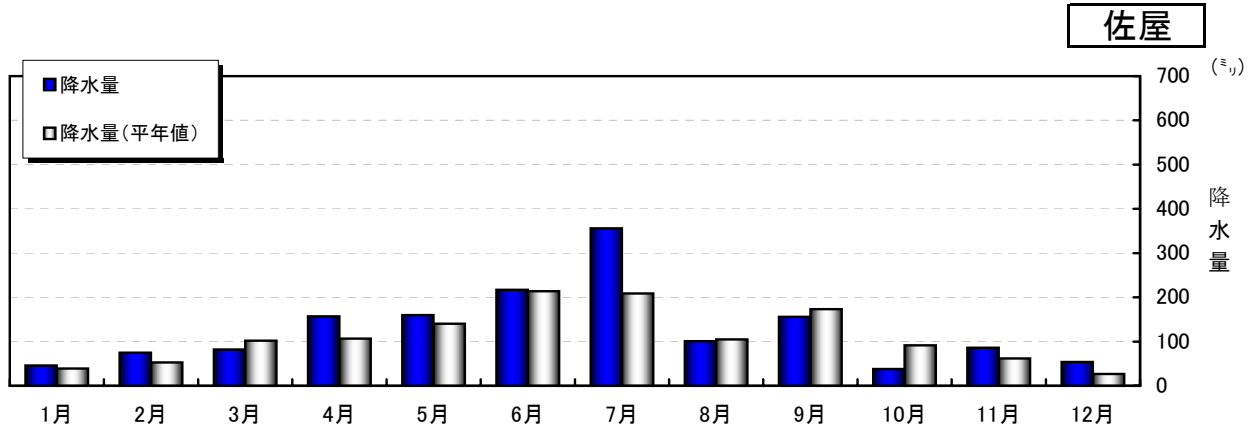
下皆部



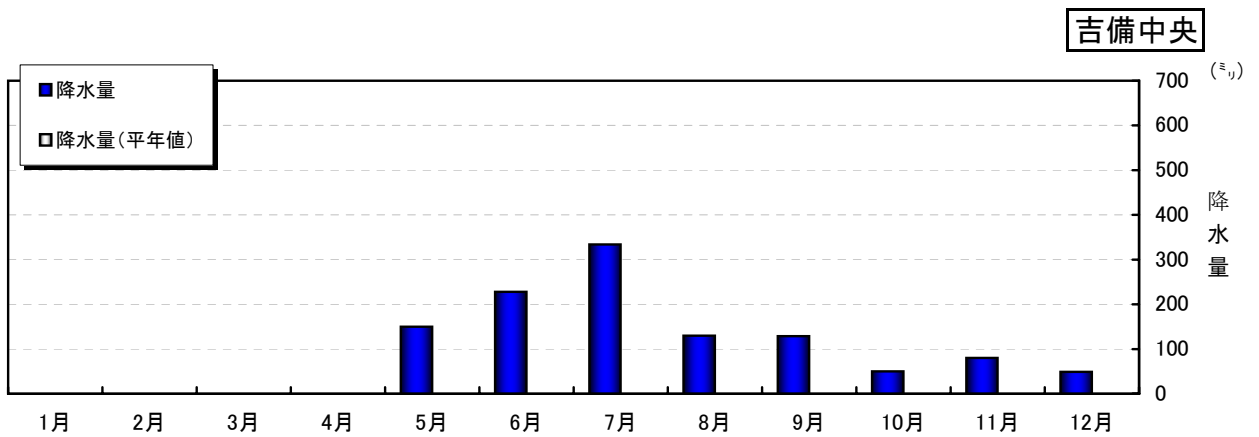
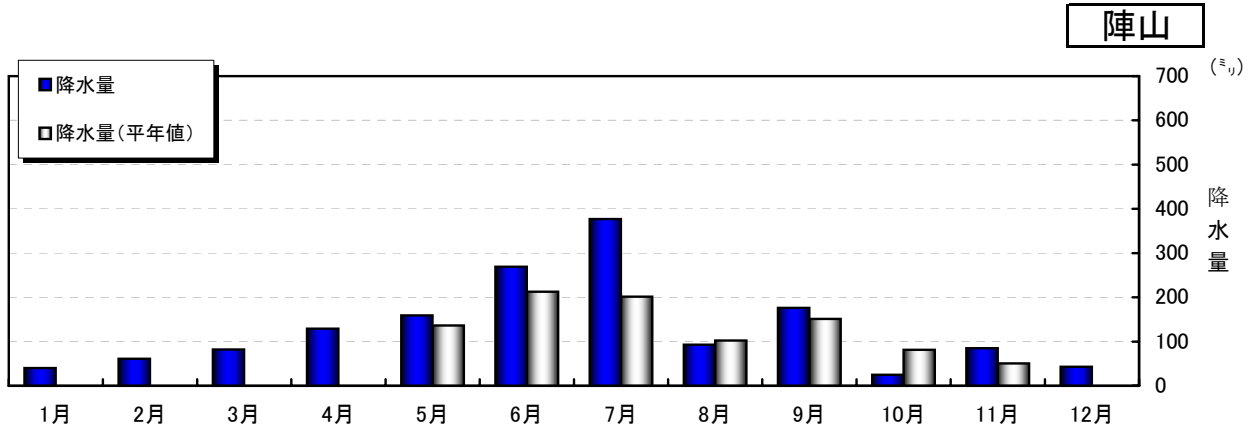
天子山



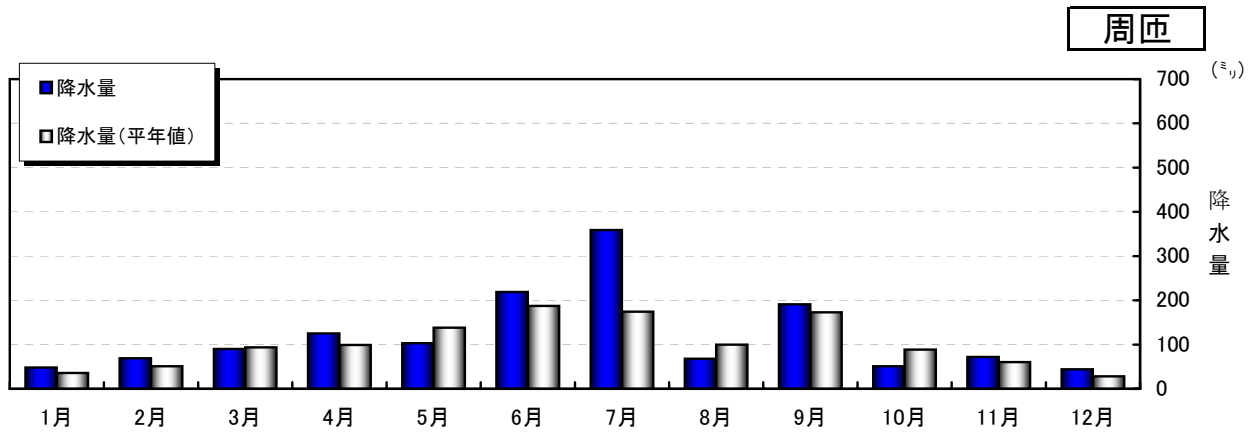
平成18年気象変化図



平成18年気象変化図



平成18年気象変化図



地上気象観測年統計値表

地点番号 47768

地点名 岡山 (岡山県)

気象官署名 岡山地方気象台

2006年(平成18年)

月	平均気圧		最低海面気圧		気 温							平均蒸気圧 hPa	相 对 湿 度			最多 風向 16方	風				速				月	
	現地 hPa	海面 hPa	hPa	起日	平均	日最高 平均	日最低 平均	最 高 起日	最 低 起日	最 低 起日	平均 %		最 大 %	最 小 %	平均 m/s		最 大 m/s	風向	起日	最 大 m/s	風向	起日	最 大 m/s	風向		起日
1	1019.7	1022.0	1005.1	14	4.8	8.8	1.2	12.9	14	-1.8	9	5.6	64	29	22*	N	2.9	14.5	W	22	21.7	WNW	22	1		
2	1020.2	1022.5	1008.1	7	5.7	9.7	1.7	14.1	26	-2.9	4	6.3	67	28	13*	W	3.4	14.6	WNW	7	23.5	W	7	2		
3	1013.2	1015.5	995.4	16	8.0	12.9	3.5	20.1	28	-1.0	4	6.9	64	13	25	W	3.4	15.5	W	28	25.7	WNW	28	3		
4	1009.9	1012.1	996.4	2	13.1	17.7	8.8	25.5	30	2.5	1	9.2	62	11	28*	NE*	3.6	13.9	SW	20	24.3	ESE	11	4		
5	1011.4	1013.6	998.9	20	19.4	23.8	15.1	30.4	31	7.8	3	15.2	68	25	24*	E	3.2	11.8	NNW	24	19.1	ESE	10	5		
6	1006.6	1008.7	991.4	9	24.0	28.4	19.8	32.5	29*	15.8	10	19.7	67	25	7	ENE	2.4	10.6	SE	15	20.2	ESE	15	6		
7	1006.1	1008.2	996.7	5	26.9	30.8	23.9	35.5	15*	20.2	20	26.8	76	48	31*	ENE	2.6	11.0	SW	16*	19.2	WNW	16	7		
8	1006.2	1008.3	996.9	17	29.7	34.5	25.9	38.3	9	21.2	31	26.7	65	29	9	NE	2.8	12.3	E	18	20.1	ESE	18	8		
9	1010.2	1012.3	992.8	17	23.7	27.8	19.8	32.3	4	16.2	23	19.3	66	31	23	N	2.8	13.7	E	17	24.7	SW	18	9		
10	1014.7	1016.9	998.2	6	19.9	24.5	15.9	26.6	12	12.3	31	15.5	67	28	13	N	2.4	12.1	NNW	7	21.8	NW	7	10		
11	1015.8	1018.1	1002.7	27	13.6	17.7	9.7	22.9	10	4.7	8	10.6	68	30	7	NE	2.7	16.5	W	7	25.6	W	7	11		
12	1021.0	1023.3	1007.3	27	8.0	11.8	4.5	17.8	27	-0.2	29	7.4	69	34	22	W	2.8	14.0	WNW	28	22.5	WNW	28	12		
年	1012.9	1015.1	991.4	6/9	16.4	20.7	12.5	38.3	8/9	-2.9	2/4	14.1	67	11	4/28*	NE	2.9	16.5	W	11/7	25.7	WNW	3/28	年		

月	日照時間 h	日照率 %	不照 日数	平均 雲量 10分比	降 水 量										降 雪 の 深 さ				最深積雪 cm	蒸発量 mm	合計降水 強風時間 h	月	
					合計 mm	最大日量 mm	最大1時間量 mm	最大10分間量 mm	最大24時間量 mm	合計 cm	最大日量 cm	最大日量9h-9h		起日	起日								
												起日	起日										
1	128.5	41	6	6.5	36.5	28.5	14	7.0	14	2.0	14	32.5	14	0	0	23*			-			16	1
2	125.1	41	3	6.8	64.0	17.0	26	4.5	26	1.5	20	17.0	26	0	0	20*			1	6		29	2
3	175.0	47	5	5.3	81.5	29.5	1	6.5	12	3.0	12	29.5	1	0	0	30*			-			46	3
4	132.7	34	5	6.8	113.0	29.5	10	8.5	11	3.5	2	37.5	11	-	-				-			43	4
5	168.0	39	8	7.4	91.0	20.0	13	5.5	26	1.5	26	20.0	13	-	-				-			29	5
6	165.7	38	6	8.0	243.0	74.0	26	47.5	26	12.5	26	86.5	25	-	-				-			26	6
7	101.5	23	8	8.4	285.0	64.5	19	19.5	3	12.5	16	69.5	19	-	-				-			40	7
8	218.9	53	0	6.3	57.5	28.5	18	14.0	31	5.0	31	33.5	18	-	-				-			4	8
9	183.6	49	5	7.0	124.0	63.5	6	21.0	6	8.0	6	63.5	6	-	-				-			30	9
10	188.2	54	3	5.2	42.0	19.5	1	11.5	5	4.5	5	20.0	1	-	-				-			11	10
11	145.8	47	7	5.8	62.0	21.5	11	7.5	11	3.5	11	22.5	11	-	-				-			20	11
12	133.1	44	5	5.3	54.5	21.0	7	6.5	13	2.0	13	23.5	7	0	0	30*			-			25	12
年	1866.1	42	61	6.6	1254.0	74.0	6/26	47.5	6/26	12.5	7/16	86.5	6/25	0	0	3/30*			1	2/6		319	年

月	階 級 別 日 数										日 最 大 風 速								日平均雲量 10分比		現象日数			月								
	気 温				降 水 量 mm						最 深 積 雪 cm				m/s						雪	霧	雷									
	日 最 高	日 平 均	日 最 低	0.0	0.5	1.0	10	30	50	70	100	0	5	10	20	50	100	10	15	20					30	<1.5	8.5					
1	0	0	0	0	0	0	0	13	17	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	2	10	4	0	0	1
2	0	0	0	0	0	0	0	8	17	9	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	8	5	1	0	2
3	0	0	0	0	0	0	0	3	21	10	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1	0	0	6	7	5	1	0	3
4	0	0	1	0	0	0	0	0	19	13	11	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	4	14	0	0	3	4
5	0	1	11	0	0	0	0	0	20	14	14	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	2	17	0	0	1	5
6	0	13	22	0	8	0	0	0	12	10	10	6	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	17	0	1	1	6
7	4	18	30	0	26	0	13	0	23	17	15	8	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	22	0	0	2	7
8	10	30	31	0	31	0	27	0	14	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	11	0	0	3	8
9	0	5	28	0	8	0	1	0	13	9	8	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	13	0	0	0	9
10	0	0	12	0	0	0	0	0	13	6	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4	6	0	0	0	10
11	0	0	0	0	0	0	0	0	17	9	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	7	12	0	0	2	11
12	0	0	0	0	0	0	0	1	19	9	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	4	9	2	2	0	12
年	14	67	135	0	73	0	41	25	205	116	100	39	8	4	1	0	2	0	0	0	0	44	2	0	0	0	37	146	24	5	12	年

地上気象観測年統計値表

地点番号 47756

地点名 津山 (岡山県)

気象官署名 岡山地方気象台

2006年(平成18年)

月	平均気圧		最低海面気圧		気 温						平均蒸気圧 hPa	相 对 湿 度			最多 風向 16方	風				速 大 瞬 間				月
	現地 hPa	海面 hPa	hPa	起日	平均	日最高 平均	日最低 平均	最 高 起日	最 低 起日	平均 %		最 小 起日	平均 m/s	最 大 m/s		風向	起日	最 大 m/s	風向	起日				
																					最大瞬間 m/s	風向	起日	
1	1003.6	1022.0	1006.0	14	2.2	7.5	-1.8	10.3	27*	-5.6	24*	5.4	75	32	3	WNW	1.4	5.2	WNW	22	14.9	NW	22	1
2	1004.1	1022.5	1008.0	7	3.1	8.3	-1.0	15.4	25	-6.2	10	5.9	76	18	24	WNW	1.5	6.5	SE	25	18.0	W	7	2
3	997.2	1015.3	994.8	16	5.6	12.4	0.3	19.2	8	-4.1	4	6.4	71	17	25	WNW	1.6	12.6	SW	28	26.2	WSW	28	3
4	994.3	1012.0	996.0	2	10.8	17.0	5.3	23.9	30	-1.4	1	8.8	69	16	8	WNW	1.8	9.3	SE	19	16.2	NW	8	4
5	996.2	1013.5	998.7	20	17.5	23.1	12.4	29.6)	31	5.2	12*	14.5	73	20	12	ESE	1.9	9.1	SE	10	18.7	SE	10	5
6	991.6	1008.5	991.9	9	21.7	27.6	16.7	31.6	19	12.7	10	18.8	74	25	7	ESE	1.5	9.5	ESE	15	21.0	ESE	15	6
7	990.4)	1007.1)	995.4)	5	24.5)	29.1)	21.6)	34.5)	27	18.7)	4	25.5]	82]	42]	28	×	1.5]	6.4]	S	5	14.7]	N	26	7
8	991.7)	1008.3)	997.2)	17	27.2	33.6	22.8)	36.4	8	19.4)	31	26.0	74	36	9	ESE)	1.6)	10.3	SSE	11	17.8	S	11	8
9	995.3	1012.3	992.6	18	21.4	27.0	16.9	31.8	9*	12.0	21	18.4	73	31	29	W	1.7	9.2	S	18	20.3	SE	18	9
10	999.9	1017.3	998.5	6	17.3	23.7	12.5	26.8	4	8.3	26*	14.6	75	32	13	W	1.3	5.5	NE	15	14.3	W	7	10
11	1000.6	1018.4	1002.6	27	10.5	16.3	6.0	22.0	10*	0.2	18	9.9	78	31	7	W	1.4	6.8	WSW	7	18.6	WSW	7	11
12	1005.1)	1023.4)	1006.4)	27	5.1)	10.4)	1.3	14.3)	15	-3.0	5*	6.9)	79)	34)	25	W)	1.5)	7.3)	WNW	28	16.2)	W	28	12
年	997.5	1015.1	991.9	6/9	13.9	19.7	9.4	36.4	8/8	-6.2	2/10	12.3]	74]	16]	4/8	W)	1.6]	12.6]	SW	3/28	26.2]	WSW	3/28	年

月	日照時間 h	日照率 %	不照 日数	平均 雲量 10分比	降 水 量						降 雪 の 深 さ				最深積雪 cm	蒸発量 mm	合計降水 強風時間 h	月				
					合計 mm	最大日量 mm	最大1時間量 mm	最大10分間量 mm	最大24時間量 mm	合計 cm	最大日量 cm	最大日量9h-9h										
												起日	起日	起日					起日	起日		
1	106.6	34	5		53.5	25.5	14	5.0	14*	1.5	13	42.0	14	12	7	23		10	23		12	1
2	92.3)	30)	3		87.0	26.0	26	5.5	26*	2.0	20	26.0	26	21	8	6		8	6		23	2
3	162.2	44	6		99.5	30.5	1	8.5	16	3.0	16	30.5	1	3	3	30		2	30		29	3
4	125.2	32	7		143.0	40.5	11	8.5	2	5.0	2	49.5	11	-	-			-			27	4
5	163.1	38	8		118.5	24.5	13	3.5	19*	1.5	19*	24.5	13	-	-			-			28	5
6	165.2	38	5		220.5	68.5	22	20.5	22	11.5	21	79.0	22	-	-			-			34	6
7	66.6)	17)	7)		246.0]	63.0]	19	20.0]	2	7.0]	20*	92.0]	18	-	-			-			26]	7
8	195.3)	49)	0)		67.0	17.0	17	14.5	17	9.5	17	17.0)	17	-	-			-			6)	8
9	174.4	47	5		148.5	65.5	6	17.5	6	5.0	6	65.5	6	-	-			-			23	9
10	172.2	49	2		44.0	21.0	1	4.0	1	2.0	22*	21.5	1	-	-			-			8	10
11	124.2	40	6		77.5	26.0	19	6.5	19	2.5	27	27.0	19	-	-			-			20	11
12	105.2)	36)	6)		42.0)	13.5)	29	4.0)	7	1.0)	29*	13.5)	29	16)	16]	29		19	29		11	12
年	1652.5	38	60		1347.0]	68.5]	6/22	20.5]	6/22	11.5]	6/21	92.0]	7/18	79	24	12/22		24	12/22		247]	年

月	階 級 別 日 数																現象日数				月														
	気 温				日 降 水 量 mm						日 最 深 積 雪 cm						日 最 大 風 速 m/s					日 平 均 雲 量 10分比		雪	霧	雷									
	日 最 高	日 平 均	日 最 低	0.0	0.5	1.0	10	30	50	70	100	0	5	10	20	50	100	10	15	20		30	<1.5				8.5								
1	0	0	0	0	0	6	0	23	25	10	5	2	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	5		1
2	0	0	0	0	0	3	0	18	23	13	13	4	0	0	0	0	0	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	7		2
3	0	0	0	0	0	0	0	15	19	10	10	4	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9	8		3	
4	0	0	0	0	0	0	0	1	21	15	13	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6		4		
5	0)	0)	11)	0	0	0	0	0	20	14	14	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7		5		
6	0	9	22	0	1	0	0	0	14	13	12	7	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9		6			
7	0)	11)	23)	0)	10)	0)	0)	0)	20)	16]	15]	8]	3]	1]	0]	0]	0]	0	0	0	0	0	0	0	0]	0]	0]	0]	0)	8		7			
8	7	29	31	0	29	0	2	0)	15	10	9	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5		8			
9	0	6	25	0	2	0	0	0	12	9	9	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		9				
10	0	0	8	0	0	0	0	0	11	7	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0)	13)		10		
11	0	0	0	0	0	0	0	0	17	12	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20		11			
12	0)	0)	0)	0	0)	1)	0	10	20	12	8)	2)	0)	0)	0)	0)	0)	3	2	2	0	0	0	0	0)	0)	0)	0)	5	14		12			
年	7	55	120	0	42	10	2	67	217	141]	121]	49]	9]	3]	0]	0]	23	11	5	1	0	0	0	2]	0]	0]	0]	59	104		年				

地域気象観測資料

(岡山県 2006年)

Table with columns for precipitation (降水量), air temperature (気温), wind speed (風速), and sunshine (日照時間). Sub-headers include Max, Mean, Extremes, and No. of Days.

Table for station 66171 (久世(尨)). Rows show monthly data and annual totals for precipitation, temperature, wind, and sunshine.

Table for station 66186 (津山(ツマ)). Rows show monthly data and annual totals for precipitation, temperature, wind, and sunshine.

Table for station 66221 (新見(ニミ)). Rows show monthly data and annual totals for precipitation, temperature, wind, and sunshine.

Table for station 66226 (下皆部(シオガエ)). Rows show monthly data and annual totals for precipitation, temperature, wind, and sunshine.

Table for station 66236 (天子山(アマノヤマ)). Rows show monthly data and annual totals for precipitation, temperature, wind, and sunshine.

Table for station 66251 (周匝(サイ)). Rows show monthly data and annual totals for precipitation, temperature, wind, and sunshine.

地域気象観測資料

(岡山県 2006年)

Table with columns: 月 (Month), 降水量 Precipitation(mm), 気温 Air Temperature(), 風速 (m/s) Wind Speed, 最多風向 Wind Dir, 日照時間 Sunshine Duration. Sub-columns include 合計 Total, 最大 Max, 日降水量階級別日数 No. of Days, 平均 Mean, 極 Extremes, 階級別日数 No. of Days, 平均 Mean, 最大 Max, 風向 Dir, 起日時 Time, Wind Dir, Wind Max Freq, and Sunshine Duration (h).

66276 陣山(ｼﾝｼﾞﾏ) (雨のみ)

Table for station 66276 (陣山) showing monthly weather data from 1 to 12 and annual totals. Data includes precipitation, temperature, and wind.

66287 吉備中央(ｷﾋﾞﾁｳｼﾞ) (雨のみ)

Table for station 66287 (吉備中央) showing monthly weather data from 1 to 12 and annual totals. Data includes precipitation, temperature, and wind.

66296 福渡(ﾌｸﾜﾀﾞ) (4要素)

Table for station 66296 (福渡) showing monthly weather data from 1 to 12 and annual totals. Data includes precipitation, temperature, wind, and humidity.

66306 和気(傢) (4要素)

Table for station 66306 (和気) showing monthly weather data from 1 to 12 and annual totals. Data includes precipitation, temperature, wind, and humidity.

66336 高梁(ｶｸﾗ) (4要素)

Table for station 66336 (高梁) showing monthly weather data from 1 to 12 and annual totals. Data includes precipitation, temperature, wind, and humidity.

66346 日応寺(ﾆｲｼﾞ) (3要素)

Table for station 66346 (日応寺) showing monthly weather data from 1 to 12 and annual totals. Data includes precipitation, temperature, and wind.

地域気象観測資料

(岡山県 2006年)

月 Month	降水量 Precipitation(mm)						気温 Air Temperature()									風速 (m/s) Wind Speed				最多 風向 Wind Dir With Max Freq	日照 時間 Sunshine Duration (h)		
	合計 Total	最大 Max			日降水量階級別日数 No. of Days			平均 Mean			極 Extremes				階級別日数 No. of Days			平均 Mean	最大				
		日 Day	起日 Date	1時間 起日時分 1h Date Time	1mm	10mm	30mm	日最高 Max	日最低 Min	平均 Mean	最高 Max	起日時分 Date Time	最低 Min	起日時分 Date Time	最高 Max	最低 Min	25		30			< 0	Max

66501 玉野(夕ノ) (4要素)

1	39	31	14	8	14	1000	5	1	1	8.2	1.8	5.1	12.6	14	1340	-1.7	9	0710	0	0	8	2.3	7	ESE	31	2030	WNW	130.2
2	65	17	15	7	15	1950	7	3	0	9.0	2.3	5.8	12.7	26	2010	-2.8	4	0710	0	0	7	2.4	8	ESE	6	1140	WNW	127.5
3	78	24	1	9	16	1640	10	3	0	11.8	3.9	7.7	18.4	28	1210	-0.5	13	2400	0	0	4	2.3	8	W	28	1420	WNW	170.1
4	103	27	10	13	11	2000	11	5	0	16.0	8.9	12.4	22.2	30	1330	2.7	1	0520	0	0	0	2.7	16	ESE	11	1250	WNW	145.9
5	116	23	17	7	26	1320	12	6	0	21.5	14.5	18.0	28.4	1	1340	8.4	3	0510	5	0	0	2.6	13	ESE	9	1520	E	170.3
6	166	62	22	12	22	1740	10	5	1	25.7	19.2	22.1	31.2	20	1520	15.8	10	0520	16	4	0	1.8	12	ESE	15	0940	E	170.3
7	247	68	20	25	21	0700	14	7	3	29.3	23.0	25.6	34.2	14	1330	20.4	20	0720	28	11	0	1.8	7	E	5	0410	E	136.0
8	62	49	31	23	31	2240	3	2	1	32.5	25.9	28.7	36.3	9	1400	20.6	31	2240	31	29	0	2.6	14	ESE	19	0050	E	262.9
9	115	32	6	14	10	1250	9	4	1	27.3	20.3	23.7	30.6	9	1530	16.8	23	0620	28	5	0	2.5	16	ESE	17	2040	WNW	187.4
10	27	9	5	4	23	0630	5	0	0	24.1	16.6	20.1	26.6	17	1450	13.4	31	0640	10	0	0	2.2	7	ESE	23	0130	WNW	193.4
11	60	21	11	8	11	0100	7	3	0	18.0	10.3	14.2	23.1	10	1320	6.1	18	0540	0	0	0	2.3	9	ENE	26	1350	WNW	142.6
12	68	27	7	4	26	1420	9	2	0	11.7	5.4	8.6	16.7	27	1400	0.2	29	0330	0	0	0	2.2	8	WNW	28	1610	WNW	135.0
年	1146	68	25	25	102	41	7	19.6	12.7	16.0	36.3					-2.8			118	49	19	2.3	16	ESE			WNW	1971.6

積雪観測資料 (有線ロケット積雪深計)

(岡山県 2006寒候年)

年 Year	月 Month	積雪 (cm) Snow Cover			積雪差 (cm) Snow Fall		
		最深積雪 Max. Depth	起日 Date	日数 No. of Days 3cm	合計 Total	最大 Max.	起日 Date

年 Year	月 Month	積雪 (cm) Snow Cover			積雪差 (cm) Snow Fall		
		最深積雪 Max. Depth	起日 Date	日数 No. of Days 3cm	合計 Total	最大 Max.	起日 Date

66900	上長田(かたがた)						
2006	1	116	7	31	154	37	5日
	2	88	9	28	157	24	17日
	3	43	13	15	136	36	13日
	4	8)	1	1)	0)	0]	25日
	5	x	x	x	x	x	x
	6	x	x	x	x	x	x
	7	x	x	x	x	x	x
	8	x	x	x	x	x	x
	9	x	x	x	x	x	x
	10	x	x	x	x	x	x
	11	0)	30	0)	0)	0)	30日
	12	43	29	7	65	35	29日
	寒候年	116	1 07	103	734	43	2月 5日
66915	今岡(いおか)						
2006	1	26	23	7	39	20	23日
	2	15	9	9	47	12	9日
	3	7	30	2	8	7	30日
	4	0]	25	0)	0)	0]	25日
	5	x	x	x	x	x	x
	6	x	x	x	x	x	x
	7	x	x	x	x	x	x
	8	x	x	x	x	x	x
	9	x	x	x	x	x	x
	10	x	x	x	x	x	x
	11	0)	30	0)	0)	0)	30日
	12	22	29	3	27	24	29日
	寒候年	26	1 23	35	195	20	1月23日

66910	千屋(ちや)						
2006	1	78	7	31	99	12	22日
	2	64	9	28	112	21	8日
	3	19	30	11	87	20	13日
	4	0]	25	0)	0)	0]	25日
	5	x	x	x	x	x	x
	6	x	x	x	x	x	x
	7	x	x	x	x	x	x
	8	x	x	x	x	x	x
	9	x	x	x	x	x	x
	10	x	x	x	x	x	x
	11	0)	30	0)	0)	0)	30日
	12	33	29	6	48	26	29日
	寒候年	97	12 24	98	536	36	2月 5日
66920	津山(つや)						
2006	1	10	23	2	12	7	23日
	2	8	6	5	21	8	6日
	3	2	30	0	3	3	30日
	4	0]	25	0)	0)	0]	25日
	5	x	x	x	x	x	x
	6	x	x	x	x	x	x
	7	x	x	x	x	x	x
	8	x	x	x	x	x	x
	9	x	x	x	x	x	x
	10	x	x	x	x	x	x
	11	0)	30	0)	0)	0)	30日
	12	19]	29	2	16	16	29日
	寒候年	24	12 22	14	79	24	2月22日

地域気象観測積雪年表

（平成17年10月から平成18年4月にかけての寒候期）

	月別積雪日数（日）								階級別日数（日）					積雪の深さcm	
	10 (月)	11	12	1	2	3	4	合計	≥3 (cm)	≥5	≥10	≥20	≥50	最大 (cm)	起日
上長田	×	0)	28	31	28	16	1)	104	103	103	100	95	63)	116	1月7日
千屋	×	0)	28	31	28	11	0)	98	98	96	90	83	33)	97)	12月24日
今岡	×	0)	21	8	9	2	0)	40	35	28	15	2	0	26	1月23日
津山	×	0)	10	3	8	2	0)	23	14	11	5	1	0	24	12月22日

注1) 上長田・千屋・今岡は積雪深計による積雪1センチ以上の積雪日数。

注2) 津山測候所は平成14年3月1日から津山特別地域気象観測所となり、新たに積雪計を設置する。
津山は積雪計による積雪1センチ以上の積雪日数に変更。

平成18年 気象官署の極値順位更新表

1月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
	なし				

2月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
津山	日最小相対湿度	18%	24日	18% (2004/2/20)	1950年

3月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
	なし				

4月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
津山	月間日照時間の少ない方から	125.2h		125.5h (1964/4)	1943年

5月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
	なし				

6月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
岡山	日最大1時間降水量	47.5mm	26日	34.0mm (1993/6/19)	1940年

7月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
	なし				

8月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
	なし				

9月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
	なし				

10月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
	なし				

11月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
岡山	日最大風速・風向	16.5m/s W	7日	15.3m/s W (1998/11/17)	1891年

12月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
	なし				

年極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
	なし				

平成18年 アメダス観測所の極値順位更新表（1/3）

1月極値の更新

観測所名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
上長田	日最大風向・風速	9m/s N	14日	6m/s S (2001/01/07)	1979年
上長田	月最深積雪	116cm	7日	91cm (2004/01/25)	1991年
千屋	月最深積雪	78cm	7日	56cm (1996/01/10)	1991年
奈義	日降水量	34mm	14日	32mm (1993/01/07)	1978年
奈義	日最大1時間降水量	9mm	14日	8mm (2005/01/17)	1978年
今岡	日最大風向・風速	7m/s N	17日	7m/s NNE (1983/01/30)	1979年
久世	日降水量	37mm	14日	37mm (1991/01/21)	1976年
久世	日最大1時間降水量	8mm	14日	8mm (1991/01/21)	1976年
新見	日降水量	40mm	14日	35mm (1998/01/15)	1979年
下皆部	日降水量	35mm	14日	34mm (1991/01/21)	1977年
福渡	日最大風向・風速	6m/s NNW	22日	6m/s NNW (2004/01/21)	1979年
和気	日最大1時間降水量	7mm	14日	7mm (2005/01/17)	1979年
佐屋	日降水量	40mm	14日	33mm (1998/01/15)	1977年
矢掛	日最大1時間降水量	7mm	14日	6mm (2002/01/27)	1979年
虫明	日降水量	30mm	14日	29mm (1998/01/08)	1976年
虫明	日最大1時間降水量	7mm	14日	7mm (2005/01/17)	1976年
倉敷	日最大1時間降水量	7mm	14日	7mm (1988/01/21)	1976年
笠岡	日降水量	27mm	14日	26mm (1998/01/15)	1977年
玉野	日降水量	31mm	14日	28mm (1996/01/08)	1976年
玉野	日最大1時間降水量	8mm	14日	8mm (1988/01/21)	1976年

2月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
上長田	日最大風向・風速	9m/s SSW	10日	7m/s SSW (1990/02/19)	1979年
福渡	日最大風向・風速	6m/s N	3日	6m/s NNW (2005/02/26)	1979年

3月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
上長田	日最大風向・風速	11m/s SSW	28日	7m/s S (1998/03/20)	1979年
上長田	日最大1時間降水量	13mm	6日	10mm (1996/03/15)	1979年
上長田	日最高気温の低い方から	-0.8	13日	-0.6 (2005/03/13)	1979年
今岡	日最大風向・風速	10m/s SSW	28日	8m/s N (2005/03/29)	1979年
久世	日最大風向・風速	7m/s WNW	13日	7m/s WNW (1983/03/07)	1979年
福渡	日最大風向・風速	7m/s NW	30日	6m/s NNW (2005/03/24)	1979年

4月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
上長田	日最大風速・風向	13m/s S	11日	8m/s S (1983/4/14)	1979年
上長田	月最深積雪	8cm	1日	6cm (1996/4/2)	1991年
千屋	月降水量の多い方から	195mm		191mm (1985/4)	1979年
奈義	月間日照時間の少ない方から	101.5h		125.5h (1995/4)	1988年
今岡	日最大風速・風向	8m/s N	25日	8m/s N (2005/4/8)	1979年
久世	月間日照時間の少ない方から	103.2h		126.0h (1999/4)	1987年
久世	日最大風速・風向	8m/s WNW	8日	7m/s NW (2005/4/22)	1979年
新見	月間日照時間の少ない方から	129.8h		132.7h (1995/4)	1988年
福渡	月間日照時間の少ない方から	102.0h		122.8h (2003/4)	1988年
和気	月間日照時間の少ない方から	117.3h		136.9h (2003/4)	1988年
高梁	月間日照時間の少ない方から	111.1h		118.4h (1995/4)	1988年
虫明	月間日照時間の少ない方から	130.4h		140.2h (2003/4)	1988年
倉敷	月間日照時間の少ない方から	123.3h		136.2h (2003/4)	1988年
笠岡	日最大風速・風向	13m/s WSW	20日	12m/s SW (1999/4/13)	1979年
玉野	日最大風速・風向	16m/s ESE	11日	15m/s ESE (1979/4/8)	1976年

平成18年 アメダス観測所の極値順位更新表（2/3）

5月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
上長田	日最大風速・風向	11m/s NNE	2日	6m/s E (2004/5/1)	1979年
恩原	日降水量	85mm	10日	80mm (2003/5/31)	1982年

6月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
上長田	月間日照時間の多い方から	159.6h		159.0h (2002/6)	1988年
上長田	日最大風速・風向	9m/s SSE	15日	6m/s (2002/6/11)	1979年
千屋	月間日照時間の多い方から	168.0h		161.4h (2002/6)	1988年
陣山	日降水量	121mm	22日	119mm (1999/6/29)	1976年
矢掛	日最大1時間降水量	35mm	26日	25mm (1991/6/30)	1976年
玉野	月間日照時間の多い方から	170.3h		168.3h (1990/6)	1988年

7月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
上長田	日最大風速・風向	9m/s SSW	11日	6m/s S (2002/7/6)	1979年
千屋	月降水量の多い方から	489mm		465mm (1993/7)	1979年
奈義	月間日照時間の少ない方から	35.4h		52.8h (2005/7)	1988年
久世	月降水量の多い方から	422mm		400mm (1993/7)	1976年
久世	月間日照時間の少ない方から	48.9h		55.3h (1991/7)	1986年
久世	日最大風速・風向	8m/s NW	14日	8m/s S (2004/7/8)	1979年
下皆部	月降水量の多い方から	433mm		427mm (1993/7)	1976年
天子山	月降水量の多い方から	401mm		382mm (1997/7)	1976年
天子山	日最大1時間降水量	61mm	26日	42mm (1985/7/9)	1976年
和気	月間日照時間の少ない方から	54.8h		69.2h (1993/7)	1988年
虫明	月間日照時間の少ない方から	82.9h		91.6h (1993/7)	1988年

8月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
上長田	月間日照時間の多い方から	216.5h		202.5h (1994/8)	1988年
上長田	日最大風速・風向	6m/s S	19日	6m/s S (1979/8/26)	1979年
千屋	月間日照時間の多い方から	199.5h		182.7h (1994/8)	1988年
今岡	日最大風速・風向	9m/s N	2日	7m/s N (2005/8/27)	1979年
和気	月平均気温の高い方から	27.2		27.2 (1994/8)	1979年
和気	日最高気温の高い方から	37.0	9日	36.8 (1994/8/7)	1979年
倉敷	月平均気温の高い方から	29.0		29.0 (1995/8)	1979年
笠岡	日最低気温の高い方から	28.6	17日	28.4 (1994/8/13)	1979年

9月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
上長田	日最大風速・風向	11m/s SSW	18日	6m/s SSW (2004/9/7)	1979年
今岡	月間日照時間の多い方から	170.9h		158.6h (2002/9)	1987年

10月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
上長田	日最大風速・風向	9m/s NNW	7日	6m/s S (1989/10/31)	1979年
玉野	月降水量の少ない方から	27mm		27mm (2003/10)	1976年

11月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
上長田	日最大風速・風向	9m/s N	11日	7m/s X (1982/11/29)	1979年
今岡	日最大風速・風向	7m/s N	24日	7m/s N (2005/11/29)	1978年
久世	日最大風速・風向	7m/s WNW	7日	6m/s WNW (1995/11/8)	1978年
新見	日最大風速・風向	9m/s W	7日	9m/s W (2002/11/27)	1978年
虫明	日最大風速・風向	7m/s WSW	7日	7m/s WSW (1988/11/25)	1979年

平成18年 アメダス観測所の極値順位更新表 (3/3)

12月極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
奈 義	日最大風速・風向	8m/s N	10日	8m/s N (2004/12/6)	1977年
今 岡	日最大風速・風向	6m/s N	22日	6m/s N (2005/12/31)	1978年
虫 明	日最大風速・風向	7m/s WSW	28日	7m/s WSW (2004/12/5)	1979年
笠 岡	日最大風速・風向	10m/s WNW	28日	10m/s WNW (2005/12/17)	1979年

年極値の更新

官署名	事項名	観測値	起日	従来値	統計開始
	な し				

地上気象観測月・年・3か月平年値 47768 岡山 (OKAYAMA)

北緯34度39.4分 東経133度55.1分 標高2.8m

Table with 30 columns (1-12 months, 1-12 cumulative months, statistics) and multiple rows for various weather metrics including temperature, humidity, wind, precipitation, and atmospheric phenomena.

地上気象観測旬別平年値 47768 岡山 (OKAYAMA) 北緯34度39.4分 東経133度55.1分 標高2.8m

	要素	海面気圧	平均気温	最高気温	最低気温	相対湿度	平均風速	平均雲量	日照時間	全天日射量	降水量	降雪の深さ	積雪の深さ
	単位	(hPa)	()	平均()	平均()	(%)	(m/s)	(10分比)	(時間)	(MJ/m ²)	(mm)	合計(cm)	最大(cm)
	統計期間 資料年数	1971-2000 30	1971-2000 30	1971-2000 30	1971-2000 30	1971-2000 30	1975-2000 26	1971-2000 30	1971-2000 30		1971-2000 30	1971-2000 30	1971-2000 30
1月	上旬	1020.4	5.4	9.4	1.6	67	3.9	5.8	44.6		12.0	1	1
	中旬	1020.2	4.7	8.8	0.9	66	4.0	5.5	47.8		10.0	0	0
	下旬	1020.7	4.4	8.6	0.5	65	4.2	5.6	55.3		10.9	1	1
2月	上旬	1019.3	4.3	8.6	0.3	64	3.8	5.6	50.8		12.0	0	0
	中旬	1019.6	5.5	9.9	1.3	64	3.5	6.1	50.1		17.4	1	1
	下旬	1019.3	5.5	9.8	1.4	63	3.8	6.2	40.7		16.4	0	0
3月	上旬	1018.8	6.9	11.5	2.4	62	3.5	6.0	54.1		18.4	0	0
	中旬	1018.3	8.3	12.8	3.6	62	3.6	6.4	54.3		27.1	0	0
	下旬	1017.8	9.9	14.3	5.3	63	3.5	6.5	58.6		37.7	0	0
4月	上旬	1016.6	12.2	17.0	7.2	61	3.2	6.3	59.2		34.0	0	-
	中旬	1015.2	14.3	19.2	9.4	62	3.2	6.2	61.6		36.9	0	-
	下旬	1014.4	16.3	21.4	11.2	62	3.1	6.3	65.9		31.5	-	-
5月	上旬	1013.5	17.7	22.9	12.8	63	3.0	6.5	65.1		33.0	-	-
	中旬	1012.3	18.8	23.9	14.0	65	2.9	6.8	63.3		47.1	-	-
	下旬	1011.1	20.2	25.3	15.4	64	2.7	7.0	73.0		35.1	-	-
6月	上旬	1009.9	22.0	26.8	17.5	67	3.0	7.2	65.4		44.5	-	-
	中旬	1008.6	23.0	27.3	19.2	71	3.0	7.8	53.3		44.0	-	-
	下旬	1007.7	23.8	27.5	20.6	75	2.9	8.4	40.1		97.4	-	-
7月	上旬	1008.1	25.7	29.8	22.2	75	3.0	7.8	51.9		72.7	-	-
	中旬	1007.9	26.8	31.0	23.5	75	3.0	7.5	50.6		56.8	-	-
	下旬	1008.9	28.2	32.7	24.5	71	3.5	6.4	77.0		30.5	-	-
8月	上旬	1008.7	28.3	32.7	24.4	70	3.1	6.2	68.7		24.0	-	-
	中旬	1008.9	28.1	32.1	24.5	72	3.2	6.8	63.9		35.5	-	-
	下旬	1009.4	27.5	31.6	23.8	71	3.0	6.4	67.4		31.4	-	-
9月	上旬	1010.6	25.8	29.9	22.2	73	2.8	6.6	56.8		50.0	-	-
	中旬	1011.9	23.7	27.7	20.0	73	3.1	6.9	51.8		57.6	-	-
	下旬	1014.5	21.6	25.6	18.0	74	2.7	7.4	44.8		52.5	-	-
10月	上旬	1016.0	19.7	23.9	15.6	70	2.6	6.2	53.0		33.3	-	-
	中旬	1017.4	17.9	22.3	13.8	69	2.8	5.9	54.1		32.4	-	-
	下旬	1019.0	15.5	20.2	11.0	68	2.7	5.2	63.4		21.9	-	-
11月	上旬	1020.4	14.3	18.8	10.0	70	2.6	5.7	52.0		20.6	-	-
	中旬	1020.8	12.2	16.4	8.0	69	3.0	5.8	46.1		17.9	0	-
	下旬	1020.9	9.8	14.3	5.4	68	3.1	4.9	51.1		12.8	0	-
12月	上旬	1021.3	8.3	12.8	4.0	68	2.9	4.9	51.7		7.6	0	-
	中旬	1022.1	6.8	11.3	2.6	67	3.3	5.1	49.4		8.4	0	-
	下旬	1021.1	6.0	10.3	2.0	68	3.2	5.3	54.3		10.2	0	0

地上気象観測旬別平年値 47756 津山 (TSUYAMA) 北緯35度3.7分 東経134度0.7分 標高145.7m

	要素	海面気圧	平均気温	最高気温	最低気温	相対湿度	平均風速	平均雲量	日照時間	全天日射量	降水量	降雪の深さ	積雪の深さ
	単位	(hPa)	()	平均()	平均()	(%)	(m/s)	(10分比)	(時間)	(MJ/m ²)	(mm)	合計(cm)	最大(cm)
統計期間	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1975-2000		1971-2000		1971-2000	1971-2000	1971-2000
資料年数	30	30	30	30	30	30	26		30		30	30	30
1月	上旬	1020.6	2.6	7.8	-1.3	79	1.7		34.1		17.1	4	3
	中旬	1020.2	2.2	7.5	-1.8	77	1.9		40.4		11.9	5	4
	下旬	1020.8	1.7	7.3	-2.3	77	1.9		45.4		16.8	10	7
2月	上旬	1019.4	1.8	7.4	-2.4	77	1.9		42.4		18.0	9	7
	中旬	1019.7	3.1	8.9	-1.4	75	1.8		41.7		20.8	6	4
	下旬	1019.4	3.2	9.0	-1.3	74	2.0		36.7		22.5	5	4
3月	上旬	1019.0	4.4	10.9	-0.7	73	1.8		49.7		24.7	4	3
	中旬	1018.4	6.0	12.5	0.5	72	1.9		51.2		34.3	1	1
	下旬	1018.0	7.6	14.0	2.1	71	1.9		54.4		42.1	0	0
4月	上旬	1016.8	9.9	17.0	3.6	70	1.9		58.8		42.7	0	0
	中旬	1015.3	12.1	19.4	5.7	70	1.9		61.4		48.9	0	-
	下旬	1014.5	14.0	21.3	7.6	70	1.8		62.5		39.9	-	-
5月	上旬	1013.6	15.5	22.5	9.2	71	1.8		63.2		47.2	-	-
	中旬	1012.4	16.6	23.4	10.7	73	1.8		61.4		60.1	-	-
	下旬	1011.2	18.0	24.7	12.1	72	1.6		71.5		48.6	-	-
6月	上旬	1010.1	19.9	26.1	14.4	74	1.7		63.6		53.2	-	-
	中旬	1008.8	21.0	26.6	16.5	78	1.6		50.7		48.1	-	-
	下旬	1007.7	21.9	26.5	18.2	82	1.5		37.9		109.7	-	-
7月	上旬	1008.2	23.6	28.6	19.9	82	1.5		45.5		86.6	-	-
	中旬	1008.0	24.7	29.7	21.1	82	1.4		45.0		97.8	-	-
	下旬	1009.1	26.0	31.7	22.0	79	1.7		67.0		66.0	-	-
8月	上旬	1008.9	26.0	31.9	21.7	78	1.6		63.7		38.4	-	-
	中旬	1009.1	25.9	31.6	21.9	78	1.7		59.3		36.7	-	-
	下旬	1009.6	25.1	30.9	21.0	78	1.6		62.8		46.6	-	-
9月	上旬	1010.8	23.4	29.1	19.3	79	1.4		50.3		76.1	-	-
	中旬	1012.2	21.3	26.9	17.0	79	1.6		48.5		74.3	-	-
	下旬	1014.8	19.2	24.8	14.9	80	1.4		42.6		60.4	-	-
10月	上旬	1016.3	17.1	23.2	12.4	79	1.4		51.5		33.4	-	-
	中旬	1017.7	15.3	21.4	10.5	79	1.5		47.1		36.3	-	-
	下旬	1019.3	12.6	19.3	7.6	80	1.4		53.9		20.8	-	-
11月	上旬	1020.8	11.3	17.8	6.5	80	1.4		43.8		26.0	-	-
	中旬	1021.1	9.1	15.1	4.6	81	1.4		36.3		23.3	0	0
	下旬	1021.2	6.6	12.8	1.9	81	1.5		36.3		16.7	0	0
12月	上旬	1021.6	5.2	11.4	0.7	80	1.5		39.1		11.2	2	2
	中旬	1022.2	3.8	9.8	-0.5	80	1.6		36.8		11.1	2	1
	下旬	1021.3	3.1	8.7	-1.0	80	1.6		39.1		14.7	5	4

注意報・警報 種類別発表回数 / 日数表

平成18年

岡山地方気象台

種類	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
注 意 報	風雪													0
	強風	2	2	4	3	2	2		1	2	4	4	3	29
	波浪	2	2	4	3	2	2		1	2	4	4	3	29
	高潮								2	4				6
	大雨				1		5	14	13	4	1			38
	洪水				1		5	14	13	4				37
	大雪	3	2	2									1	8
	雷	1	2	4	7	4	10	17	20	3		5	2	75
	乾燥	6	1	4	7	2	2		1	2		2	1	28
	濃霧	3	4	4	1	7	2	4	1		12	12	9	59
	霜	4	8	6	1	11	4	5	1		15	17	14	86
	なだれ	3	3	1										7
	低温	3	3	2										8
	着雪	1	2	2									1	6
	警 報	暴風									1			
暴風雪										2				2
波浪										1				1
高潮										2				2
大雨							1	3	1					5
洪水							2	4	1					7
大雪							1	3	1					5
						2	4	1					7	
														0
														0

- (注) 1. 注意報・警報の発表区分を平成15年3月3日15時から9地域とした。
 同種の「切替」は発表回数に算入しない。
 2. 各マスの上左は発表回数を、右下は発表されていた日数を示す。
 3. 翌月(年)にわたる発表回数は前月(前年)に算入。

火災気象通報発表回数

平成18年

岡山地方気象台

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
発表回数	6	3	9	9	6	1	0	3	1	2	1	6	47

岡山 季節現象の初終日

要素 現象	霜			雪			結氷		
	初日	終日	初終間 日数	初日	終日	初終間 日数	初日	終日	初終間 日数
年\統計開始	1983寒候期	1983寒候期		1983寒候期	1983寒候期		1983寒候期	1983寒候期	
1950～1951	11/15	4/26	163	12/10	3/23	104			
1951～1952	11/6	5/9	186	11/26	2/25	92			
1952～1953	11/2	5/3	183	12/4	3/29	116			
1953～1954	11/12	4/28	168	12/31	3/13	73			
1954～1955	10/31	4/26	178	1/3	4/4	92			
1955～1956	11/7	4/6	152	12/17	3/12	87			
1956～1957	11/17	4/16	151	12/21	3/26	96			
1957～1958	10/19	4/19	183	1/3	3/30	87			
1958～1959	10/27	4/3	159	1/5	3/14	69			
1959～1960	11/15	4/19	157	1/17	2/15	30			
1960～1961	11/15	4/11	148	12/7	2/22	78			
1961～1962	11/10	4/30	172	12/28	4/4	98			
1962～1963	11/7	4/20	165	12/31	3/9	69			
1963～1964	11/10	3/28	140	1/19	3/27	69			
1964～1965	11/14	5/1	169	12/18	3/27	100			
1965～1966	11/15	4/20	157	12/16	3/19	94			
1966～1967	11/4	4/25	173	11/21	3/23	123			
1967～1968	11/14	4/20	159	12/15	3/17	94			
1968～1969	11/10	4/6	148	1/1	3/12	71			
1969～1970	10/31	4/15	167	11/25	3/20	116			
1970～1971	10/30	4/19	172	11/30	3/14	105			
1971～1972	11/26	4/13	140	11/29	4/2	126			
1972～1973	11/12	4/6	146	11/21	3/6	106			
1973～1974	11/12	5/2	172	12/4	3/24	111			
1974～1975	11/2	4/7	157	1/3	3/25	82			
1975～1976	11/11	4/11	153	12/22	3/20	90			
1976～1977	10/30	4/19	172	12/8	3/6	89			
1977～1978	11/23	4/8	137	12/26	3/17	82			
1978～1979	11/10	4/22	164	11/28	3/2	95			
1979～1980	11/15	5/2	170	1/7	2/19	44			
1980～1981	11/1	4/3	154	12/13	3/2	80			
1981～1982	11/8	4/19	163	12/2	3/2	91			
1982～1983	11/28	3/19	112	1/10	3/18	68	12/7	3/19	103
1983～1984	12/13	3/23	102	11/27	3/22	117	12/13	3/23	102
1984～1985	11/28	3/16	109	12/16	2/28	75	12/8	2/25	80
1985～1986	11/14	3/26	133	12/15	3/1	77	12/3	3/4	92
1986～1987	11/27	3/27	121	12/28	3/11	74	12/21	4/1	102
1987～1988	12/4	3/28	116	12/2	3/17	107	12/2	3/8	98
1988～1989	11/20	3/29	130	12/15	2/13	61	12/6	3/8	93
1989～1990	12/3	3/9	97	1/13	3/8	55	12/16	3/9	84
1990～1991	12/5	4/3	120	12/26	3/16	81	12/13	3/2	80
1991～1992	11/15	3/22	129	12/12	2/25	76	12/14	2/23	72
1992～1993	11/22	4/12	142	12/24	3/29	96	12/15	3/30	106
1993～1994	12/6	3/28	113	12/17	3/26	100	12/22	3/27	96
1994～1995	12/17	3/5	79	12/16	2/21	68	12/17	3/5	79
1995～1996	12/2	4/3	124	12/24	4/12	111	12/10	3/6	88
1996～1997	12/3	2/23	83	12/1	2/22	84	12/1	2/23	85
1997～1998	12/4	2/11	70	12/2	3/15	104	12/3	3/8	96
1998～1999	12/21	2/12	54	1/7	3/22	75	1/8	2/22	46
1999～2000	12/8	1/29	53	12/19	3/8	81	12/20	2/29	72
2000～2001	12/15	2/27	75	12/11	3/9	89	12/15	3/12	88
2001～2002	12/12	2/21	72	12/14	2/19	68	12/12	2/19	70
2002～2003	11/23	3/5	103	12/10	3/11	92	12/11	3/11	91
2003～2004	12/20	3/7	79	12/20	3/7	79	12/20	3/8	80
2004～2005	12/24	3/13	80	12/31	2/24	56	12/31	3/14	74
2005～2006	12/13	3/4	82	12/12	3/30	474	12/5	3/15	101
最早・最晩	1985/11/14	1993/4/12		1983/11/27	1996/4/12		1996/12/1	1987/4/1	
平年値	11/23	3/28		12/16	3/12		12/13	3/9	

(注) 岡山地方気象台は1982年（昭和57年）10月に観測場所を移転したため、統計は継続していない。
 (注) 平年値は1971～2000年までの30年間（ただし、この期間の途中から観測を開始した場合などはその年からの期間）の観測値をもとに作成したものである。

津山 季節現象の初終日

要素 現象	霜			雪			結氷		
	初日	終日	初終間 日数	初日	終日	初終間 日数	初日	終日	初終間 日数
年\統計開始	1995寒候期	1994寒候期		1995寒候期	1994寒候期		1995寒候期	1994寒候期	
1950～1951	11/15*	5/ 2*	169*	11/14*	3/23*	130*			
1951～1952	11/ 9*	5/ 9*	183*	11/26*	4/ 2*	129*			
1952～1953	11/14*	5/ 3*	171*	12/ 4*	3/29*	116*			
1953～1954	11/21*	4/28*	159*	12/31*	3/29*	89*			
1954～1955	11/ 1*	4/26*	177*	12/13*	4/ 4*	113*			
1955～1956	11/ 7*	4/30*	176*	12/17*	3/13*	88*			
1956～1957	11/18*	4/15*	149*	11/30*	4/ 3*	125*			
1957～1958	11/ 9*	5/ 6*	179*	12/19*	3/30*	102*			
1958～1959	10/28*	4/ 7*	162*	12/28*	3/14*	77*			
1959～1960	11/23*	4/19*	149*	12/17*	3/24*	99*			
1960～1961	11/15*	4/19*	156*	11/27*	3/10*	104*	11/28*	4/10*	134*
1961～1962	11/10*	4/29*	171*	12/ 7*	4/ 4*	119*	11/14*	4/16*	154*
1962～1963	10/16*	4/20*	187*	11/29*	3/29*	121*	11/24*	4/20*	148*
1963～1964	11/24*	3/30*	128*	11/30*	3/27*	119*	11/24*	3/28*	126*
1964～1965	11/15*	5/ 1*	168*	12/ 2*	4/ 2*	122*	11/23*	5/ 1*	160*
1965～1966	11/15*	4/20*	157*	12/ 1*	3/30*	120*	11/15*	3/31*	137*
1966～1967	11/16*	4/25*	161*	11/21*	3/24*	124*	11/16*	3/29*	134*
1967～1968	11/14*	4/21*	160*	12/ 8*	3/17*	101*	11/17*	4/ 3*	139*
1968～1969	11/15*	5/ 7*	174*	12/15*	4/ 5*	112*	11/15*	4/ 6*	143*
1969～1970	11/11*	4/15*	156*	11/25*	3/25*	121*	11/19*	4/15*	148*
1970～1971	10/30*	4/27*	180*	11/30*	3/14*	105*	11/16*	4/19*	155*
1971～1972	11/26*	4/14*	141*	11/23*	4/ 8*	138*	11/26*	4/13*	140*
1972～1973	11/23*	4/ 6*	135*	11/21*	3/25*	125*	11/23*	4/ 6*	135*
1973～1974	11/ 8*	5/ 3*	177*	11/18*	4/ 2*	136*	11/14*	5/ 2*	170*
1974～1975	11/ 2*	4/ 4*	154*	12/ 5*	4/ 2*	119*	11/15*	4/ 4*	141*
1975～1976	11/25*	4/11*	139*	12/13*	3/23*	102*	11/25*	4/11*	139*
1976～1977	11/ 2*	4/11*	161*	11/28*	3/25*	118*	11/ 2*	4/ 5*	155*
1977～1978	11/23*	4/22*	151*	12/22*	3/24*	93*	11/23*	4/14*	143*
1978～1979	11/21*	4/22*	153*	11/28*	3/11*	104*	11/21*	4/22*	153*
1979～1980	11/15*	5/ 2*	170*	11/14*	3/24*	132*	11/15*	5/ 2*	170*
1980～1981	11/ 4*	4/26*	174*	12/ 4*	3/10*	97*	11/ 4*	4/ 8*	156*
1981～1982	11/10*	4/23*	165*	12/ 1*	3/25*	115*	11/10*	4/19*	161*
1982～1983	11/27*	4/21*	146*	12/ 6*	3/18*	103*	11/28*	3/26*	119*
1983～1984	10/31*	4/24*	177*	11/18*	3/24*	128*	10/31*	4/13*	166*
1984～1985	10/22*	4/17*	178*	12/16*	3/31*	106*	10/22*	4/17*	178*
1985～1986	11/ 3*	4/17*	166*	12/ 9*	4/ 7*	120*	11/16*	4/17*	153*
1986～1987	10/21*	5/ 4*	196*	12/27*	4/ 2*	97*	10/31*	4/16*	168*
1987～1988	11/20*	4/15*	148*	12/ 1*	3/17*	108*	11/30*	4/15*	138*
1988～1989	11/ 6*	4/29*	175*	11/25*	3/18*	114*	11/ 9*	3/29*	141*
1989～1990	10/24*	4/25*	184*	11/29*	3/ 8*	100*	11/21*	4/ 6*	137*
1990～1991	11/12*	5/ 5*	175*	12/23*	3/16*	84*	12/ 5*	4/ 4*	121*
1991～1992	11/ 6*	4/17*	164*	12/12*	4/12*	123*	11/ 6*	4/14*	161*
1992～1993	11/22*	4/13*	143*	11/26*	4/11*	137*	11/22*	4/13*	143*
1993～1994	10/28*	×	×	11/24*	×	×	10/28*	×	×
1994～1995	11/28	4/4	128	12/16	4/3	109	11/28	4/4	128
1995～1996	11/22	4/4	135	12/5	4/12	130	11/9	4/14	158
1996～1997	11/30	3/25	116	12/1	3/24	114	11/17	3/25	129
1997～1998	12/4	3/3	90	12/2	3/15	104	11/19	3/19	121
1998～1999	11/20	3/23	124	11/20	3/22	123	11/19	3/28	130
1999～2000	11/29	3/21	114	12/18	3/26	100	11/27	3/23	118
2000～2001	11/23	3/16	114	12/12	3/13	92	11/23	4/5	134
2001～2002	11/27	-	-	12/14	-	-	11/27	-	-
2002～2003	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2003～2004	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2004～2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2005～2006	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最早・最晩	1998/11/20	1996/4/4		1998/11/20	1996/4/12		1995/11/9	1996/4/14	

(注) *印は累年統計が切断している値。

(注) ×印は欠測。

(注) 津山測候所は平成14年（2002年）3月1日から津山特別地域気象観測所になったため、初日と終日を観測していない。

平成18年（2006年） 生物季節観測

種目および現象	平年値	年数	平成17年	平成18年	平年差	観測場所	生物季節観測平年差階級区分				
							かなり早い	早い	平年並み	遅い	かなり遅い
ツバキの開花日	1月16日	30	平成16年12月11日	1月15日	-1	後楽園	-25日	-9日	7日	24日	
スイセンの開花日	1月16日	30	平成16年12月11日	1月10日	-6	後楽園	-21日	-6日	5日	19日	
ウメの開花日	2月8日	30	2月26日	3月2日	22	後楽園	-19日	-6日	5日	17日	
ヒバリの初鳴日	2月18日	29	3月13日	2月18日	0	百間川	-14日	-6日	3日	13日	
ウグイスの初鳴き日	3月4日	10	3月27日	3月5日	1	中島	-15日	-5日	4日	14日	
タンポポの開花日	3月18日	30	3月24日	3月24日	6	西川原	-17日	-4日	5日	14日	
モンシロチョウの初見日	3月22日	30	4月7日	4月3日	12	八幡	-13日	-4日	4日	12日	
ツバメの初見日	3月24日	30	3月14日	3月14日	-10	中島	-12日	-4日	3日	11日	
スマレの開花日	3月27日	30	3月28日	3月28日	1	後楽園	-15日	-5日	4日	11日	
ソメイヨシノの開花日	3月31日	30	4月3日	3月29日	-2	後楽園	-7日	-3日	2日	6日	
ソメイヨシノの満開日	4月7日	30	4月9日	4月7日	0	後楽園	-7日	-2日	1日	5日	
イチョウの発芽日	4月10日	30	4月11日	4月14日	4	後楽園	-7日	-3日	1日	6日	
ニホンアマガエルの初鳴き日	4月11日	25	4月28日	4月27日	16	今在家	-14日	-7日	4日	13日	
ヤマツツジの開花日	4月12日	30	欠測	欠測	-	-	-10日	-4日	2日	9日	
シバの発芽日	4月13日	30	4月9日	4月13日	0	気象台	-11日	-4日	3日	10日	
ニホンアマガエルの初見日	4月14日	15	4月28日	4月24日	10	今在家	-15日	-6日	3日	14日	
ノダフジの開花日	4月21日	30	4月21日	4月21日	0	半田山	-6日	-3日	1日	5日	
トノサマガエルの初見日	4月26日	23	欠測	欠測	-	-	-14日	-6日	3日	13日	
キアゲハの初見日	4月30日	23	4月29日	5月4日	4	百間川	-14日	-5日	3日	13日	
ハルゼミの初鳴き日	5月6日	26	欠測	欠測	-	-	-12日	-5日	3日	10日	
シオカラトンボの初見日	5月15日	28	6月3日	6月1日	17	百間川	-19日	-7日	5日	17日	
ホタルの初見日	5月24日	29	5月21日	5月22日	-2	今在家	-10日	-4日	2日	9日	
アジサイの開花日	6月12日	18	6月10日	6月9日	-3	西川	-9日	-3日	2日	7日	
ニイニイゼミの初鳴き日	7月4日	30	6月22日	7月9日	5	後楽園	-9日	-3日	2日	8日	
アブラゼミの初鳴き日	7月14日	30	7月7日	7月15日	1	今在家	-10日	-3日	3日	8日	
ツクツクホウシの初鳴き日	7月19日	30	7月15日	7月6日	-13	西川原	-11日	-4日	3日	9日	
サルスベリの開花日	7月26日	28	7月22日	8月8日	-	岡山大学	-14日	-6日	3日	13日	
エンマコオロギの初鳴き日	8月15日	30	8月19日	8月23日	8	いずみ町	-10日	-3日	2日	8日	
アキアカネの初見日	8月16日	30	8月12日	9月3日	18	岡山大学	-17日	-6日	5日	16日	
ヒグラシの初鳴日	-		7月12日	欠測	-	-					
ヤマハギの開花日	9月6日	29	9月14日	9月11日	5	半田山	-20日	-6日	6日	16日	
ススキの開花日	9月10日	30	9月28日	10月9日	29	後楽園	-14日	-4日	4日	12日	
モズの初鳴き日	9月13日	29	9月8日	9月16日	3	今在家	-15日	-6日	4日	14日	
ヒガンバナの開花日	9月15日	30	9月15日	9月17日	2	浜	-8日	-3日	2日	7日	
イチョウの黄葉日	11月14日	30	11月29日	11月25日	11	後楽園	-10日	-4日	3日	9日	
イロハカエデの紅葉日	11月26日	29	11月17日	11月27日	1	後楽園	-11日	-4日	3日	9日	
イチョウの落葉日	11月28日	30	12月4日	12月1日	3	後楽園	-9日	-4日	3日	8日	
イロハカエデの落葉日	12月10日	30	12月5日	12月4日	-6	後楽園	-10日	-4日	2日	9日	

平年（統計期間：1971年～2000年）

岡山地方気象台

中国地方の「梅雨入り」「梅雨明け」と、岡山・津山の「梅雨期間総雨量」

西暦	和暦	梅雨入り (月日)	梅雨明け (月日)	期間 (日)	総雨量		梅雨期間の「日本の主な気象災害(大雨)」
					岡山	津山	
1951年	昭和26年	6月14日	7月21日	37	409.8	288.1	昭和26年7月7日～17日大雨(前線)
1952年	昭和27年	5月31日	7月21日	51	462.3	524.5	昭和27年7月7日～18日大雨(前線)
1953年	昭和28年	5月28日	7月24日	57	649.5	927.9	昭和28年6月4日～8日台風第2号・前線 昭和28年6月25日～29日大雨(前線) 昭和28年7月16日～24日 南紀豪雨
1954年	昭和29年	5月30日	8月2日	64	620.9	682.7	昭和29年7月4日～6日大雨(前線)
1955年	昭和30年	6月6日	7月10日	34	242.5	376.2	
1956年	昭和31年	5月29日	7月12日	44	268.6	429.5	
1957年	昭和32年	6月16日	7月31日	45	386.0	528.6	昭和32年6月27日～28日台風第5号・前線 昭和32年7月28日 諫早豪雨
1958年	昭和33年	6月5日	7月11日	36	202.6	217.4	
1959年	昭和34年	6月10日	7月20日	40	173.3	350.0	昭和34年7月13日～15日台風第5号・前線
1960年	昭和35年	6月10日	7月11日	31	267.5	208.3	
1961年	昭和36年	6月8日	7月13日	35	307.3	360.4	昭和36年6月24日～7月10日 昭和36年梅雨前線豪雨
1962年	昭和37年	6月2日	7月22日	50	463.8	472.3	
1963年	昭和38年	5月8日	7月13日	66	564.3	852.9	
1964年	昭和39年	6月13日	7月20日	37	299.7	487.9	昭和39年7月18日～19日 昭和39年7月山陰北陸豪雨
1965年	昭和40年	6月11日	7月26日	45	498.8	348.6	昭和40年7月21日～23日大雨(前線)
1966年	昭和41年	6月15日	7月14日	29	212.8	276.3	
1967年	昭和42年	6月21日	7月16日	25	350.6	455.8	昭和42年7月7日～10日 昭和42年7月豪雨
1968年	昭和43年	6月24日	7月18日	24	238.0	243.0	
1969年	昭和44年	6月16日	7月14日	28	438.0	337.5	昭和44年6月24日～7月1日大雨(前線)
1970年	昭和45年	6月10日	7月19日	39	451.0	484.0	
1971年	昭和46年	6月3日	7月27日	54	439.0	583.5	
1972年	昭和47年	6月3日	7月17日	44	506.0	942.0	昭和47年7月3日～13日 昭和47年7月豪雨
1973年	昭和48年	6月5日	7月4日	29	154.5	246.5	
1974年	昭和49年	6月10日	7月20日	40	354.5	431.5	昭和49年7月3日～11日台風第8号・前線
1975年	昭和50年	6月5日	7月15日	40	295.5	416.0	
1976年	昭和51年	6月5日	7月17日	42	175.5	248.0	昭和51年6月21日～26日大雨(前線)
1977年	昭和52年	6月7日	7月20日	43	250.0	250.5	
1978年	昭和53年	6月11日	7月3日	22	210.5	161.0	
1979年	昭和54年	6月6日	7月25日	49	351.0	356.5	昭和54年6月25日～7月4日大雨(前線)
1980年	昭和55年	6月7日	7月20日	43	314.0	373.0	
1981年	昭和56年	6月11日	7月16日	35	410.0	372.0	
1982年	昭和57年	6月13日	7月30日	47	288.5	416.5	昭和57年7月23日～25日 昭和57年7月豪雨
1983年	昭和58年	6月12日	7月25日	43	283.0	579.5	昭和58年7月20日～27日 昭和58年7月豪雨
1984年	昭和59年	6月7日	7月14日	37	221.0	353.5	昭和59年6月22日～29日大雨(前線)
1985年	昭和60年	6月7日	7月15日	38	550.5	557.5	昭和60年6月18日～7月6日台風第6号・前線 昭和60年7月3日～15日大雨(前線)
1986年	昭和61年	6月15日	7月26日	41	319.5	658.5	昭和61年7月4日～17日大雨(前線)
1987年	昭和62年	6月8日	7月26日	48	282.5	414.0	昭和62年7月13日～21日台風第5号・前線
1988年	昭和63年	6月8日	7月31日	53	382.5	543.5	昭和63年7月9日～29日大雨(前線)
1989年	平成1年	6月8日	7月18日	40	246.5	357.5	
1990年	平成2年	5月31日	7月18日	48	291.0	399.0	平成2年7月14日～20日大雨
1991年	平成3年	5月25日	7月21日	57	505.5	443.0	
1992年	平成4年	6月7日	7月21日	44	249.5	314.5	
1993年	平成5年	5月30日	不定	----	----	----	平成5年6月28日～7月8日大雨(前線) 平成5年7月24日～8月1日台風第4, 5, 6号 平成5年7月31日～8月7日 平成5年8月豪雨
1994年	平成6年	6月8日	7月9日	31	193.5	132.5	
1995年	平成7年	6月8日	7月25日	47	355.5	419.5	平成7年6月30日大雨(低気圧) 平成7年7月15日～24日台風第3号・前線
1996年	平成8年	6月7日	7月15日	38	269.0	281.0	
1997年	平成9年	6月8日	7月18日	40	312.0	336.5	平成9年7月6日～13日 平成9年7月豪雨
1998年	平成10年	6月2日	8月3日	62	226.5	474.5	
1999年	平成11年	6月2日	7月22日	50	331.5	405.0	平成11年6月22日～7月4日大雨、強風(低気圧)
2000年	平成12年	6月8日	7月18日	40	145.0	196.0	
2001年	平成13年	6月5日	7月19日	44	294.0	481.5	
2002年	平成14年	6月11日	7月21日	40	186.0	168.5	
2003年	平成15年	6月10日	7月31日	51	344.5	508.5	平成15年7月18日～22日梅雨前線
2004年	平成16年	5月29日	7月13日	45	233.0	265.5	平成16年6月20日～21日台風第6号 平成16年7月12日～13日 平成16年7月新潟・福島豪雨 平成16年7月17日～18日 平成16年7月福井豪雨
2005年	平成17年	6月11日	7月18日	37	196.0	266.5	
2006年	平成18年	6月8日	7月26日	48	528.0	442.0	平成18年7月15日～24日 平成18年7月豪雨
平年		6月6日	7月20日	44	285.7	362.4	

(注) 梅雨の期間の降水量は、入りの時期の遷移期間のおおむね中日から明けの時期の遷移期間のおおむね中日の前日までの降水量の合計値を示した。

平年値の期間の降水量は比較のための降水量で同時期の日別平滑平年値の合計値を示した。

(注) 期間の総降水量で色つきは、500mmを超えたもの。

(注) 気象災害の欄は、理科年表の「日本の主な気象災害」他を参考にした。青色太文字は災害の通称。赤色太字は気象庁の正式命名である。

平成18年（2006年）岡山県内有感地震一覧表

Table with columns for No., 発現時 (月日), 発現時 (時分秒), 震央地名, Mag, and 13 columns of city/town/village names. It lists 13 earthquakes with their respective magnitudes and occurrence counts across various locations in Okayama Prefecture.

*：岡山県設置の震度計で得られた震度情報 Δ：独立行政法人防災科学技術研究所の震度計で得られた震度情報

潮 位 表

平成 18 年 最高潮位

岡 山 県 (宇野検潮所)

ODL 上 cm	TP 上 cm	発 生 年 月 日	原 因	備 考
336	161	平成18年9月17日	台風0613号	高潮の最高潮位 TP上 161cm (17日21時22分) 最大潮位偏差 86cm (18日03時02分)

参 考

ODL 上 cm	TP 上 cm	発 生 年 月 日	原 因	備 考
428	254	平成16年8月30日	台風0416号	高潮の最高潮位 TP上 254cm (30日22時47分) 最大潮位偏差 137cm (30日22時16分)
377	203	平成16年9月7日	台風0418号	高潮の最高潮位 TP上 204cm (7日17時39分) 最大潮位偏差 108cm (7日17時13分)
376	202	平成17年9月7日	台風0514号	高潮の最高潮位 TP上 204cm (7日0時34分) 最大潮位偏差 82cm (7日0時22分)
371	197	平成16年7月31日	台風0410号	高潮の最高潮位 TP上 200cm (31日23時44分) 最大潮位偏差 60cm (31日10時59分)
349	175	平成16年10月20日	台風0423号	高潮の最高潮位 TP上 177cm (20日17時2分) 最大潮位偏差 78cm (20日19時7分)
342	168	平成15年8月8日	台風0310号	高潮の最高潮位 TP上 169cm (8日21時29分) 最大潮位偏差 88cm (9日3時6分)
367	191	平成9年9月16日	台風9719号	
370	195	平成3年9月27日	台風9119号	山陰沿岸通過

注) ODLは宇野検潮所観測基準面を、TPは東京湾平均海面を表す。

平成 18 年の冬に発生した大雪の命名について

(平成 18 年 3 月 1 日発表)

気象庁は、平成 18 年の冬 (平成 17 年 12 月～平成 18 年 2 月) に発生した大雪について、「平成 18 年豪雪」と命名しました。

平成 18 年の冬 (12 月～2 月) の天候概況

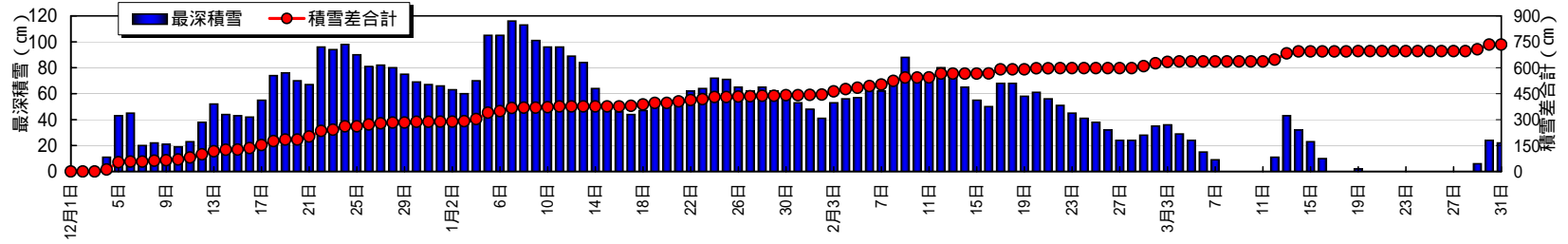
冬 (12 月～2 月) の天候 (報道発表資料) 抜粋

平成 17 年 12 月から平成 18 年 1 月上旬にかけて非常に強い寒気が日本付近に南下し、強い冬型の気圧配置が断続的に現れたため日本海側では記録的な量の降雪となった。この大雪により、雪下ろし中の事故等甚大な人的被害があり、交通機関等への大きな影響があった。積雪を観測している 339 地点のうち 23 地点で積雪の最大記録を更新したほか、12 月としての最大記録を 106 地点で、1 月としての最大記録を 54 地点で、また 2 月としての最大記録を 18 地点で更新した。また、12 月の平均気温は 1985 年以来 20 年ぶりに全国すべての地域で低温となり、東・西日本では 1946 年以降の最低記録を更新した。

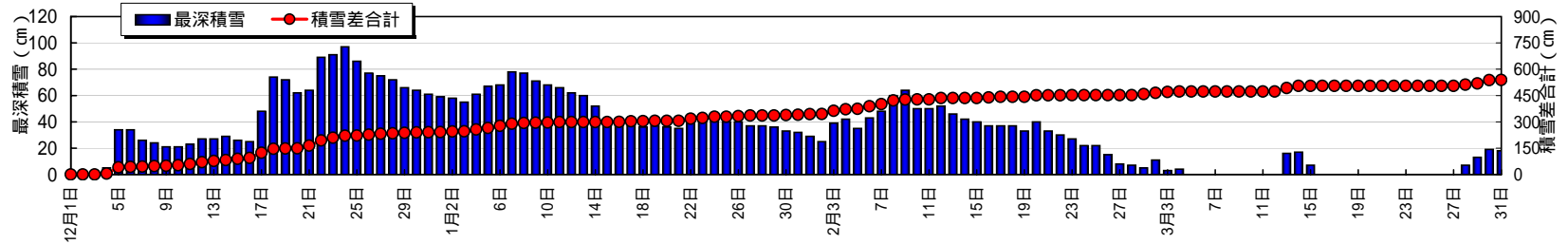
1 月中旬以降は気温の変動が大きくなり、一時的な大雪と雪崩・融雪が繰り返される状況が続いた。また、次第に気温が平年を上回る日も多くなり、南西諸島では 1 月、2 月ともに高温となり、東・西日本でも 2 月は高温となった。このほか、低気圧や前線の影響を受ける日も多く、東・西日本太平洋側の地方を中心に曇りや雨または雪の日が多くなり、東日本太平洋側でも大雪となる日があった。

平成17年12月から平成18年3月の積雪状況

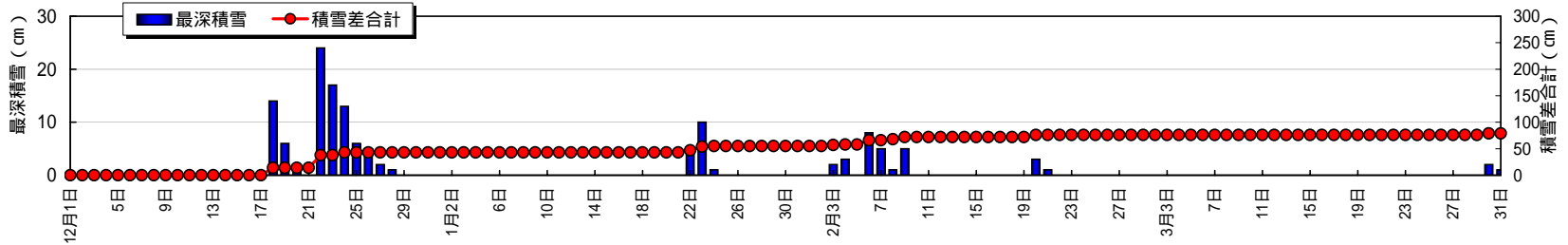
真庭市蒜山上長田



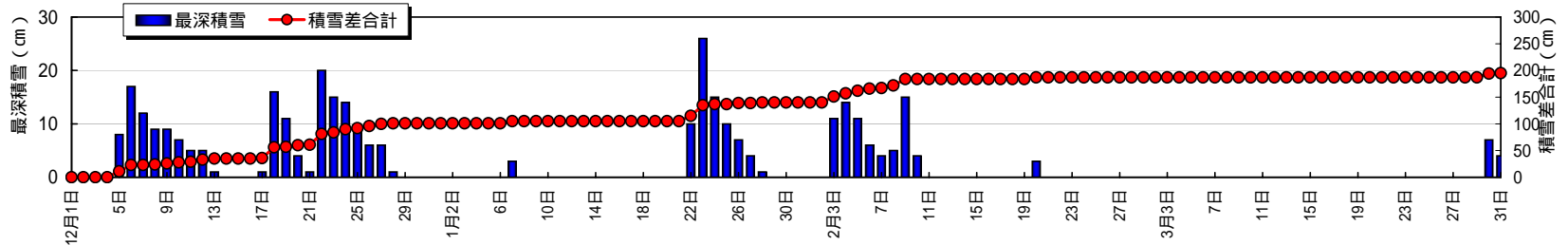
新見市千屋



津山市林田



美作市今岡



平成 18 年 7 月 15 日から 24 日に発生した豪雨の命名について

(平成 18 年 7 月 26 日発表)

気象庁は、平成 18 年 7 月 15 日から 24 日に発生した豪雨について、
「平成 18 年 7 月豪雨」と命名しました。

平成 18 年 7 月の天候概況

7 月の天候 (報道発表資料) 抜粋

梅雨前線が本州付近に停滞したため、南西諸島を除いて曇りや雨の日が多かった。梅雨前線の活動が活発だったため、各地でたびたび大雨となり、洪水や土砂災害等が発生した。特に中旬後半から下旬前半にかけては、活動が非常に活発な梅雨前線がゆっくりと南下したため、山陰から北陸、甲信地方にかけてと九州では記録的な大雨となり、大きな被害が出た。この 15 日から 24 日にかけての一連の大雨は「平成 18 年 7 月豪雨」と命名された。